令和７年度

村松浜集落センター新築工事

株式会社　さくら設計

図面リスト

建築意匠図			建築構造図			電気設備図			機械設備図		
図面 No.	図　面　名	縮　尺	図面 No.	図　面　名	縮　尺	図面 No.	図　面　名	縮　尺	図面 No.	図　面　名	縮　尺
	表紙										
Ａ－０１	図面リスト	A1版：No-scale A3版：No-scale	Ｓ－０１	構造設計標準仕様	A1版：No-scale A3版：No-scale	Ｅ－０１	電気設備特記仕様書１	A1版：No-scale A3版：No-scale	Ｍ－０１	機械設備特記仕様書１	A1版：No-scale A3版：No-scale
Ａ－０２	建築工事特記仕様書１	A1版：No-scale A3版：No-scale	Ｓ－０２	基礎伏図	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100	Ｅ－０２	電気設備特記仕様書２	A1版：No-scale A3版：No-scale	Ｍ－０２	機械設備特記仕様書２	A1版：No-scale A3版：No-scale
Ａ－０３	建築工事特記仕様書２	A1版：No-scale A3版：No-scale	Ｓ－０３	基礎断面詳細図	A1版：S=1/10 A3版：S=1/20	Ｅ－０３	配置図・付近見取図	A1版：S=1/ 500 A3版：S=1/1000	Ｍ－０３	衛生設備 配置図	A1版：S=1/200 A3版：S=1/400
Ａ－０４	建築工事特記仕様書３	A1版：No-scale A3版：No-scale	Ｓ－０４	土台大引伏図	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100	Ｅ－０４	開閉器盤・電灯盤・端子盤図	A1版：No-scale A3版：No-scale	Ｍ－０４	衛生設備 衛生器具表・桝表	A1版：No-scale A3版：No-scale
Ａ－０５	建築工事特記仕様書４	A1版：No-scale A3版：No-scale	Ｓ－０５	小屋梁伏図	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100	Ｅ－０５	幹線・弱電設備平面図	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100	Ｍ－０５	衛生設備 平面図	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100
Ａ－０６	建築工事特記仕様書５	A1版：No-scale A3版：No-scale	Ｓ－０６	屋根梁伏図	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100	Ｅ－０６	照明器具姿図	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100	Ｍ－０６	空調換気設備 機器表・換気計算書	A1版：No-scale A3版：No-scale
Ａ－０７	建築工事特記仕様書６	A1版：No-scale A3版：No-scale	Ｓ－０７	腰屋根梁伏図	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100	Ｅ－０７	電灯他設備平面図	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100	Ｍ－０７	空調換気設備 配管平面図	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100
Ａ－０８	求積図	A1版：S=1/100 A3版：S=1/200	Ｓ－０８	耐力壁配置図	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100	Ｅ－０８	誘導灯・非常照明設備平面図	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100	Ｍ－０８	空調換気設備 ダクト平面図	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100
Ａ－０９	設計概要・仕上表	A1版：No-scale A3版：No-scale	Ｓ－０９	軸組図①	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100	Ｅ－０９	コンセント設備平面図	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100			
Ａ－１０	配置図・付近見取図	A1版：S=1/ 500 A3版：S=1/1000	Ｓ－１０	接合部詳細図①	A1版：S=1/10 A3版：S=1/20	Ｅ－１０	非常警報・消火器設備平面図	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100			
Ａ－１１	平面図	A1版：S=1/100 A3版：S=1/200	Ｓ－１１	接合部詳細図②	A1版：S=1/10 A3版：S=1/20						
Ａ－１２	立面図	A1版：S=1/100 A3版：S=1/200									
Ａ－１３	断面図	A1版：S=1/100 A3版：S=1/200									
Ａ－１４	矩計図１	A1版：S=1/30 A3版：S=1/60									
Ａ－１５	矩計図２	A1版：S=1/30 A3版：S=1/60									
Ａ－１６	平面詳細図	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100									
Ａ－１７	展開図１	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100									
Ａ－１８	展開図２	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100									
Ａ－１９	展開図３	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100									
Ａ－２０	展開図４	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100									
Ａ－２１	天井伏図	A1版：S=1/100 A3版：S=1/200									
Ａ－２２	屋根伏図	A1版：S=1/100 A3版：S=1/200									
Ａ－２３	建具平面図	A1版：S=1/100 A3版：S=1/200									
Ａ－２４	建具表	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100									
Ａ－２５	部分詳細図	A1版：S=1/ 50 A3版：S=1/100									
Ａ－２６	家具詳細図	A1版：S=1/50 A3版：S=1/100									
Ａ－２７	法規チェック表	A1版：No-scale A3版：No-scale									
Ａ－２８	仮設計画図	A1版：S=1/ 500 A3版：S=1/1000									

統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
１級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
１級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳

統括

作図者
１級建築士登録番号　第224282号
小　林　敏　徳

縮尺
A1版 N/S
A3版 N/S

設計年月日
2024.06

工事名称　村松浜集落センター新築工事

図面名称　図面リスト

No. Ａ－０１

村松浜集落センター
新築工事設計図　　令和　６年　６月（全５８枚）

仕　様　書

Ⅰ　共通仕様

1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されてない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下「標仕」という。）による。

2. 標仕に用いられている用語を次のとおり読み替える。
(1)「契約書」を「新潟県財務規則(昭和57年3月1日新潟県規則第10号)別記(第78条関係)建設工事請負基準約款」（以下「約款」という。）に読み替える。
(2)「監督職員」を「監督員」に読み替える。
(3)「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。

3. 次の各号に該当する標仕の項目について、標仕の規定を別表に置き換えて適用する。
(1)　1章　各章共通事項　1節　共通事項　1.1.2 用語の定義の(ア)、(セ)、(ナ)
(2)　〃　1.4.2 材料の品質の（1）及び（2）
(3)　〃　1.4.4材料の検査等の（1）
(4)　〃　1.6.1工事検査の（2）及び（3）

4. 次に掲げる標仕の規定は、適用しない。
1章　1.1.2　用語の定義の(ニ)
〃　1.6.2　技術検査

別　表（建築工事）

号	項　目	置き換え後の標仕の規定
	1章　各章共通事項 1節　共通事項	
(1)	1.1.2　用語の定義	(ア)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。
		(セ)「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は新潟県CALSシステム上で電子決裁処理された電磁的記録をいう。
		(ナ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、　工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査(ただし、②に係る検査を除く。)を含む。 ①工事の完成(約款第32条) ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等(約款第38条) ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成(約款第39条) ④契約の解除時における出来形部分(約款第48条) ⑤必要があると認めたときの臨時検査(約款第50条)
(2)	1.4.2　材料の品質等	(1) 使用する材料は「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（契約時の最新版）」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間内であることを条件とするものではない。
		(2) 使用する材料が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるＪＩＳ又はＪＡＳの材料で、ＪＩＳ又は ＪＡＳのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合(次の(ｱ)から(ｳ)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、 あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。)は、この限りでない。 (ｱ) 建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (ｲ) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業　建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (ｳ) 特記により指定された材料又は製造者の製品
(3)	1.4.4　材料の検査等	(1) 工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(ｱ)若しくは(ｲ)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (ｱ) 工事完成検査時又は工事写真で、ＪＩＳ若しくはＪＡＳのマークを確認できる場合 (ｲ) 建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は、工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合
(4)	1.6.1　工事検査	(2) 約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3) (1)の通知又は(2)の請求に基づく検査並びに約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。

Ⅱ　特記仕様

1. 項目は、番号に ◯ 印の付いたものを適用する。
2. 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。
3. 特記事項に記載の(　.　.　)内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
なお、(参考　・　)は標仕の「各部配筋　参考図」を表す。
4. 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。

章	項　目	特　記　事　項
①各章共通事項	① 工事実績情報ｻｰﾋﾞｽ(CORINS)への登録	※請負工事費500万円以上の場合は登録する。 (1.1.4)
	② 概成工期	※無し　・有(工期　令和　年　月　日) (1.2.1)
	③ 品質計画等	建築基準法に基づき指定する条件 (1.2.2) ・地区の区分に応じた風速（Ｖo（m／sec））　・３０　・３２ ・地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ ・多雪地域の指定　積雪区分　建告示第１４５５号　別表（　）
	④ 工事の記録等	契約書に基づく履行報告に当たり、報告に用いる書式等は「工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課）」による。 (1.2.4)
	5 電気保安技術者	※要(　) (1.3.3)
	⑥ 発生材の処理等	２４追加特記　7「発生材の処理等」による。 (1.3.8)
	7 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。 (1.5.2)
	⑧ 技能士	適用工事種別 ／ 技能検定の職種 鉄筋工事 ／ ⊙鉄筋施工(鉄筋組立て作業) コンクリート工事 ／ ⊙型枠施工 鉄骨工事 ／ ・とび ﾌﾞﾛｯｸ･ALCﾊﾟﾈﾙ工事 ／ ・ブロック建築　・ＡＬＣパネル施工 防水工事 ／ ⊙防水施工（・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・塗膜防水工事作業 ・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業　⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業） 石工事 ／ ・石材施工（石張り作業） タイル工事 ／ ⊙タイル張り 木工事 ／ ⊙建築大工 屋根及びとい工事 ／ ⊙建築板金（内外装板金作業） 金属工事 ／ ・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業） 左官工事 ／ ⊙左官 建具工事 ／ ⊙サッシ施工　・ガラス施工　・自動ドア施工 カーテンウォール工事 ／ ・カーテンウォール施工（ＰＣ）　・サッシ施工　・ガラス施工 塗装工事 ／ ⊙塗装（建築塗装作業） 内装工事 ／ ⊙内装仕上げ施工（・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　・ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業）　・表装（壁装作業） 植栽工事 ／ ・造園 ※これにより難い場合は監督員と協議する。
	9 見本施工	※実施する(　) (1.5.5)
	⑩ 化学物質の濃度測定	２４追加特記　8「化学物質の濃度測定」による。 (1.5.9)
	⑪ 完成図等	次のものを作成し提出する。なお、作成方法・部数等は監督員の指示による。 提出部数等　⊙A1　2 部　・A3　部　⊙ＣＡＤデータ) ⊙案内図及び配置図　⊙平面図　⊙立面図　⊙断面図 (1.7.1～1.7.3) ⊙仕上表　⊙建物の保全に関する説明書(取扱説明書を含む。) ⊙その他監督員が指示した図面
	⑫ 施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
	⑬ 工事完成写真	工事完了後整理のうえ監督員に提出する。　提出部数　部 工事完成写真は、着手前の敷地全景(敷地の位置は朱線で記入)、外部全景４面、内部主要各室、屋外施設その他監督員が必要と認め指示した個所等とする。
	14 特別完成写真	写真専門業者の撮影したカラー写真　部提出する。（ネガ又は電子データ共） 大きさ　※キャビネ　・半紙　・電子データ（２００dpi/inch）
	⑮ 工事施工状況写真	工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　営繕工事写真撮影要領(令和５年版)による工事写真撮影ガイドブック（令和５年版）」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。 ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。 提出部数　部 印刷物若しくは電子データ(DVD等のメディア)で提出する。
	⑯ 設備工事との取合い	２４追加特記　6「工事区分表」による。
②仮設工事	1 監督員事務所等	・監督員事務所　・10　・20　・35　・65　・　㎡程度を設ける。 (2.3.1) ・仮設事務所の中に監督員用空間を　㎡程度確保する。 ・監督員が使用できる備品として、下記のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・保護帽　ケ　・雨具　着　・長靴　足　・安全帯　組
	② 工事用水	構内既存の施設　⊗利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
	③ 工事用電力	構内既存の施設　⊗利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
	④ 仮設建物等	現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。
	⑤ 足場	「手すり先行工法に関するｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」に基づく足場の設置に当たっては、同ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝの別紙１「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
③土工事	① 埋戻し及び盛土	・Ａ種 ※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土 (3.2.3)(表3.2.1)
	② 建設発生土の処理	・構内指示の場所（・敷き均し　・堆積） (3.2.5) ・構外搬出適切処理(指定場所：　) ・処分地未特定のため、場内仮置きとし契約後変更とする
④地業工事	1 試験	・試験杭 (4.2.1～4.2.5) 位置、本数及び寸法　※図示　・監督員の指示による ・杭の載荷試験　・鉛直載荷試験　・水平載荷試験 試験位置　※図示　載荷荷重　N/mm² ・地盤の載荷試験　※平板載荷試験　・ 試験位置　※図示　載荷荷重　N/mm²
	2 既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭地業	種類 (4.3.1)(4.3.3) ・遠心力高強度プレストレストコンクリートくい（ＰＨＣ杭） ・外殻鋼管付きコンクリートくい（ＳＣ杭） ・プレストレスト鉄筋コンクリートくい（ＰＲＣ杭）

④地業工事

2 既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭地業

		種類	ｺﾝｸﾘｰﾄ強度(N/mm²)	鋼管厚(mm)	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭									
	中杭									
	下杭									
本　杭	上杭									
	中杭									
	下杭									

先端部形状　※開放形　・閉そく平たん形 (4.3.3)
施工法 (4.3.4～4.3.5)
・特定埋込み杭工法(建築基準法に基づく埋込杭工法とし、杭材料は指定又は認定条件に適合するもの)
・セメントミルク工法　支持地盤への掘削深さ　・1.5m程度　・
支持地盤への根入れ深さ　・１ｍ以上　・
水平方向の位置ずれ精度　・100mm以下　・　mm以下
杭の継手　※アーク溶接（　）　・無溶接継手（　） (4.3.6)
杭頭の処理　※切断しない　・ (4.3.8)

3 場所打ちｺﾝｸﾘｰﾄ杭地業
コンクリートの種別及び設計基準強度 (4.5.4)(表4.5.1)
（　）種かつ（　）N/mm² 以上
スランプ　（　）
セメントの種類　※高炉セメントＢ種　・ (4.5.4)
帯筋　※参考2.2④丸形(ロ)　・図示 (4.5.4)
鉄筋の最小かぶり厚さ　・　mm　・図示
鉄筋かごの補強　・図示
組み立てた鉄筋の節ごとの継ぎ手　※重ね継手　・重ね継手の長さ　図示による
掘削工法　・アースドリル工法(※安定液使用　・無水掘削) (4.5.5)
・リバース工法
・オールケーシング工法(孔内の水張　※行う　・行わない)
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法（鋼管の材料　・　）(4.5.6)
・拡底杭工法　(※安定液使用　・　)
孔壁測定　・行う　・行わない (4.5.5～4.5.6)
※再生クラッシャラン　・　切込み砂利及び切込み砕石 (4.6.2)

④ 砂利地業
⑤ 床下防湿層
施工箇所　※建物内の土間ｽﾗﾌﾞ及び土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下（ﾋﾟｯﾄ下を除く） (4.6.5)
・図示による

⑤鉄筋工事

① 鉄筋の種別 (5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	呼び径 (mm)	備考
・SD345		異形鉄筋
・SD295		異形鉄筋
・		

② 鉄筋の継手及び定着
呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接　・重ね継手 (5.3.4)
継手位置 ※各部配筋参考図による　・図示
機械式定着工法の適用　・適用箇所（・　・図示　）
・種類（　）
③ 鉄筋の最小かぶり厚さ
最小かぶり厚さは目地底から算定する (5.3.5)
耐久性上不利な箇所（塩害等を受けるおそれのある部分等）の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	表5.3.6の値に加える寸法 (mm)
	・

④ 帯筋
※Ｈ形(口は除く)　・ (参考2.2)
⑤ 最上階柱頭補強
※行う　・　行わない (参考2.1)
⑥ 壁開口部の補強
一般壁　※Ａ形　・Ｂ形　・図示 (参考4.4)
耐震壁　※図示
⑦ 梁貫通孔の補強形式
※Ｈ形　・ＭＨ形　・　Ｍ形 (参考7.1)
・既製品(建築基準法による指定又は認定を受けたもの)
⑧ 圧接完了後の抜取試験
※超音波探傷試験　・引張試験 (5.4.9)
⑨ 機械式継手
適用箇所　※図示　・
⑩ 溶接継手
適用箇所　※図示　・

⑥コンクリート工事

① 普通ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度

設計基準強度 Fc(N/mm²)	施工箇所	スランプ
・２１	・建物躯体	・
※２４	・	・
・１８	・	・

※構造体ｺﾝｸﾘｰﾄ：発注強度=設計基準強度(Ｆｃ)+構造体強度補正値(Ｓ)
② ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄの類別
※Ⅰ類　・Ⅱ類 (6.2.1)(表6.2.1)
③ セメントの種類
※普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞセメント又は高炉セメントのＡ種 (6.3.1)(6.3.2)(表6.3.1)
・高炉セメントＢ種（　）
普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋ｺﾝｸﾘｰﾄに用いる場合を除く。

水和熱	7ｄ	352 J/g以下
	28ｄ	402 J/g以下

④ 骨材の品質
アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)(6.5.4)
・Ａ　※Ｂ(※コンクリート中のアルカリ総量Ｒｔ=3.0kg/m³以下)
⑤ 混和材料の種別
※混和剤　・混和材 (6.3.1)
⑥ 無筋コンクリート
※下記のコンクリートは無筋コンクリートとして扱う。 (6.14.1)
・配管埋設用コンクリート　・防水層保護コンクリート　・捨コンクリート
・側溝類コンクリート　・裏込めコンクリート　・
⑦ 型枠材料
外部に面するコンクリート打放し仕上げ（仕上塗材、塗装等の仕上げを行う場合を含む。）の打増し厚さ　※20mm　・図示 (6.8.1)
ひび割れ誘発目地　※図示　・監督員の指示による
⑧ ｺﾝｸﾘｰﾄ躯体表面の処理
外装ﾀｲﾙ後張り面の躯体表面の処理 (6.8.3)(11.3.5)(15.3.4)
ＭＣＲ工法又は（15.3.4）(4)による目荒らし工法とする。なお、目荒らし工法の場合は、モルタルの接着に適した粗面に仕上げる工法を 1.2.2「施工計画」による品質計画で定める。また、粗面の状態は、監督員の承諾を受ける。
適用範囲は１１章タイル工事　３コンクリート素地面の処理による。
コンクリートの増打ち厚さ　※２０mm　・
⑨ コンクリート打放し仕上げ
厚さは合板の厚さとする。 (表6.2.4)

種別	コーン穴の仕上げ面	厚さ	施工箇所
・Ａ種	・面うち　・　面と同一	※12mm　・　15mm	
・Ｂ種	・面うち　・　面と同一	※12mm　・　15mm	
・Ｃ種	・	・12mm	

⑦鉄骨工事

10 寒中コンクリート
・適用する　※適用しない (6.11.1)

1 鉄骨製作工場
・監督員の承諾する製作工場 (7.1.3)
・建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた㈱日本鉄骨評価センター又は（株）全国鉄骨評価機構の「鉄骨政策工場の性能評価基準」に定める「　グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

2 施工管理技術者
※適用する　・適用しない (7.1.3)(7.1.4)

3 鋼材
鋼材の材質 (7.2.1)(表7.2.1)

種類の記号	使用箇所	規格等
		※JIS規格による
		※JIS規格による

4 高力ボルト
※ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ　・ＪＩＳ形高力ﾎﾞﾙﾄ　・溶融亜鉛めっき高力ﾎﾞﾙﾄ (7.2.2)
・その他建築基準法に基づき認定を受けたもの（　） (7.2.2)

5 工作図
高力ボルト及び普通ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
※建築工事監理指針による　・図示

6 開先形状
※鉄骨工事技術指針による　・図示 (7.6.4)

7 スカラップ
※図示による　・監督員の指示による (7.6.7)

8 溶接部の試験
ＡＯＱＬ　※４．０％　・２．５％ (7.6.12)
検査水準　※第６水準　・図示 (7.6.12)(表7.6.2)

試験の種別	試験箇所	試験方法
・超音波探傷試験(UT)		※標仕7.6.12(4)による
・		

9 デッキプレートの溶接
・焼抜き栓溶接　・アークスポット溶接 (7.7.8)
・隅肉溶接　・

10 耐火被覆 (7.9.2～7.9.7)

種別		所要性能及び適用構造区分
・耐火材吹付け	・乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・半乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・湿式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・	
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		
・ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り		

11 アンカーボルトの保持及び埋込み工法
※構造用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ(形状、寸法は図示による。) (7.10.3)
・建方用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ(・Ａ種　※Ｂ種) (表7.10.1)
12 柱底均しモルタル
※Ａ種　・Ｂ種 (表7.10.2)
13 錆止め塗料塗り
※Ａ種　・Ｂ種 (表18.3.1)

⑧コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事

1 補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造
ﾌﾞﾛｯｸの種類等 (8.2.2)(8.2.3)(8.2.5)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所
・				・無　・有	

モルタルの調合（容積比）　・セメント（　）：砂（　）
各部の配筋　※図示　・監督員の指示による

2 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ帳壁及び塀
ﾌﾞﾛｯｸの種類等 (8.3.2)(8.3.3)(8.3.4)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所
・空洞ﾌﾞﾛｯｸC（16）				・無　・有	
・型枠状ﾌﾞﾛｯｸ20				・無　・有	
・				・無　・有	

塀の厚さ　・
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状　※図示　・
各部の配筋　※図示　・監督員の指示による

3 ＡＬＣパネル (8.4.2～8.4.5)(表8.4.2)(表8.4.3)(表8.4.4)

種類	単位荷重(N/m²)	厚さ(mm)	取付け工法種別等
・外壁パネル	・1180　・1960	・100	・A種　・B種
※平パネル		・120	
・意匠パネル		・	
・間仕切パネル		・80　・100	・C種　・D種　・E種
※平パネル		・	
・屋根パネル	・980	・100	※標仕8.4.5による
・床パネル	・2350　・3530	・100　・150	耐火性能・有り(・1時間　・2時間)

間仕切壁パネル構法　耐震性能（　）

4 押出成形ｾﾒﾝﾄ板（ＥＣＰ） (8.5.2～8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2)

施工箇所	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法	耐火性能
・外壁ﾊﾟﾈﾙ	※ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ			・A種 ・B種	※有り(　) ・無し
	・ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ				
	・ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ				
・間仕切壁ﾊﾟﾈﾙ	※ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ			・B種 ・C種	※無し ・有り(　)
	・ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ				
	・ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ				

⑨防水工事

1 アスファルト防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3)～(表9.2.9)

種別	施工箇所
・ＡＩ－１	
・ＡＩ－２	
・Ａ－２	
・Ｄ－２	
・ＢＩ－２	

アスファルト　※３種 (9.2.2)
断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※ 25　・ (9.2.2)
材質　屋根保護防水断熱工法　※JIS A 9521押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ3種bA(ｽｷﾝ層付)
材質　露出防水断熱工法　※JIS A 9521発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ断熱材若しくは、JIS A 9521硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号

乾式保護材の材料 (9.2.2)

種類		寸法(mm)：厚さ×幅	適用
・押出成形ｾﾒﾝﾄ板（窯業系ﾊﾟﾈﾙ）	※Ⅰ類	※１５　×	※無石綿に限る
	・Ⅱ類	・　×	
・金属複合板		※１２　×	

統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
１級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
１級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳

統括	作図者	縮尺	工事名称	村松浜集落センター新築工事
	１級建築士登録番号 第224282号 小　林　敏　徳	A1版 N/S A3版 N/S 設計年月日 2024.06	図面名称	建築工事特記仕様書１

No. Ａ－０２

⑨ 防水工事

2 改質アスファルトシート防水

(9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)～(表9.3.3)

種　別	厚　さ	施　工　箇　所
・		
・		

3 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水

(9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)(表9.4.2)

種　別	厚　さ	施　工　箇　所	仕上塗料塗り	使用分類
・			・ シルバー	・非歩行
・			・ カラー	・軽歩行

接着工法の場合　(9.4.3)

脱気装置　種類　　※製造所の仕様　・

設置数量　※製造所の仕様　・　㎡当たり１箇所

ＰＣコンクリート部材下地　(9.4.4)

目地処理(接着工法)　※図示

入隅部の増張り(S-F1、S1-F1工法の場合)　・行わない　・行う(幅　mm程度)

4 塗膜防水

(9.5.2)(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種別	施　工　箇　所	備　考
・Ｘ－１		仕上塗料塗り
・Ｘ－２		・シルバー　・カラー

種別　Ｘ－１の脱気装置

・設ける　種類　　※製造所の仕様　・

設置数量　※製造所の仕様　・　㎡当たり１箇所

⑤ シーリング

下表以外は標仕表9.7.1による。　(9.7.2)(表9.7.1)

施　工　箇　所	シーリング材の種類(記号)

接着性試験　(9.7.5)

※簡易接着性試験　・引張接着性試験(施工部位　　)

ただし試験成績書を監督員に提出し、承諾を得た場合は試験を省略できる

6 防水の保証等

※防水工事は、新潟県防水工事業協同組合員の施工とし、受注者は新潟県防水工事業協同組合と連名の保証書を提出する。ただし、県が認めた場合は、組合員外の施工とすることができる。この場合は、受注者と施工者との連名の保証書とする。

工 法 種 別	施 工 箇 所	保 証 期 間
・　　工法		１０年間
・　　工法		１０年間

※保証書の提出部数　正本　部・副本　部

10 石工事

1 天然石張り

石の種類・表面仕上げ　(10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種類	等級	種　類	寸法(mm)	厚さ(mm)	仕上げの種類
・床石		※２等	※正方形に近い矩形			

2 テラゾ張り

種石の種類　※大理石　・　(10.2.1)

表面仕上げ　※本磨き　・　(表10.2.2)

3 床及び階段の石張り

床石張りの石裏面処理　・　行う　(10.6.2)

屋内のワックス掛け　・　行う　(10.1.5)

⑪ タイル工事

1 セラミックタイル

タイルの種類　(11.2.2)

施工場所・用　途	形状寸法(mm)	耐凍害性 あり	耐凍害性 なし	うわぐすり 施釉	うわぐすり 無釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	備　考
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	

備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする

タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う（※外装タイル　・　　）

2 壁タイル張り工法

内装タイル　・改良積上げ張り　(11.2.7)(表11.2.3)

外装タイル　・密着張り・改良積上げ張り・改良圧着張り

ユニットタイル（内装タイル以外）　・マスク張り・モザイクタイル張り

下地モルタル塗り　※標仕15.3.5

タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外装タイル　・　　）

3 コンクリート素地面の処理

・ＭＣＲ工法　・目荒らし工法　(11.2.7)

施工範囲　※ 図示

⑫ 木工事

① 表面仕上げ

(12.1.4)(表12.1.1)(表12.1.2)

表面仕上げの種別		適用箇所
機械加工	・ Ａ種	
	・ Ｂ種	
	・ Ｃ種	
手加工	・ Ｈ－Ａ種	
	・ Ｈ－Ｂ種	
	・ Ｈ－Ｃ種	

② 製材

(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)(表12.2.1)(表12.2.2)

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質
			※ 2級　・				
			※ 2級　・				
			※ 2級　・				

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質
見え掛り面			※ 上小節　・				
見え掛り面以外			※ 小節以上　・				

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	材面の品質
			※ 1等　・	※ 10%以下　・		
			※ 1等　・	※ 10%以下　・		
			※ 1等　・	※ 10%以下　・		

12 木工事

③ 造作用集成材

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	含水率
			(　　)造作材の場合(※A種　・B種)	・適用する ・適用しない	
			(　　)造作材の場合(※A種　・B種)	・適用する ・適用しない	
			(　　)造作材の場合(※A種　・B種)	・適用する ・適用しない	

ホルムアルデヒド放散量　※ 規制対象外　・　(12.2.1)

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	品名	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質
					※ １等・ ２等
					※ １等・ ２等
					※ １等・ ２等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の等級
		化粧薄板：芯材：				※１等 ・２等
		化粧薄板：芯材：				※１等 ・２等
		化粧薄板：芯材：				※１等 ・２等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質
		化粧薄板：芯材：			
		化粧薄板：芯材：			
		化粧薄板：芯材：			

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下　・
				※15%以下　・
				※15%以下　・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
						※15%以下　・
						※15%以下　・
						※15%以下　・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
						※15%以下　・
						※15%以下　・
						※15%以下　・

4 造作用単板積層材

ホルムアルデヒド放散量　※ 規制対象外　・　(12.2.1)

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用
			・ 有り（・ 天然木加工 ・ 塗装加工）・ 無し（等級：　　）	・適用する ・適用しない
			・ 有り（・ 天然木加工 ・ 塗装加工）・ 無し（等級：　　）	・適用する ・適用しない

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用
		・ 有り（・天然木化粧加工・塗装加工）・ 無し（　　）	※14%以下　・	・適用する ・適用しない
		・ 有り（・天然木化粧加工・塗装加工）・ 無し（　　）	※14%以下　・	・適用する ・適用しない

5 直交集成板

・直交集成板（ＣＬＴ）　(12.2.1)

施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)

⑥ 合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板　(12.2.1)

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名
		※5.5　・	※ 1類 ・ 2類	広葉樹　※2等以上　・1等 針葉樹　※C-D以上　・	
		※5.5　・	※ 1類 ・ 2類	広葉樹　※2等以上　・1等 針葉樹　※C-D以上　・	

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	単板の樹種名	保存処理	防虫処理の適用	強度等級
		※12　・	※１類 ・特類	※2級以上 ・1級		※C-D以上　・		・適用する ・適用しない	・指定する（　　）・指定しない
		※12　・	※１類 ・特類	※2級以上 ・1級		※C-D以上　・		・適用する ・適用しない	・指定する（　　）・指定しない
		※12　・	※１類 ・特類	※2級以上 ・1級		※C-D以上　・		・適用する ・適用しない	・指定する（　　）・指定しない

⑫ 木工事

⑥ 合板等

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・１類 ・特類	・適用する ・適用しない
				・１類 ・特類	・適用する ・適用しない
				・１類 ・特類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理
		・１類 ・２類		・適用する ・適用しない
		・１類 ・２類		・適用する ・適用しない
		・１類 ・２類		・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	品目	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
			・１類 ・２類			・適用する ・適用しない
			・１類 ・２類			・適用する ・適用しない
			・１類 ・２類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ弾さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※13タイプ　・	※P又はM　・		※15　・
		※13タイプ　・	※P又はM　・		※15　・

・構造用パネル

施工箇所	品名	等級	厚さ(mm)
		・１級 ・２級 ・３級 ・４級	
		・１級 ・２級 ・３級 ・４級	

・ミディアムデンシティーファイバーボード（ＭＤＦ）

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ弾さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)

⑦ 接着剤

⑧ 防腐・防蟻処理

ホルムアルデヒドの放散量　※ 規制対象外　・　(12.2.2)(12.2.3)

・ 防腐、防蟻処理を省略できるが樹種による製材　(12.3.1)(12.3.2)

適用部位：（　　・　　）

・ 薬剤の加圧注入

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４

・ 薬剤の接着材への混入

適用部位（　　）

・ 防水処理

適用部位（　　）

⑬ 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺

(13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚(mm)
	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板　・	※0.4　・
	・	

2 折　板　葺

(13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状(mm)	山高(　　)山ﾋﾟｯﾁ(　　)　板厚　※ 0.6　・ 0.8
耐力による区分	・１種　・２種　・３種　・４種　・５種
材　料（規格等）	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板　・
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	※有り（種別　　厚　mm）　・ 無し
耐火性能	※30分耐火　・ 無し

③ と　い

材 種　※配管用鋼管　⊙硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管　(13.5.2)(表13.5.1)

鋼管製といの防露　※ 標仕表13.5.4による

掃除口　・有り　・無し

⑭ 金属工事

1 あと施工アンカーの引抜き耐力試験

※ 適用する。　(14.1.3)

② ステンレスの表面仕上げ

(14.2.1)

種　類	施　工　箇　所
※ＨＬ程度	
・No２Ｂ程度	
・鏡面仕上げ	
・	

3 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)(表14.2.1)

種　別	色合い	施　工　箇　所
・BB－１種	無着色	
・BB－２種	・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ｽﾃﾝｶﾗｰ ・ﾌﾞﾗｯｸ	
・		

4 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)(表14.2.2)

表面処理法	種　別	施　工　箇　所
溶融亜鉛めっき	・Ａ種(板厚6.0mm以上)	
	・Ｂ種(板厚3.2mm以上)	
	・Ｃ種(板厚1.6mm以上)	
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

5 軽量鉄骨天井下地

屋外の場合の形式及び寸法　(14.4.3)(表14.4.2)

※下記以外は、標仕14.4.3及び表14.4.2による

下地材の間隔（mm）			施　工　箇　所
野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ		野　縁	
中央部	周辺部		

ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を、標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。

ふところが３ｍを超える場合の補強　※図示　・　(14.4.4)

14 金属工事

6 金属成形板張り

(14.6.2)(表14.2.1)

形　状	製法	材　種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理	色合い
・ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形	・押出し ・ﾛｰﾙ	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・			・BB-1種	無着色
					・BB-2種 ・	・ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ
・ﾊﾟﾈﾙ形	※ﾌﾟﾚｽ ・					

伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示）　(14.6.3)

7 ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木

オープン形式アルミニウム製笠木の種類　(14.7.2～3)(表14.2.1)(表14.7.1)

種　類	呼称肉厚(mm)	表面処理及び色合い	固定間隔・方法
・250形	1.6以上	・BA-1種　・ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・BA-2種　・ﾌﾞﾗｯｸ ・　・ｽﾃﾝｶﾗｰ	建築基準法に基づき指定する条件により定める
・300形	1.8以上		
・350形	2.0以上		
・			

コーナー部及び突当たり部等の役物は笠木本体製造所の仕様による。

15 左官工事

1 床コンクリートの直均し仕上げ

下表以外は標仕表6.2.5及び標仕15.4.2による　(表6.2.5)(15.4.1)(15.4.2)

施　工　箇　所	平たんさ(mm)	備　考
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌｫｱ(ﾊﾟﾈﾙ構法)範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌｫｱ(溝構法)範囲	3mにつき 7以下	

2 仕上塗材仕上げ

(15.6.2)(表15.6.1)

種　類	呼　び　名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｅ	※砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材Ｅ	砂壁状じゅらく
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＥ ・防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材ＲＥ ・ ・ ・ ・	・ゆず肌　・凸部処理　※凹凸状 耐候性　※３種　・２種　・１種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※ｱｸﾘﾙ系　・ ・ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系 外観　※つやあり　・つやなし ・ﾒﾀﾘｯｸ 防水形は増塗を行う。

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。　(15.6.2)

3 しっくい塗り

※施工箇所

室名	部位

※左官業者

新潟県左官業協同組合主催の「漆喰塗り技能者資格講習会」の修了者立ち会いのもとで施工すること。ただし、これによることができない場合は、理由及び施工者を明らかにした書面を提出し、監督員の承諾を受けて施工するものとする。

※材料、下地、調合、塗り厚、工程及び工法

「既調合しっくい塗り標準仕様書」（新潟県土木部都市局営繕課）による。

⑯ 建具工事

① 見本の製作等

・見本の製作　（建具番号　　）　(16.1.4)

・特殊な建具の仮組等（建具番号　　）

2 防犯建物部品

※適用する（適用部品及び適用位置は図示による）　(16.1.6)

③ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具

外部に面する建具の性能等級等(ｺﾝｸﾘｰﾄ下地及び鉄骨下地)　(16.2.2)(表16.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	※Ａ－３ ・	※Ｗ－４ ・	※７０ ・	
※Ｂ種	Ｓ－５				
・Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	・	

外部に面する建具の性能等級(木下地)　(16.2.2)(表16.2.2)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ｄ種	Ｓ－２	Ａ－３	Ｗ－３		
・Ｅ種	Ｓ－３	Ａ－３	Ｗ－３		

表面処理　(16.2.4)(表14.2.1)

施工箇所	種　別	色　合　い　等
外部建具	※BB-１種 ・BB-２種 ・	・無着色 ・標準色（※ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ） ・
内部建具	・BC-１種　・ ・BC-２種	・無着色 ・標準色（※ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）

4 樹脂製建具

外部に面する樹脂製建具の性能等級(ｺﾝｸﾘｰﾄ下地及び鉄骨下地)(16.3.2)(表16.3.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	Ａ－４	Ｗ－４		
・Ｂ種	Ｓ－５		Ｗ－５		
・Ｃ種	Ｓ－６				

外部に面する樹脂製建具の性能等級(木下地)　(16.3.2)(表16.3.2)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ｄ種	Ｓ－２	Ａ－４	Ｗ－３		
・Ｅ種	Ｓ－３				

外部に面する樹脂製建具の遮音性能等級　(16.3.2)(表16.3.2)

性能等級	施工箇所
・Ｔ－１	適用箇所は建具表による
・Ｔ－２	

外部に面する樹脂製建具の断熱性能等級　(16.3.2)(表16.3.3)

断熱性の等級	熱貫流率（W/（㎡･K）	施工箇所
・Ｈ－４	2.9以下	適用箇所は建具表による
・Ｈ－５	2.3以下	
・Ｈ－６	1.9以下	
・Ｈ－７	1.5以下	
・Ｈ－８	1.1以下	

統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
１級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
１級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳

統括

作図者
１級建築士登録番号　第224282号
小　林　敏　徳

縮尺
A1版 N/S
A3版 N/S
設計年月日
2024.06

工事名称　村松浜集落センター新築工事

図面名称　建築工事特記仕様書２

No. Ａ－０３

⑯建具工事

4 樹脂製建具

ガラス ※複層ガラス ・単板ガラス ・三重ガラス (16.3.3)
表面色 標準色（※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー） (16.3.4)
水切り ※図示 (16.3.5)
防虫網 (16.2.3)
網の種別 ※合成樹脂製 ・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製 ・ｽﾃﾝﾚｽ(SUS316)製
形 式 ・外部可動式 ・固定式 ・図示

⑤ 網戸

6 鋼製建具（標準型鋼製建具を含む）

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能の適用 (16.4.2)(表16.4.1)
※適用する(適用箇所は建具表による) ・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 (16.4.2)(表16.2.1)
・ S－4 ・ S－5 ・ S－6
鋼板類の厚さ（１枚の戸の有効間口幅950mm又は有効高さ2,400mmを超える場合
※下表以外は表16.4.2による (16.4.4)(表16.4.2)

区 分		使用箇所	厚さ(mm)
窓	枠類	外部の下枠、水切り板	2.3
出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	2.3
	戸	中骨	2.3

（上表によるほか、建具製作所の仕様による性能など資料を提出し、監督員の承諾を受ける。）
・図示

7 鋼製軽量建具（標準型鋼製軽量建具を含む）

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能の適用 (16.5.2)
・適用する（適用箇所は建具表による）

8 ｽﾃﾝﾚｽ製建具

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能の適用 (16.4.2)(表16.4.3)
・適用する（適用箇所は建具表による）
外部に面する建具の耐風圧性 (16.6.2)(表16.2.1)
・ S－4 ・ S－5 ・ S－6
表面仕上げ ※ＨＬ仕上げ ・鏡面仕上げ (16.6.4)
曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (16.6.5)

⑨ 木製建具

かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ） (16.7.2)
ふすまの上張り ※新鳥の子又はﾋﾞﾆﾙ紙程度 ・鳥の子 (表16.7.3)
ふすまの縁の仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (表16.7.10)

⑩ 建具用金物

マスターキー ※製作する（ 本） ・製作しない (16.8.4)
鍵札数量 ・錠前１組に２枚とする ・錠前１組に 枚とする

11 自動ﾄﾞｱ開閉装置

かご箱 市販品 形式 ・３０組用 ・６０組用 ・１２０組用
(16.9.2)(16.9.3)(表16.9.1～4)

引き戸用駆動装置の種類	引き戸用検出装置の種類		防 錆
・SSLD-1	・光線（反射）ｾﾝｻｰ	・電波ｾﾝｻｰ	・適用する
・SSLD-2	・熱線ｾﾝｻｰ	・ﾀｯﾁｽｲｯﾁ	・適用しない
・DSLD-1	・音波ｾﾝｻｰ	・押しﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ	
・DSLD-2	・光電ｾﾝｻｰ	・多機能ﾄｲﾚｽｲｯﾁ	

12 自閉式上吊り引戸装置

凍結防止措置 ※ 行わない ・ 行う（ ） (16.9.3)
※適用する（適用建具及び適用位置は図示による） (16.10.1)

13 重量シャッター

シャッターの種類 (16.11.2)
・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター ・防炎シャッター
管理用シャッター及び外壁防火シャッターの耐風圧強度 （ ）N/m² (16.11.2)
開閉機能 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 (16.11.2)(表16.11.1)
一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない (16.11.2)

14 軽量シャッター

開閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用） (16.12.2)
外部に面するシャッターの耐風圧強度 （ ）N/m² (16.12.2)
スラット (16.12.3)(16.12.4)(表16.12.2)

材 質	めっき付着量	厚さ(mm)	形 状
・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯	※Z06又はF06 ・	・ 0.5 ・ 0.6	※ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形 ・ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ形
・塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯	※AZ90 ・	・ 0.8 ・ 1.0	

ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ等 ※鋼板製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製SUS304(厚さ1.5mm) (表16.12.2)
ｼｬｯﾀｰｹｰｽ 厚さ（mm） ・0.4 ・0.8 ・ (表16.12.2)
(16.13.2)(16.13.3)

15 ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ

セクション材料	開閉方式	収納形式	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※ﾊﾟﾗﾝｽ式 ・ﾁｪｰﾝ式 ・電動式	・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ・ﾛｰﾍｯﾄﾞ形 ・ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ﾊﾟｰﾁｶﾙ形	※溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板(SUS304)

耐風圧性能による区分 ・５０ ・７５ ・１００ ・１２５ (16.13.2)
下記以外は、建具表による (16.14.2)
・合わせガラス
特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類
・強化ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類	特性による種類
・ﾌﾛｰﾄ強化ｶﾞﾗｽ ・型板ｶﾞﾗｽ	・Ⅰ類 ・Ⅲ類（曲面はⅠ類）

・複層ガラス

種 類	断熱性、日射遮へい性による区分
・断熱複層ｶﾞﾗｽ	・Ｔ１ ・Ｔ２ ・Ｔ３ ・Ｔ４ ・Ｔ５ ・Ｔ６
・日射熱遮へい複層ｶﾞﾗｽ	・Ｇ ・Ｓ

・熱線吸収板ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類	特性による種類	色 調
・熱線吸収ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ	・１種	・ﾌﾞﾙｰ ・ｸﾞﾚｰ
・熱線吸収網入り磨き板ｶﾞﾗｽ	・２種	・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ ・ｸﾞﾘｰﾝ

・熱線反射ガラス

種 類	材料板ｶﾞﾗｽの種類	日射遮へい性	耐久性
※熱線反射ｶﾞﾗｽ ・高性能熱線反射ｶﾞﾗｽ	・ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ ・熱線吸収板ｶﾞﾗｽ ・強化ｶﾞﾗｽ ・倍強度ｶﾞﾗｽ	・１種 ・２種 ・３種	・Ａ類 ・Ｂ類

・倍強度ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類の名称	色 調
※ﾌﾛｰﾄ倍強度ｶﾞﾗｽ	
・熱線吸収倍強度ｶﾞﾗｽ	・ｸﾞﾚｰ ・ﾌﾞﾙｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ ・

⑯建具工事

⑰ ガラス留め材

ガラス留め材 (16.14.2)(表9.7.1)

建具の種類	材 種
アルミニウム製	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ※ｶﾞｽｹｯﾄ（FIX部はｼｰﾘﾝｸﾞ材）
鋼製及び軽量鋼製	※ｼｰﾘﾝｸﾞ材
ステンレス製	※ｼｰﾘﾝｸﾞ材

18 ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ積み (16.14.5)

寸 法(mm)		表 面 形 状		性 能 等	
呼び寸法	厚さ	色 調	パターン	防火性能	耐火性能
		※クリア ・		※無し ・	※無し ・

壁用金属枠及び補強材

壁用金属枠の種類	規格及び補強材等
※アルミニウム製 ・	・標仕16.2.3のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具の材料による ・

化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・
シーリング材料
下記以外は標仕表9.7.1による (16.14.5)(9.7.2)(表9.7.1)

被着体の組合せ	シーリング材の種別		
	記号	主成分による区分	耐久性による区分

19 ガラス用フィルム

名 称	種 類	張 り 面	性 能 値
※ｶﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ	第２種	※内張り ・外張り	飛散防止率 95%以上
・			

品質 JIS A 5759による

⑱塗装工事

① 素地ごしらえ

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及びその他ﾎﾞｰﾄﾞ面の継ぎ目処理工法の場合 (18.2.7)(表18.2.7)
種別 ※Ａ種 ・Ｂ種（施工箇所： ）

② 錆止め塗料塗り

２回目の錆止め塗料塗り (18.3.3)
・鉄骨等の製作工場 ・工事現場

③ 耐候性塗料塗り

鉄工面耐候性塗料塗りの上塗り塗料 (18.7.2)
・１級 ・２級 ・３級
亜鉛メッキ鋼面耐候性塗料塗りの上塗り塗料 (18.7.3)
・１級 ・２級 ・３級
ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面耐候性塗料塗りの種別 (18.7.4)
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種

④ 塗装業者

※日本塗装工業会の会員 ・監督員の承諾する業者

⑲内装工事

① ビニル床シート (19.2.2)

種 類	JISの記号	色 柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※ＦＳ・ＴＳ	※無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ柄	※2.0
・発泡層のあるもの	・ＨＳ・ＫＳ	※柄物 ・無地	
・			

工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所 ） (19.2.3)

② ビニル床タイル (19.2.2)

種 類	JISの記号	厚さ(mm)	備 考
※ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＫＴ	※2.0	
・単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＴＴ	・	
・複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＦＴ	・	
・置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＦＯＡ	・	
・薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＦＯＢ	・	

③ 誘導用、注意喚起用床材

視覚障害者用床ﾀｲﾙ (19.2.2)

適用箇所	種 類	寸 法（mm）	形 状
屋 内	・塩化ﾋﾞﾆﾙ系	※300×300 ・	ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾀｰﾝ JIS T 9251 による 色彩は黄色を 原則とする
	・ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ系	※300×300 ・	
	・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ	・	
屋 外	・ｺﾝｸﾘｰﾄ系	※300×300×60 ・300×300×30	
	・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ	・	

4 ビニル幅木

厚さ(mm) ※1.5 ・ ・ (19.2.2)
高さ(mm) ※60 ・75 ・100

5 帯電防止床ﾀｲﾙ (19.2.2)

種 類	厚 さ(mm)	性 能
・ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	※2.0 ・	体積抵抗値(JIS K 6911による) 1.0×10^{9}Ω以下、 又は、 漏洩抵抗値(JIS A 1454による) 1.0×10^{10}Ω未満
・ホモジニアスビニル床ﾀｲﾙ	※4.0又は4.5	
・	・	
・	・	

6 カーペット敷き

・織じゅうたん (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.1)

種 別	織 り 方	ﾊﾟｲﾙ形状	帯 電 性	色・柄等
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	人体帯電圧 ※3kV以下 ・	※単一色(無地) ・柄物(標準品)

・タフテッドカーペット (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2)

ﾊﾟｲﾙ形状	ﾊﾟｲﾙ長(mm)	工 法	帯 電 性
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	※5.0～7.0 ・	※全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	人体帯電圧 ※3kV以下 ・
・ﾏﾙﾁﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟ	※4.0～6.0 ・		
・ﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※4.0		
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・		

・タイルカーペット (19.3.3)

種 別	ﾊﾟｲﾙ形状	電気抵抗値(Ω)	寸 法	層 厚	施 工 箇 所
※第一種 ・	※ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	※適用しない ・10^{8}Ω以下	※500角 ・	※6.5mm ・	・ ・

7 合成樹脂塗り床 (19.4.2)(19.4.3)(表19.4.4～表19.4.8)

種 別	仕 上 げ の 種 類
・弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上 ・防滑仕上 ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗り床材	※薄膜流し展べ工法（※平滑 ・防滑） ・厚膜流し展べ工法（※平滑 ・防滑） ・樹脂モルタル工法（※平滑 ・防滑） ・薄膜型塗床工法

⑲内装工事

8 床用塗料塗り

材 質 ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗料 （※標準色 ・ ）
仕上種別 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ
塗布量 ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗のうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5Kg/m²以上とする。

9 防塵用塗料塗り

材 質 水性ｱｸﾘﾙ系塗料 （※標準色 ・ ）
仕上種別 ｺｰﾃｨﾝｸﾞ（ﾛｰﾗｰ刷毛塗り）
塗布量 主剤2回りとし、総塗布量は0.25Kg/m²以上とする。

⑩ フローリング張り (19.5.2～19.5.7)(表19.5.1～表19.5.4)

品 名	樹 種	種 別	工 法	現場塗装仕上げ
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等	※なら ・		・根太張り工法 ・直張り工法 ・接着工法 ・	・行う ・行わない
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ1等	※なら ・			・行う ・行わない
・天然木化粧複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	※なら ・	・A種 ・B種 ※C種		・行う ・行わない

⑪ 畳敷き

畳の種別 (19.6.2)(表19.6.1)
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種(・KT-Ⅰ ・KT-Ⅱ ※KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N)

⑫ せっこうﾎﾞｰﾄﾞその他のﾎﾞｰﾄﾞ張り (19.7.2)(表19.7.1)

種 類	JISの記号	厚さ(mm)・規格等
・硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板	ＨＷ	・15 ・20 ・25
・普通木毛ｾﾒﾝﾄ板	ＮＷ	・15 ・20 ・25
・けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	０．８ＦＫ	・ ﾀｲﾌﾟ2(無石綿)
・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板	ＤＲ	※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ(※9.0 ・12.0 ・) ・凹凸ﾀｲﾌﾟ(※12.0 ・15.0) ((個)不燃)
・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－Ｒ	・9.5（準不燃） ・12.5（不燃）
・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－ＮＣ	9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様)
・ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－Ｓ	・9.5（準不燃） ・12.5（準不燃）
・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－Ｆ	・12.5（不燃） ・15.0（不燃）
・		

軽量鉄骨下地ﾎﾞｰﾄﾞ遮音壁の遮音シｰﾙ材 (19.7.2)(表9.7.1)
※適用する（・アクリル系 ・ポリウレタン系 ・ジョイントコンパウンド）
・適用しない
・せっこうボードの目地処理 (19.7.2)(表19.7.5)

目地処理の処理	せっこうﾎﾞｰﾄﾞのｴｯｼﾞの種類	施 工 箇 所
・継目処理工法	・ﾃｰﾊﾟｰｴｯｼﾞ ・ﾍﾞﾍﾞﾙｴｯｼﾞ	
・突付け工法 ・目透し工法	・ﾍﾞﾍﾞﾙｴｯｼﾞ ・ｽｸｴｱｴｯｼﾞ	

13 吸音材 (表19.7.1)

種 類	記 号	厚さ(mm)
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音材料	ＲＷ－Ｂ	※25 ・
※ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音材料	ＧＷ－Ｂ	※25 ・
・		・

⑭ 壁紙張り (19.8.2)

施工箇所	壁 紙 の 種 類					防火性能の級別	備 考
	紙製	織物	ﾋﾞﾆﾙ	化学繊維	無機質		
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ (19.8.3)(表18.2.4)(表18.2.5)(表18.2.7)
ﾓﾙﾀﾙ、ｺﾝｸﾘｰﾄ面 ※Ｂ種 ・Ａ種（施工箇所： ）
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面 ※Ｂ種 ・Ａ種（施工箇所： ）

⑮ 断熱材打込み工法

断熱材 (6.8.2)(19.9.2)

断 熱 材 の 種 類				厚さ(mm)
・ﾋﾞｰｽﾞ法 ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板	・１号 ・２号 ・３号 ・４号			・ ・
⊙押出法 ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板	・１種ｂ	・Ａ ・Ｂ ・Ｃ		・
	・２種ｂ	・Ａ ・Ｂ ・Ｃ		・
	・３種ａ	・Ａ ・Ｂ ・Ｃ ・Ｄ		・
	・３種ｂ	・Ａ ・Ｂ ・Ｃ ・Ｄ		・
	スキン層 ・あり ・なし			
・硬質 ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材	・１種	・１号 ・２号 ・３号		・
	・２種	・１号	・Ａ ・Ｂ ・Ｃ ・Ｄ ・Ｅ	・
		・２号	・Ａ ・Ｂ ・Ｃ ・Ｄ ・Ｅ ・Ｆ	・
		・３号		
		・４号		
	・３種	・１号	・Ａ ・Ｂ ・Ｃ ・Ｄ	
		・２号	・Ａ ・Ｂ ・Ｃ ・Ｄ	
⊙ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材	・１種	・１号	・Ａ ・Ｂ ・Ｃ ・Ｄ ・Ｅ	・
		・２号	・Ａ ・Ｂ ・Ｃ ・Ｄ ・Ｅ	・
		・３号	・Ａ ・Ｂ ・Ｃ ・Ｄ ・Ｅ	・
	・２種	・１号Ａ ・２号Ａ ・３号Ａ		
	・３種	・１号Ａ		
・断熱材 兼用型枠	建設技術評価規定（昭和53年 建設省告示第976号）に基づき建設大臣が評価した工法			・

16 断熱材現場発泡工法

断熱材の種類 ・Ａ種１ ・Ａ種１Ｈ (19.9.3)
断熱材の吹付け厚さ ・ mm

⑳ユニット及びその他工事

1 基本要求品質 (20.1.2)

特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料のホルムアルデヒドの放散量はＦ☆☆☆☆を基本とする。なお該当する材料等がない場合において、Ｆ☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

2 耐震スリット

方 向	表 面 仕 上 げ	耐火性能	防水性能
・垂直方向 ・水平方向	※完全(全貫通型)ｽﾘｯﾄ	・耐火型	・有り ・無し

	目 地 材	目地寸法(mm)
内壁（幅×深さ）	ｼｰﾘﾝｸﾞ材（見え掛かりのみ）	※20×10
外壁（幅×深さ）	ｼｰﾘﾝｸﾞ材（内外とも）	※20×10

⑳ユニット及びその他工事

3 ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ (20.2.2)

施工箇所	構 法	仕上り高(mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能 注(1)	表面仕上げ材 注(2)
	・ﾊﾟﾈﾙ構法 ・溝構法	・ ※50未満	・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ
	・ﾊﾟﾈﾙ構法 ・溝構法	・ ※50未満	・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ

注(1)：耐荷重性能5,000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。
注(2)：表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による。
ｽﾛｰﾌﾟ及びﾎﾞｰﾀﾞｰ
※製造所の標準仕様（ただし、構成材は標仕20.2.2(2)(イ)による） ・図示
ｺﾝｾﾝﾄ等の取付け対応
仕様 ※製造所の標準仕様（ｺﾝｾﾝﾄ本体は別途設備工事）
ｺﾝｾﾝﾄの箇所数 ※10～15m²に1箇所程度
配線用取出しﾊﾟﾈﾙ
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ全体面積に対する設置割合 ※20～30%
配線取り出し開口 ※40mm×80mm程度の開口
空調用吹き出しﾊﾟﾈﾙ
※無し ・有り（※固定式 ・可変式 ：施工箇所は図示）

4 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	ﾊﾟﾈﾙ部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	ﾊﾟﾈﾙ表面仕上げ	遮 音 性(JISによる記号)
※ﾊﾟﾈﾙ式 ・ｽﾀｯﾄﾞ式 ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式	・	※鋼板 (※0.6 ・0.8) ・	・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付け ・ｱｸﾘﾙ樹脂焼付け ・	・有り

不燃材料の認定 ・有り

5 移動間仕切 (20.2.4)

遮音性能区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般ﾀｲﾌﾟ	・	※鋼板	・焼付け塗装	・手動式 ・電動式 ・部分電動式
・遮音ﾀｲﾌﾟ(注1)	・	※鋼板	・焼付け塗装	・手動式 ・電動式 ・部分電動式

注：表面仕上げの壁紙張りの品質は１９章内装工事 １５壁紙張りによる。
遮音性能 ※36dB/500Hz以上 ・36dB/500Hz未満
パネル圧接装置操作方法 ※製造所標準仕様 ・

⑥ トイレブース

表面仕上げ材 ・ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板（標準色 ｱﾙﾐ製ｺｰﾅｰｴｯｼﾞ付き） (20.2.5)
・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板（標準色 ｱﾙﾐ製ｺｰﾅｰｴｯｼﾞ付き）
脚部(ｽﾃﾝﾚｽ製) ※幅木ﾀｲﾌﾟ ・支柱ﾀｲﾌﾟ
ﾄﾞｱｴｯｼﾞ ※曲面形 ・ﾌﾗｯﾄ形 ・製造所の仕様

⑦ 手すり及びタラップ (20.2.6)(20.2.12)(表14.2.2)

種 類	材料の種別	表 面 処 理
・手すり	※ｽﾃﾝﾚｽsus304	※ＨＬ程度 ・鏡面程度 ・
	・鉄	亜鉛めっき 外部 ※Ｃ種 ・ 内部 ※Ｅ種 ・
・ﾀﾗｯﾌﾟ	※ｽﾃﾝﾚｽsus304	※研磨なし ・
	・鉄	亜鉛めっき 内外部 ※Ｃ種 ・

8 階段滑止め

材 種 ※ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304) ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ ・黄銅 (20.2.7)
形 状 ※ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾄ入り ・ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾄなし
両端ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞ ※有り（ｽﾃﾝﾚｽ製 ※ﾋﾞﾆﾙ製） ・ 無し
幅(mm) ・30 ・35 ・40 ・
取付け方法 ※接着工法 ・ 埋込み工法

9 階段手すり

種 別	施 工 箇 所
※集成材ｸﾘｱﾗｯｶｰ仕上げ(市販品) 径 ・38mm ・45mm ・60mm	
・ビニル製手すり(幅 約40mm)	

10 黒板及びホワイトボード (20.2.9)

種 類	区 分	種 類	備 考
・黒板	※焼付け ・	※鋼製 ・ほうろう	※平面 ・曲面 ・ｽｸﾘｰﾝ付引分
・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	・	・	※平面 ・曲面 ・ｽｸﾘｰﾝ付引分

11 ブラインド (20.2.14)

形 式	種 類	ｽﾗｯﾄの材質	ｽﾗｯﾄの幅(mm)
※横形	※ｷﾞｱ式 ・ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・樹脂製 ・木製	※25 ・35 ・100
・縦形	・1本操作ｺｰﾄﾞ ※2本操作ｺｰﾄﾞ	・焼付け塗装仕上げのｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・特殊防炎加工のｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100

⑫ ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ

※市販品（ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 押出し型材）

使 用 区 分	溝幅×深さ（mm）
・横形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※90×150 ・120×150 ・
・縦形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※120×80 ・150×80 ・
・ｶｰﾃﾝ（又はﾚｰｽ共）	※150×80 ・180×80 ・
・ｶｰﾃﾝ＋横形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※180×150 ・

色彩 ・Ｂ－１ ・Ｂ－２（・ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
・図示

13 ロールスクリーン (20.2.15)

操 作 方 法	幅及び高さ	材 種	品 質 等
・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式 ・ｺｰﾄﾞ式（ﾁｪｰﾝ式） ・電動式	・ ・ ・	・ｶﾞﾗｽ繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	

巻取りﾊﾟｲﾌﾟ、ｳｪｲﾄﾊﾞｰ、操作ｺｰﾄﾞ、操作ﾁｪｰﾝの材料
※製造所の仕様 ・

⑭ カーテン及びカーテンレール

カーテン (20.2.16)

取付箇所	形 式		開閉操作方 式	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工品
・ ・	・ｼﾝｸﾞﾙ ⊙ﾀﾞﾌﾞﾙ	・片引き ⊙引分け	⊙手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ﾌﾟﾚｰﾂひだ	・ ・

暗幕用ｶｰﾃﾝの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上 ・
※会議室・事務室・大広間のサッシ上部にカーテンボックス及びダブルのカーテンレールを設置するが、カーテンに関しては別途工事とする。

統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号 電話（0254）44-8250番（代表）
１級建築士事務所 新潟県知事登録（リ）第1743号
１級建築士登録番号 第224282号 小林 敏徳

統括	作 図 者	縮 尺
	１級建築士登録番号 第224282号 小 林 敏 徳	A1版 N/S A3版 N/S 設計年月日 2024.06

工事名称 村松浜集落センター新築工事
図面名称 建築工事特記仕様書３

⑳ ユニット及びその他工事

⑮ ピクチャーレール

カーテンレール (20.2.16)

強さによる区分	材　料	仕 上 げ	形　状
※10-90 ・	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製	※ｱﾙﾏｲﾄ ・	※角形 ・

ﾚｰﾙ　材　質　ｱﾙﾐﾆｳﾑ製(ｼﾙﾊﾞｰ)
　　形　式　先付け天井埋込型(見切縁兼用)

ﾗﾝﾅｰ　材　質　本体：真鍮製　ﾌｯｸ：ｽﾃﾝﾚｽ製(可動式)
　　耐荷重　25kg程度／個
　　個　数　２個／ﾚｰﾙ１m

⑯ 天井点検口

目地形状	適 用 箇 所	寸法（mm）
・額縁ﾀｲﾌﾟ	下記以外全て	※450×450 ・600×600
・目地ﾀｲﾌﾟ	※図示 ・天井仕上げ材がDRの範囲	

⑰ 床下点検口

本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法（mm）
※ｱﾙﾐ製	※ｱﾙﾐ　・ｽﾃﾝﾚｽ　・黄銅	下記以外全て	※600×600
・ｽﾃﾝﾚｽ製			・

⑱ 積雪表示板

※塩化ﾋﾞﾆﾙ製（白）、ｽﾃﾝﾚｽｽﾅｯﾄ(10mm)４本詰め、文字入れ共
取付け場所（・図示　　・監督員の指示による　）
寸法　１８０×１６０×５

160mm
設 計 積 雪 量
下記の積雪量を超えるときは
雪下ろしが必要です
設計積雪量　O．Om
設　計　者　株式会社○○設計事務所
施　工　者　○○建設株式会社
竣工年月日　令和○○年○○月○○日
１８０mm

⑲ 表示

室名札 (20.2.11)

材　質	寸法(mm)	突出型	面付型	文字形式	受 金 具
※塩化ﾋﾞﾆﾙ製	※260×80×5	ヶ所	ヶ所	※文字書込み	※ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)
・ｱｸﾘﾙ樹脂製	・	ヶ所	ヶ所	・文字彫込み	・
・県産杉板材	※260×80×12	ヶ所	ヶ所	・印刷	

20 くつふきマット

市販品
材　質　・塩化ﾋﾞﾆﾙ製(ｺｲﾙ状　ｽﾃﾝﾚｽ製受枠)
　　・ﾋﾞﾆﾙ製(ｽﾃﾝﾚｽ製受枠)
　　・硬質ｱﾙﾐﾆｳﾑ製（受枠とも）
　　・ｽﾃﾝﾚｽ製（受枠とも）

21 流し台ユニット

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量　※規制対象外　・第三種

種　類	寸 法 (L=mm)	適 用 内 容	規格・品質等
・流し台	※1200　・1500　・1800	ﾄﾗｯﾌﾟ付き	・優良住宅部品
・ｺﾝﾛ台	※600　・700　・	ﾊﾞｯｸｶﾞｰﾄﾞ　※有り	(ｾｸｼｮﾅﾙｷｯﾁﾝⅠ型)
・つり戸棚	※1200　・900　・600		・市販品
・水切り棚	※1200　・900	ｽﾃﾝﾚｽ製　※1段式	※市販品

22 屋内掲示板

枠の材質　※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製
表面の材質　※特殊発砲ﾋﾞﾆｰﾙ張り

23 洗面カウンター

材　種　・ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板張り（芯材：集成材）・人工大理石（品質　※図示）
奥行き(mm)　・約450　・約600

24 敷地境界石標

・かこう岩（文字記号等入り）
※ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ製の市販品程度

21 排水工事

1 排水管

排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)

材　種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管	※外圧管（※１種　・２種）	Ｂ形（ｺﾞﾑ接合）
・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	※ＶＰ　・ＶＵ ・ＲＳ－ＶＵ	
・		

側塊の形状及び寸法　・図示　・

2 排水桝及びふた

鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙふた (21.2.1)

種　類	適用荷重
・水封形　・中ふた付密閉形(ﾃｰﾊﾟｰ・ﾊﾟｯｷﾝ式)	・T-2　・
・簡易気密形(ﾊﾟｯｷﾝ式)　・密閉型（ﾎﾞﾙﾄ・ﾊﾟｯｷﾝ式）	・T-6　・
・密閉形(ﾃｰﾊﾟｰ・ﾊﾟｯｷﾝ式)	・T-20　・

ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞふた (21.2.1)

材　質	形　式	種　類	適用荷重	ﾒﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	上面形状
・鋼製	※受枠付き	・溝ふた用	・歩行用	※細目	※凹凸形
・ｽﾃﾝﾚｽ製	・ ﾎﾞﾙﾄ固定 ※無し ・図示	・桝ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用	・T- 2 ・T- 6 ・T-14 ・T-20 ・	・普通目 ・細目	※平形 ・凹凸形

3 埋戻し土

※Ｂ種　・建設汚泥から再生した処理土 (21.2.1)

4 暗きょ、縁石及び側溝

コンクリート縁石及び側溝 (21.3.1)

名　称	形　状	寸　法
・縁石	・	・
・Ｌ型側溝	・	・
・Ｕ型側溝	・	・
・Ｕ型側溝ふた	・	・

砂利地業の厚さ　※100mm　・　mm (21.3.2)

22 舗装工事

1 盛土に用いる材料

・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 (22.2.3)(表3.2.1)

2 凍上抑制層の材料

※再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ　・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ　・切り込み砂利　・ (22.2.3)
※添加材料による安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.1)
砂の粒度試験　・行う　・行わない

3 路床安定処理

種　類　・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種
　　・高炉ｾﾒﾝﾄB種　・生石灰(・特号　・１号)　・消石灰(・特号　・１号)
添加量　kg／m³(目標CBR　・3以上　・5以上　・　)

4 路床の試験

支持力比（CBR）試験　・行う（※乱した土　・乱さない土）・行わない (22.2.5)
路床締固め度の試験　・行う　・行わない
現場CBR試験　・行う　・行わない

5 路盤材料

路盤の厚さ　・　mm (22.3.2)
路盤材料
※再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ(RC－40)　・ｱｽﾌｧﾙﾄ再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ(ARC－40)　(22.3.3)(表22.3.1)
・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ(C－40)　・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ鉄鋼ｽﾗｸﾞ(CS－40)
・粒度調整砕石

6 路盤の締固め度試験

※行う (22.3.5)

7 アスファルト舗装

再生アスファルトの種類　・60～80　・80～100 (22.4.2)
加熱アスファルト混合物等（表層）の種類 (22.4.4)
・密粒度アスファルト混合物(13)　・細粒度アスファルト混合物(13)
※密粒度アスファルト混合物(13F)

アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　※行わない (22.4.6)

8 コンクリート舗装

ｺﾝｸﾘｰﾄの種類　※普通ｺﾝｸﾘｰﾄ　・ (22.5.3)(表22.5.1)

部 位	設計基準強度(N/mm2)	スランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)	厚 さ(mm)
・車路及び駐車場	※24	※8	砂利の場合　・25　・40 砕石の場合　・20　・25	・150 ・200
・歩行者用通路	※18	※8	・砂利の場合　25 ・砕石の場合　20	・ 70

早強セメント　※使用しない　・使用する (22.5.3)
注入目地材料　※低弾性ﾀｲﾌﾟ　・高弾性ﾀｲﾌﾟ (22.5.3)(表22.5.2)

9 カラー舗装

(22.6.2)(表22.6.1)

区　分	舗 装 の 種 類	着色部の下部	部位	厚さ(mm)
※加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物		・車道 ・歩道	・ ・
・常温系	・ニート工法 ・塗布工法	・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装		

加熱系混合物に添加する材料 (22.6.3)
・着色骨材（　　）　・自然石（　　）
配合 (22.6.4)
結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量　・
ニート工法及び塗布工法の配合等　・
ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.6.6)

10 透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装

ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の抽出試験　※行わない　・ 行う (22.7.6)
厚さ試験　・行わない　※ 行う (22.7.6)

11 ブロック系舗装

・ｺﾝｸﾘｰﾄ平板舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種　類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材
※普通平板(N) ・透水性平板(P)	※300角 ・	※60 ・	※砂 ・ﾓﾙﾀﾙ

・ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種　類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等
※普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）	・3.0N/mm2 ・5.0N/mm2 ・	車道部 ※80 ・ 歩道部 ※60 ・	※標準ﾀｲﾌﾟ ・表面化粧ﾀｲﾌﾟ 誘導、注意喚起用は黄色とする

・舗石舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種　類	厚さ(mm)	施工方法	基　層
※小舗石（かこう岩） ・	※60～100(図示) ・	※うろこ張り ・	※ｺﾝｸﾘｰﾄ版（厚70mm） ・ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（厚50mm）

12 区画線

路面表示用塗料

規格番号	種　類	施工時の条件	塗料状態	幅(mm)	厚さ(mm)	適 用
JIS K 5665	・１種(ﾍﾞｲﾝﾄ式)	常温	液　状	※150 ・		※白 ・黄
	・２種(ﾍﾞｲﾝﾄ式)	加熱				
	※３種１号(溶融式)	溶融	粉体状		※1.0	

揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して5%以下とする。

23 植栽工事

1 土壌の試験

・水素イオン濃度指数（pH）、電気伝導度（EC）・行う　※行わない (23.1.3)

2 樹木の植栽基盤整備

芝及び地被類 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

適　用	有効土層の厚さ(mm)	工　法	整備範囲
※行う　・行わない	※20　・	※Ｂ種　・	※植栽範囲　・図示

樹木 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工 法	整備範囲
・12以上	※100　・	※Ａ種	※葉張りの範囲
・7以上～12未満	※80　・	・Ｂ種	ただし、低木は植栽範囲
・3以上～7未満	※60　・	・Ｃ種	・図示
・3未満	※50　・	・Ｄ種	

工法Ｄ種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。
植栽基盤の排水設備　・設ける　・設けない (23.2.2)

3 植込み用土

※現場発生土の良質土　・客土（・黒土　・真砂土　・　） (23.2.3)

4 土壌改良材

※使用する（使用量　　）　・使用しない (23.2.3)(23.2.4)
施工箇所　※植栽範囲　・図示

5 支 柱 材

※加圧式防腐処理丸太　・竹 (23.3.2)

6 幹巻き用材料

※幹巻き用ﾃｰﾌﾟ　・わら又はこも (23.3.2)

7 芝 張 り

種類　※こうらい芝　・野芝 (23.4.2)
工法　平地　※目地張り　・べた張り (23.4.3)
　　法面　・目地張り　※べた張り

8 枯補償及び枯損処理

期間　※引渡しの日から１年間 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)(23.5.5)
　　・　年間　・　年　月　日迄

9 屋上緑化システム

土壌層　※改良土　・人工軽量土 (23.5.2)(23.5.3)
　　・厚さ　mm
排水層　・軽量骨材（厚さ　mm）　・板状成形品 (23.5.3)
　　・透水排水管

※「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造体力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」（平成12年5月31日付け 建設省告示第1458号）による風圧力に対応した固定工法を標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。

㉔ 追加特記

1 公共事業労務費調査への協力

※協力する

2 工事監理方式

共同監理　・ 有り　・ 無し

3 適用基準等

・営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修）
※工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課作成）

4 総合図

※作成する

5 工事成績評定

※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。
（様式等は、工事運行マニュアルによる。）

6 工事区分表

注)原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項　目		建	電	空	衛	昇	備　考
躯 体 関 係							
1.RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通ｽﾘｰﾌﾞ材及び取付け	○	○	○	○	○	
	補強を要する型枠材及び取付け	○					
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補強	○					
	ｽﾘｰﾌﾞ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	○	
2.S･SRC造・はり貫通口	S・SRC造貫通鋼管ｽﾘｰﾌﾞ・補強	○					
	使用されたｽﾘｰﾌﾞの穴埋め	○	○	○	○	○	
	予備ｽﾘｰﾌﾞの穴埋め	○	○	○	○	○	
3.設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○					
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○	○		
	屋外・屋上の基礎	○					
	屋上基礎で押さえｺﾝﾋﾟｶｰしない軽微なもの		○	○	○		
	機器取付け用ｱﾝｶｰ・架台		○	○	○		
	屋内受水ﾀﾝｸ用の基礎	○					
仕 上 げ 関 係							
軽鉄天井・壁下地	補強を用するﾎﾞｰﾄﾞの切り込み及び下地の補強	○					
	補強を要しないﾎﾞｰﾄﾞの切り込み		○	○	○		
	開口部の墨出し		○	○	○		

6 工事区分表

注)原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項　目		建	電	空	衛	昇	備　考
電 気 関 係							
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			○	○		二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○				一次側
	機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線			○	○		
その他（工事区分を特に間違えやすい項目）							
天井材	取外し再取付(各種配管配線作業用)	○	△	△	△		小規模は要協議
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△		小規模は要協議
流し台、ガス台		○					
便所手洗いｶｳﾝﾀｰ		○					衛生陶器は衛生設備
洗面化粧台					○		
ガス漏れ警報器					○		
24H換気扇	機器納入				○		取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○				機器納入は衛生設備
湯沸器	機器納入				○		取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○				機器納入は衛生設備

7 発生材の処理等

1 再生資材の利用
下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再 生 資 材 名	規　格	使 用 箇 所	再資源化施設名・所在地	備　考

2 建設発生土の利用
盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発 注 機 関	工　事　名	発 生 場 所	施工会社名・連絡先	備　考

3 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

受入工事名／施設名称	
工事場所／施設所在地	
連　絡　先	
仮 置 場 所 の 有 無	
備　考	

④ 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

搬出する廃棄物名	
処 理 施 設 名 称	
施 設 所 在 地	
連　絡　先	
備　考	

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第１８条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

⑧ 化学物質の濃度測定

1)測定時期
・測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空気調和設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。
・測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時と工事完了時に、それぞれ行う。
※測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、６）の措置を講じる時間を見込むこと。
2)測定対象物質
※ホルムアルデヒド　（指定値0.08ppm以下）
※トルエン　（指定値0.07ppm以下）
※キシレン　（指定値0.05ppm以下）
※エチルベンゼン　（指定値0.88ppm以下）
※スチレン　（指定値0.05ppm以下）
・パラジクロロベンゼン　（指定値0.04ppm以下）
3)測定室
・　　・　　室（測定箇所　　箇所）
・　　・　　室（測定箇所　　箇所）
・　　・　　室（測定箇所　　箇所）
4)測定方法
測定機器
※パッシブ型採取機器
・監督員の承諾する機器
測定要領
※測定前の措置
測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉（造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。）を開放し、３０分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を５時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。
※測定は次のイ～ハによる。
イ　上記測定前の措置の状態のままで測定する。
ロ　測定時間は、原則として２４時間とする。ただし、工程等の都合により、２４時間測定が行えない場合は、８時間測定とする。なお、８時間測定の場合は、午後２時～３時が測定時間帯の中央となるよう１０時３０分から１８時３０分までの時間帯で測定する。
ハ　測定回数は１回とし、複数回の測定は不要とする。
※その他
上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。
5)測定結果の分析
※測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。
6)測定結果が指針値を超えた場合の措置
※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度４）、５）により、測定を行う。
7)報告書の提出
※測定結果の報告書を監督員に提出する。

9 中間技術検査

・本工事は、中間技術検査を１回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。
・低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を１回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。

統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
１級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
１級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳
統括
作図者
１級建築士登録番号　第224282号
小　林　敏　徳

縮尺
A1版 N/S
A3版 N/S
設計年月日
2024.06

工事名称　村松浜集落センター新築工事
図面名称　建築工事特記仕様書４

木造用追加特記

1 適用図書の追加

※ 公共建築木造工事標準仕様書 令和4年版　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（以下「木標仕」という。）について、次の○印を付けた章のうち、図面及び標仕に記載されていないものを運用する。

- 1章 各章共通事項
- 2章 仮設工事
- 3章 土・地業・基礎工事
- 4章 木造工事
- 5章 軸組構法（壁構造系）工事
- 6章 軸組構法（軸構造系）工事
- 7章 枠組壁工法工事
- 8章 丸太組構法工事
- 9章 ＣＬＴパネル工法工事
- 10章 木工事
- 11章 防水工事
- 12章 石工事
- 13章 タイル工事
- 14章 屋根及びとい工事
- 15章 金属工事
- 16章 左官工事
- 17章 建具工事
- 18章 塗装工事
- 19章 内装工事
- 20章 ユニット及びその他の工事
- 21章 排水工事
- 22章 舗装工事
- 23章 植栽工事

4章 木造工事

1 材　料

・使用する材料は、図示及び特記による指定並びに本標仕各章の規定による。
・使用する材料は、図示及び特記による指定並びに本標仕各章の規定によるほか、材種のうち杉は、「県産材」を使用する。
・使用する材料は、図示及び特記による指定並びに市販品

合板、ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ及び各種ﾎﾞｰﾄﾞ類のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量又は放出量　(4.1.4)
（JIS、JAS規定品）
※F☆☆☆☆　・F☆☆☆　・国土交通大臣等の認定品

2 土壌の防蟻処理

薬　　剤　・　(4.2.3)
使 用 量　・　(4.2.3)
適用範囲　・図示　・　(4.2.3)

③ 防腐措置

・床下換気（基礎外周部）は次のいずれかによる。　(4.2.4)
　・ねこ土台　・換気孔
・小屋裏の換気方法は次のいずれかによる。（換気孔の大きさ　・図示　・　）
　・両妻壁に換気孔（給排気両用）を設ける。　(4.2.4)
　・軒裏に換気孔（給排気両用）を設ける。
　・軒裏又は小屋裏の外壁に給気孔、妻壁に排気孔を設ける。
　　（垂直距離で900mm以上離す）
　・排気塔その他の器具を用いた排気孔
　・軒裏又は小屋裏の外壁に給気孔、棟部に排気孔を設ける。

4 防火被覆・燃えしろ層

・防火被覆処理（使用箇所　・図示　・　）　(4.3.2)

材料	厚さ	目地等処理	接合金物の防火被覆処理	二次部材（貫通部、方法・金物）

留付け材種類	留付け間隔	下地材留付け長さ	端あき距離	接着剤使用

・燃えしろ層（使用箇所　・図示　・　）　(4.3.3)

厚さ	接合金物の防火被覆処理	二次部材（貫通部、方法・金物）

5章 軸組構法（壁構造系）工事 ～6章 軸組構法（軸構造系）工事

木　　材　※木標仕５～６章各節及び次による。　(5.2.2)(5.2.3)(6.2.2)(6.2.3)

1 材　料

製材　(5.2.2)(6.2.2)

・目視等級区分構造用製材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	構造材の種類	等級	含水率	材面品質

・機械等級区分構造用製材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	曲げ性能(等級)	含水率

・広葉樹製材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	等級	含水率	材面品質

・無等級材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	含水率	材面品質

・下地用製材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	等級	含水率	材面品質

集成材
・構造用集成材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	曲げ性能(強度等級)	接着性能	材面品質

・化粧ばり構造用集成柱（使用箇所　・図示　・　）

樹種	化粧薄板の厚さ	寸法	見付け材面品質
・芯材（ ）・化粧薄板（ ）			

枠組壁工法構造用製材

	使用箇所	樹種	寸法型式	備考
・甲種枠組材	・図示　・			・乾燥　・未乾燥
・乙種枠組材	・図示　・			・乾燥　・未乾燥

	使用箇所	樹種	曲げ強度性能(MSR等級)	寸法型式	備考
・MSR枠組材	・図示　・				・乾燥　・未乾燥

枠組壁工法構造用たて継ぎ材

	使用箇所	樹種	寸法型式	曲げ強度性能(MSR等級)
・甲種たて継ぎ材	・図示　・			
・乙種たて継ぎ材	・図示　・			
・MSRたて継ぎ材	・図示　・			

構造用単板積層材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	接着性能	曲げ性能	水平せん断区分

丸太材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	末口径	含水率

木質接着成型軸材料、木質複合軸材料、木質断熱複合ﾊﾟﾈﾙ、木質接着複合ﾊﾟﾈﾙ
（使用箇所　・図示　・　）

形状	寸法	含水率

直交集成板（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能

構造用面材　(5.2.3)(6.2.3)
・構造用パーティクルボード（使用箇所　・図示　・　）

厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分

・構造用ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨｰﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ（使用箇所　・図示　・　）

厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分

・構造用合板（使用箇所　・図示　・　）

厚さ	等級	単板の樹種	接着の程度	板面品質	曲げ性能(強度等級)
			・特類　・		

・化粧ばり構造用合板（使用箇所　・図示　・　）

厚さ	単板の樹種	接着の程度
		・特類　・

・構造用パネル（使用箇所　・図示　・　）
　（厚さ　　）（曲げ性能(等級)　　）
・パーティクルボード（使用箇所　・図示　・　）

厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分

・ハードファイバーボード（使用箇所　・図示　・　）

厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	難燃性による区分	油等処理

・硬質木片セメント板（使用箇所　・図示　・　）
　（厚さ　　）
・パルプセメント板（使用箇所　・図示　・　）
　（種類　かさ密度：　　化粧加工：　　）（厚さ　　）
・構造用せっこうボード（・Ａ種　・Ｂ種）（使用箇所　・図示　・　）
　（厚さ　　）
・せっこうボード　（使用箇所　・図示　・　）
　（厚さ　　）
・強化せっこうボード　（使用箇所　・図示　・　）
　（厚さ　　）
・せっこうラスボード　（使用箇所　・図示　・　）
　（厚さ　　）
・シージングボード　（使用箇所　・図示　・　）
　（厚さ　　）
・構造用単板積層材　（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	接着性能	曲げ性能(曲げﾔﾝｸﾞ係数区分)	水平せん断区分による区分

2 接合金物・接合具等

接合金物　(5.2.4)(6.2.4)
・直接雨にさらされる環境で使用する場合　※ｽﾃﾝﾚｽ製　・
・(公財)日本住宅・木材技術ｾﾝﾀｰが規定するもの
　表示金物（　・Ｚマーク　・Ｃマーク　・Ｄマーク　・Ｓマーク　）
・上記以外の金物
　形　　状　・図示　・
　材　　質　・図示　・
　表面処理　・溶融亜鉛めっき　・電気亜鉛めっき　・錆止め塗装
　　・防腐・防蟻処理剤により腐食の起きない表面処理

釘及び木ねじ　(5.2.4)(6.2.4)
・(公財)日本住宅・木材技術ｾﾝﾀｰが規定するもの
　表示金物（　・Ｚマーク　・Ｃマーク　・Ｄマーク　・Ｓマーク　）
・ｺﾝｸﾘｰﾄ用釘　　（材質　　形状　　寸法　　）
・特殊な釘及び木ねじ（材質　　形状　　寸法　　）

ﾎﾞﾙﾄ、ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ、ﾅｯﾄ及び座金　(5.2.4)(6.2.4)
・(公財)日本住宅・木材技術ｾﾝﾀｰが規定するもの
　表示金物（　・Ｚマーク　・Ｃマーク　・Ｄマーク　・Ｓマーク　）
・ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ（材質　　寸法　　）
・座金　（材質　　厚さ　　寸法　　形状　　）
・せん断応力を受けるﾎﾞﾙﾄの座金種別（　　種）

ラグスクリュー　(5.2.4)(6.2.4)
・(公財)日本住宅・木材技術ｾﾝﾀｰが規定するもの。
　表示金物（　・Ｚマーク　・Ｃマーク　・Ｄマーク　・Ｓマーク　）
・上記以外のラグスクリュー（形状　　寸法　　）

ドリフトピン　（材質：　　径：　　寸法：　　）　(5.2.4)(6.2.4)
木栓及び木だぼ（樹種：　　形状：　　長さ：　　）　(5.2.4)(6.2.4)
接着剤　(5.2.4)(6.2.4)
・床鳴り防止用接着剤（接着剤の種類　　）
・接着剤による接合及び接着剤を併用した接合（接着剤の種類　　）

3 5章4節～9節及び6章4節～8節

材料・工法等
※図示及び木標仕５章又は６章の規定により、規定外のものは図示による
(5.4.1)～(5.9.10)(表5.4.1)～(表5.5.1)
(6.4.1)～(6.8. 7)(表6.4.1)～(表6.5.2)

9章 ＣＬＴﾊﾟﾈﾙ工法

1 材料

木材　(9.2.2)
・直交集成板

品名 曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法
・異等級構成直交集成板	・Ａ種	・Ａ・Ｂ	・	・
	・Ｂ種	・Ｃ	・図示	・図示
・同一等級構成直交集成板	・Ａ種	・Ａ・Ｂ	・	・
	・Ｂ種	・Ｃ	・図示	・図示

2 接合金物・接合具等

接合金物　(9.2.3)
・(公財)日本住宅・木造技術センターが想定するもの
　表示金物（　・χマーク　・Ｚマーク　・Ｃマーク　・Ｄマーク　・Ｓマーク　）
・上記以外の金物
　寸　　法　・図示　・
　形　　状　・図示　・
　材　　質　・図示　※雨にさらされる屋外環境はステンレス製　・
　表面処理　・溶融亜鉛めっき　・電気亜鉛めっき　・錆止め塗装
　　・防腐・防蟻処理剤により腐食の起きない表面処理

釘及び木ねじ
・(公財)日本住宅・木造技術センターが想定するもの
　表示金物（　・χマーク　・Ｚマーク　・Ｃマーク　・Ｄマーク　・Ｓマーク　）
・ｺﾝｸﾘｰﾄ用釘　　（材質：　　形状：　　寸法：　　）
・特殊な釘及び木ねじ（材質：　　形状：　　寸法：　　）

ﾎﾞﾙﾄ、ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ、ﾅｯﾄ及び座金

種類	材料	形状	寸法	表面処理
ﾎﾞﾙﾄ				
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ				
ﾅｯﾄ				
座金				

ラグスクリュー
・(公財)日本住宅・木材技術ｾﾝﾀｰが規定するもの。
　表示金物（　・χマーク　・Ｚマーク　・Ｃマーク　・Ｄマーク　・Ｓマーク　）
・上記以外のラグスクリュー
　（材料：　　形状：　　寸法：　　表面処理：　　）

ドリフトピン　（径：　　寸法：　　表面処理：　　）
接着剤
・床鳴り防止用接着剤　（接着剤の種類　　）
・接着剤による接合及び接着剤を併用した接合　（接着剤の種類　　）

3 木材の加工

孔あけ加工　(9.4.4)
・ﾎﾞﾙﾄの径に加える木部のﾎﾞﾙﾄ孔あけ加工の大きさ

ﾎﾞﾙﾄの径	ﾎﾞﾙﾄ径に加える大きさ（mm）
16未満	※1.0　・
16以上	※2.0　・

表面の仕上げ　(9.4.5)
・機械加工における仕上げの程度　（　※Ａ種　・Ｂ種　）

4 搬入及び建方

ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの設置等　(9.5.3)
・埋込み深さ
・埋込み位置の許容誤差　（Ａ種　※±２mm　・　）（Ｂ種　※±５mm　・　）

基礎天端均しﾓﾙﾀﾙの仕上げ　(9.5.4)
・無収縮ﾓﾙﾀﾙの適用　（　※有　・無　）
・無収縮ﾓﾙﾀﾙの厚さ　（　※図示　・　）

建方精度　(9.5.7)
・建て入れ直し後の許容値　（垂直、水平の誤差　※1/1000以下　・　）
　（床、壁の天端の平坦さ　※±３mm以下　・　）

接合金物の工法　(9.5.9)
・見え掛かり部に仕上げ材として構造材を使用する場合（　※図示　・　）

釘及び木ねじの工法　(9.5.10)
・部位毎の釘の種類及び釘打ちの間隔　（　※図示　・　）

各種ボルトの工法　(9.5.11)
・種類、径、本数、間隔、座金の大きさ　（　※図示　・　）
・見え掛かり部に仕上げ材として構造材を使用する場合（　※図示　・　）

ﾗｸﾞｽｸﾘｭｰの工法　(9.5.12)
・形状及び寸法　（　※図示　・　）
・見え掛かり部に仕上げ材として構造材を使用する場合（　※図示　・　）

ﾄﾞﾘﾌﾄﾋﾟﾝの工法　(9.5.13)
・径　（　※図示　・　）
・見え掛かり部に仕上げ材として構造材を使用する場合（　※図示　・　）

5 軸組

土台　(9.6.1)
・樹種及び断面寸法　（　※図示　・　）
・仕口及び継手の形状、位置　（　※図示　・　）

6 小屋組

ＣＬＴﾊﾟﾈﾙによる小屋組　(9.7.1)
・樹種、断面寸法、構成、仕様　（　※図示　・　）
・小屋組と壁組との緊結方法　（　※図示　・　）

7 床組

ＣＬＴﾊﾟﾈﾙによる床組　(9.8.1)
・樹種、断面寸法、構成、仕様　（　※図示　・　）
・床と壁組との緊結方法　（　※図示　・　）

8 壁組

ＣＬＴﾊﾟﾈﾙによる壁組　(9.9.1)
・樹種、断面寸法、構成、仕様　（　※図示　・　）
・壁組と床組との緊結方法　（　※図示　・　）
・雇いざねの仕様　（　※図示　・　）

10章 木工事

内装及び外装の木下地、木造作及び木仕上げの工事に、適用する。　(10.1.1)

1 一般事項

表面仕上げ　(10.1.3)
・機械加工（種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種）　(表10.1.1)
・手加工　(表10.1.2)
　内部造作材（種別　・Ｈ－Ａ種　※Ｈ－Ｂ種　・Ｈ－Ｃ種）
　外部造作材（種別　・Ｈ－Ａ種　※Ｈ－Ｂ種　・Ｈ－Ｃ種）
　下地材　（種別　・Ｈ－Ａ種　・Ｈ－Ｂ種　※Ｈ－Ｃ種）

2 材　料

含水率
下地材　※Ａ種（15%以下）　・Ｂ種（20%以下）　(10.2.1)(表10.2.1)
造作材　※Ａ種（15%以下）　・Ｂ種（18%以下）

木　　材　※木標仕10章各節及び次による　(10.2.2)

製材
・下地用針葉樹製材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	等級	形状	含水率	材面品質
		※２級　・	・耳付材　・押角　・		

・造作用針葉樹製材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	等級	形状	含水率	材面品質
		※上小節　・	・板類　・角類　・		
		※小節　・	・板類　・角類　・		

・広葉樹製材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	等級	含水率	材面品質
		※１級　・	※10%以下	

「製材の日本農林規格」以外の製材（上記以外の製材）
・下地に用いる針葉樹製材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	乾燥処理	防虫処理	難燃処理	含水率	材面品質

・造作及び仕上げに用いる針葉樹製材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	乾燥処理	防虫処理	難燃処理	含水率	材面品質

・造作及び仕上げに用いる広葉樹製材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	乾燥処理	防虫処理	含水率	材面品質

造作用集成材
・造作用集成材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	見付け材面数	見付け材面品質
			※１等　・

・化粧ばり造作用集成材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	化粧薄板の厚さ	寸法	見付け材面数	見付け材面品質
・芯材（ ）・化粧薄板（ ）				※１等

・化粧ばり造作用集成柱（使用箇所　・図示　・　）

樹種	化粧薄板の厚さ	寸法	見付け材面品質
・芯材（ ）・化粧薄板（ ）			

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材（上記以外の集成材）
・造作用集成材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	寸法	見付け材面品質	含水率
			※15%以下　・

・化粧ばり造作用集成材（使用箇所　・図示　・　）

樹種	化粧薄板の厚さ	寸法	見付け材面品質	含水率
・芯材（ ）・化粧薄板（ ）				※15%以下

・化粧ばり造作用集成柱（使用箇所　・図示　・　）

樹種	化粧薄板の厚さ	寸法	見付け材面品質	含水率
・芯材（ ）・化粧薄板（ ）				※15%以下

・造作用単板積層材（使用箇所　・図示　・　）

寸法	表面の品質	防虫処理

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材（上記以外の造作用単板積層材）
・造作用単板積層材（使用箇所　・図示　・　）

寸法	表面の品質	防虫処理	含水率
			※14%以下

・直交集成板（使用箇所　・図示　・　）

樹種	表面の品質	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能

3 合 板 等

下地用合板　(10.2.3)
・普通合板（使用箇所　・図示　・　）

厚さ	接着の程度	板面品質		防虫処理
※5.5mm	※1類	広葉樹　※２等以上　・ 針葉樹　※Ｃ－Ｄ以上　・		

・構造用合板（使用箇所　・図示　・　）

厚さ	接着の程度	単板の樹種	板面品質	等級	強度等級	防虫処理
※12mm	※1類		※Ｃ－Ｄ以上	※２級以上		

・化粧ばり構造用合板（使用箇所　・図示　・　）

厚さ	接着の程度	単板の樹種	防虫処理
・　mm	・特類		

・天然木化粧合板（使用箇所　・図示　・　）

厚さ	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種	防虫処理
・　mm	・　類		

・特殊加工化粧合板（使用箇所　・図示　・　）

厚さ	接着の程度	単板の樹種	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
・　mm	・　類			・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ（ ） ・ﾌﾟﾘﾝﾄ（ ）・塗装（ ）	

・パーティクルボード（使用箇所　・図示　・　）

厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分
※15mm		※13ﾀｲﾌﾟ	※PまたはMﾀｲﾌﾟ

構造用パネル（使用箇所　・図示　・　）
　（厚さ　　）
ミディアムデンシティーファイバーボード（使用箇所　・図示　・　）

厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

4 接合具等

釘　(10.2.4)
※JIS A 5508基づき、屋外又は湿潤状態となる場所ではステンレス製
　　それ以外の場所では表面処理された鉄
・その他（　　）

釘打ち工法
下張材への釘の打込み本数　・　本
斜めに釘を打込む場所　・図示　・
造作材化粧面の釘打ち　※隠し釘打ち　・釘頭埋め木　・つぶし頭釘打ち及び釘頭現し

木ねじ　(10.2.4)
※JIS B 1112又はJIS B 1135にに基づき、材質はｽﾃﾝﾚｽ製　・その他（　　）

5 耐候性、防虫処理

耐候性処理　(10.3.1)
・屋外の仕上げ木材への保護塗料塗りは、標仕18章13節「木材保護塗料塗り(WP)」による。
・その他（　　）

防虫処理　(10.3.2)
※ラワン及びなら　保存処理の性能区分K1の防虫処理
・その他（　　）

6 10章4節～6節

材料・工法等　(10.4.1)～(10.6.2)(表10.4.1)～(表10.6.2)
※図示及び木標仕10章の規定により、規定外のものは図示による

7 内部床回り

内部床下地　(10.2.3)(10.7.1)
下地用床板は次による
・木造特記「10章木工事 2材料」による下地用合板（厚さ　※12mm　・　）
・木造特記「10章木工事 2材料」によるﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ（厚さ　※15mm　・　）
　強度及び接着剤による区分　※13Pﾀｲﾌﾟ又は13Mﾀｲﾌﾟ　・

水平剛性を確保する構造用合板の上に、仕上げ用下地用床板を設ける場合
・木造特記「10章木工事 2材料」による下地用合板　（厚さ　・　）

内部床板張り　(10.7.2)
床板に使用する製材
（樹種　　）（寸法　　）（厚さ　　）

上がりがまち　(10.7.3)
上がりがまち材
（樹種　　）（寸法　　）（厚さ　　）

8 10章8節～10節

材料・工法等
※図示及び木標仕10章の規定により、規定外のものは図示による
(10.8.1)～(10.10.7)(表10.8.1)～(表10.10.9)

11章 防水工事

1 ＦＲＰ系塗膜防水

施工箇所　・図示　・　(11.1.1)～(11.2.5)
ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ　・FRP系塗膜防水用ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ　・錆鉄製

14章 屋根及びとい工事

1 スレート葺き

材　　料　(14.6.2)

種　類	・平形屋根用スレート　・波形屋根用スレート　・
寸　法	
形　状	
役　物	
色　彩	

・雪止め（※図示　・　）　(14.6.3)

2 ｱｽﾌｧﾙﾄｼﾝｸﾞﾙ葺

材　　料　(14.7.2)

品　質	
形　状	
色　調	
寸　法	

・雪止め（※図示　・　）　(14.7.3)
・軒先及びけらば等に曲面を設ける。（※半径500mm以上　・図示　）(14.7.3)

統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
１級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
１級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳
統括
作図者
１級建築士登録番号　第224282号
小林　敏徳

縮尺
A1版 N/S
A3版 N/S
設計年月日
2024.06

工事名称　村松浜集落センター新築工事
図面名称　建築工事特記仕様書５

契約後ＶＥ工事の指定

本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥ方式の試行工事とする。
契約後ＶＥ方式に関する事項は、「土木部契約後ＶＥ方式試行要領」及び下記の特記仕様書による。
なお、本工事については、建設工事請負基準約款（以下「約款」という。）に以下の条項を追加する。

〇建設工事請負基準約款
（設計図書の変更に係る乙の提案）
第２０条の２　発注者が指定した工事について、受注者は、この契約締結後、設計図書に定める工事目的物機能、性能等を低下させることなく、請負代金額を低減することを可能とする施工方法等の設計図書の変更について、発注者に提案することができる。
２　発注者は、前項の規定に基づく受注者の提案を受けた場合において、提案の全部又は一部が適正であると認められるときは設計図書を変更し、これを受注者に通知しなければならない。
３　発注者は、前項の規定により設計図書を変更した場合において、必要があると認められるときは、請負代金を変更しなければならない。

契約後のＶＥ工事の特記仕様書

１　定義
「ＶＥ提案」とは、約款第２０条の２の規定に基づき、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額の低減を可能とする施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案をいう。
２　ＶＥ提案の意義及び範囲
(1) 受注者がＶＥ提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料及び施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として、工事目的物の変更を伴わないものとする。
(2) 以下の提案は、ＶＥ提案の範囲に含めないものとする。
① 工期の延長等施工条件の変更を伴う提案
② 条件変更が確認された後の提案
③ 入札時に入札参加資格要件として求めた同種工事又は類似工事の範囲を超えるような工事材料又は施工方法等の変更の提案
３　ＶＥ提案書の提出
(1) 受注者は、前項のＶＥ提案を行う場合は、次に掲げる事項をＶＥ提案書（様式１～４）に記載し、発注者に提出しなければならない。
① 設計図書に定める内容とＶＥ提案の内容の対比及び提案理由
② ＶＥ提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）
③ ＶＥ提案が採用された場合の請負代金額の概算低減額及び算出根拠
④ 発注者が別途発注する関連工事との関係
⑤ 工業所有権を含むＶＥ提案である場合、その取扱いに関する事項
⑥ その他ＶＥ提案が採用された場合に留意すべき事項
(2) 発注者は、提出されたＶＥ提案書に関する追加的な資料、図面その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
(3) 受注者は、前項のＶＥ提案を契約の締結日より、当該ＶＥ提案に係る部分の施工に着手する３５日前までに、発注者に提出できるものとする。
(4) ＶＥ提案に関する費用は、受注者の負担とする。
４　ＶＥ提案の審査
ＶＥ提案の審査にあたっては、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性等を評価する。
５　ＶＥ提案の採否等
(1) 発注者はＶＥ提案の採否について、ＶＥ提案の受領後１４日以内に受注者に通知（様式５）しなければならない。ただし、その期間内に通知できないやむをえない理由があるときには、あらかじめ受注者の同意を得た上で、この期間を延長することができるものとする。
(2) 提出されたＶＥ提案が適正と認められなかった場合の前項の通知は、採用しない理由を付して行うものとする。
(3) 発注者は、ＶＥ提案による設計図書の変更を行う場合は、約款第２０条の２の規定に基づくものとする。
(4) 発注者は、ＶＥ提案による設計図書の変更を行う場合は、約款第２５条の規定により、請負代金額の変更を行うものとする。
(5) 前項の変更を行う場合においては、ＶＥ提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の１０分の５に相当する金額（以下「ＶＥ管理費」という。）を削減しないものとする。
(6) ＶＥ提案を採用した後、約款第１９条の条件変更が生じた場合において、発注者がＶＥ提案に対する変更を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。
(7) 発注者は、約款第１９条の条件変更が生じた場合には、約款第２５条第１項の規定に基づき、請負代金額の変更を行うものとする。ＶＥ提案を採用した後、約款第１９条の条件変更が生じた場合の前記(5)のＶＥ管理費については、変更しないものとする。
ただし、双方の責に帰することができない事由（不可抗力や予測することが不可能な事由等）により、工事の続行が不可能、又は著しく工事低減額が減少した場合においては、双方協議して定めるものとする。

６　ＶＥ提案の保護
ＶＥ提案については、その後の工事において、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、無償で使用できるものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの限りでない。
７　責任の所在
発注者がＶＥ提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、ＶＥ提案を行った受注者の責任が否定されるものではない。

（Ａ４　縦）
様式１

年　月　日

Ｖ　Ｅ　提　案　書

新潟県知事　〇〇　〇〇　様

受注者
住　所
氏　名　　印

建設工事請負基準約款第２０条の２に基づきＶＥ提案書を提出いたします。

工　事　名： 契約締結日：	連絡者　氏名 TEL FAX

ＶＥ提案の概要

（注）　記入欄が不足する場合は、様式１に準じて記入して下さい。
概算低減額は、提案を審査する上で参考とするものです。

番　号	項　目　内　容	概算低減額（千円）
	概　算　低　減　額　合　計	

ＶＥ提案の詳細

（１）　設計図書に定める内容とＶＥ提案の内容の対比等
（２）　ＶＥ提案による概算低減額の算出根拠
（３）　その他詳細資料及び図面

（Ａ４　縦）
様式２

番号		項目内容	

（１）　設計図書に定める内容とＶＥ提案の内容の対比

【現状】・・・・・・略図等	【改善案】・・・・・・略図等

（２）　提案理由

（３）　ＶＥ提案の実施方法（材料仕様、施工要領等を記入）

（４）　品質保証の証明（品質保証書の添付等）

（５）　その他

（Ａ４　縦）
様式４

番号		項目内容	

（１）　関連工事との関係

（２）　工業所有権を含むＶＥ提案である場合、その取扱に関する事項

（３）　ＶＥ提案が採用された場合に留意すべき事項

（Ａ４　縦）
様式５

第　　号
令和　　年　月　日

ＶＥ提案採否通知書

受注者
住　所
氏　名　　様

新潟県知事　〇〇　〇〇

特記仕様書「　　ＶＥ提案について」に基づき、令和　　年　　月　　日付けで提出されましたＶＥ提案の審査結果は、下記のとおりです。

工事　番号　：　　ＶＥ提案項目数：
工　事　名　：　　採 用 項 目 数：
契約締結日　：令和　　年　　月　　日　　不採用　項目数：

ＶＥ提案に対する「採否」及びその理由

番号	項目内容	採否区分	適否の理由	特記事項
		採・否		
		採・否		
		採・否		

（注）　採否に関する問い合わせ先
新潟県土木部都市局営繕課　　班　　電話番号：

（Ａ４　横）
様式３

番　号		項目内容	

ＶＥ提案による概算低減額及び算出根拠

【現状】				単位：千円	【改善案】				単位：千円
名称及び品質・寸法	数　量	単位	単　価	金　　額	名称及び品質・寸法	数　量	単位	単　価	金　　額

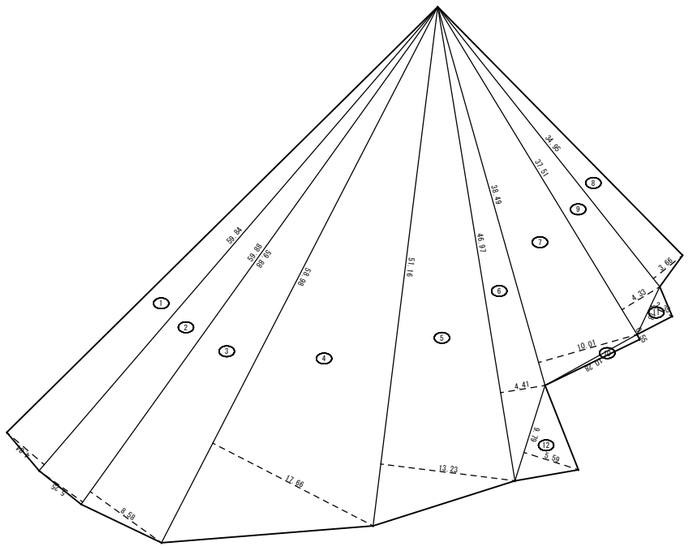
統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
１級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
１級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳

統括
作図者
１級建築士登録番号　第224282号
小　林　敏　徳

縮尺
A1版 N/S
A3版 N/S
設計年月日
2024.06

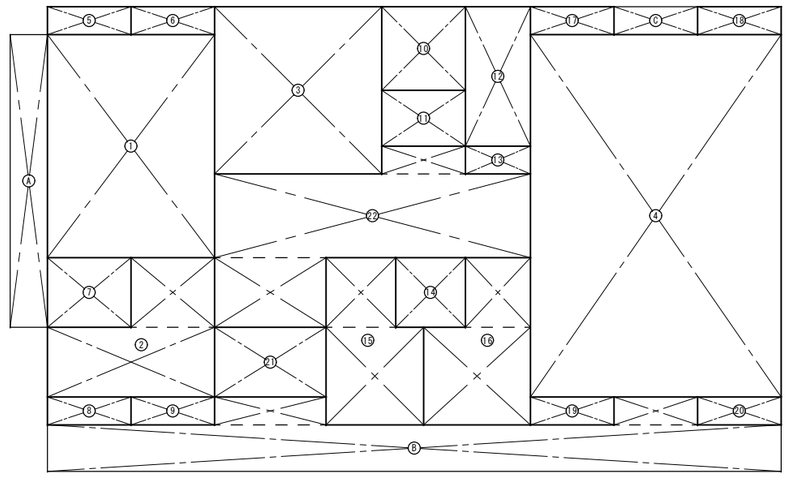
工事名称　村松浜集落センター新築工事
図面名称　建築工事特記仕様書６

敷地求積図　S=1/300



番号	底　　辺	高　　さ	倍　面　積	面　　積
1	59.84	4.84	289.6256	144.81280
2	59.88	5.25	314.3700	157.18500
3	59.88	8.58	513.7704	256.88520
4	58.98	17.66	1,041.5868	520.79340
5	51.16	13.23	676.8468	338.42340
6	46.97	4.41	207.1377	103.56885
7	38.49	10.01	385.2849	192.64245
8	34.95	3.66	127.9170	63.95850
9	37.51	4.33	162.4183	81.20915
10	10.28	0.55	5.6540	2.82700
11	5.18	2.35	12.1730	6.08650
12	9.79	5.59	54.7261	27.36305
合　　計				1,895.75530
敷地面積				1,895.75 ㎡

建物求積図　S=1/100



室名	記号	縦	×	横	＝	面積	合計		
会議室	1	7.272		5.454		39.66148800	39.66148800	39.66	㎡
事務室	2	2.2725		2.727		6.19710750			
		2.2725		5.454		12.39421500	18.59132250	18.59	㎡
キッチン	3	5.454		5.454		29.74611600	29.74611600	29.74	㎡
大広間	4	11.817		8.181		96.67487700	96.67487700	96.67	㎡
収納１	5	0.909		2.727		2.47884300	2.47884300	2.47	㎡
下部収納１	6	0.909		2.727		2.47884300	2.47884300	2.47	㎡
書庫	7	2.2725		2.727		6.19710750	6.19710750	6.19	㎡
収納２	8	0.909		2.727		2.47884300	2.47884300	2.47	㎡
下部収納２	9	0.909		2.727		2.47884300	2.47884300	2.47	㎡
防災備蓄庫	10	2.727		2.727		7.43652900	7.43652900	7.43	㎡
食品庫	11	1.818		2.727		4.95768600	4.95768600	4.95	㎡
収納６	12	4.545		2.121		9.63994500	9.63994500	9.63	㎡
収納５	13	0.909		2.121		1.92798900	1.92798900	1.92	㎡
多目的トイレ	14	2.2725		2.2725		5.16425625	5.16425625	5.16	㎡
男子トイレ	15	2.2725		2.2725		5.16425625			
		3.1815		3.1815		10.12194225	15.28619850	15.28	㎡
女子トイレ	16	2.2725		2.121		4.81997250			
		3.1815		3.4845		11.08593675	15.90590925	15.90	㎡
下部収納３	17	0.909		2.727		2.47884300	2.47884300	2.47	㎡
収納３	18	0.909		2.727		2.47884300	2.47884300	2.47	㎡
下部収納４	19	0.909		2.727		2.47884300	2.47884300	2.47	㎡
収納４	20	0.909		2.727		2.47884300	2.47884300	2.47	㎡
玄関	21	2.2725		3.636		8.26281000	8.26281000	8.26	㎡
廊下	22	0.909		2.727		2.47884300			
		2.727		10.302		28.09355400			
		2.2725		3.636		8.26281000	38.83520700	38.83	㎡
延床面積（1～22計）							318.11818500	318.11	㎡

室名	記号	縦	×	横	＝	面積	合計		
	A	9.5445		1.212		11.56793400	11.56793400	11.56	㎡
	B	0.909		2.727		2.47884300			
		1.515		23.937		36.26455500			
		0.909		3.636		3.30512400	42.04852200	42.04	㎡
	C	0.909		2.727		2.47884300	2.47884300	2.47	㎡
建築面積（延床面積＋A～C）							374.21348400	374.21	㎡

統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
1級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
1級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳

統括

作図者
1級建築士登録番号　第224282号
小林　敏徳

縮尺
A1版：S=1/100
A3版：S=1/200

設計年月日
2024.06

工事名称　村松浜集落センター新築工事

図面名称　求積図

No. A－08

■ 設計概要

□ 建築主

住所　新潟県胎内市村松浜1128

氏名　村松浜区長
渡辺　政喜

□ 工事種別

新築工事

□ 工事期間

着工　令和　年　月　竣工　令和　年　月　全体工期　ヶ月

□ 敷地概要

1.	地名地番（住居表示）	新潟県胎内市村松浜1199-1の一部、1197-1、1202-2
2.	敷地面積	1,895.75 ㎡
3.	道路	幅員　4．2 m　接道長　60．51 m
4.	敷地状況	
5.	都市計画区域	都市計画区域内（区域区分非設定）
6.	用途地域	無指定
7.	防火地域	無指定
8.	高度地区	無指定
9.	日陰規制	無指定
10.	その他の指定	—

□ 建物概要

1.	主要用途	地区集会所
2.	階数	地下　階　地上　1 階　塔屋　階
3.	建築物の高さ（平均地盤面より）	最高の高さ　8．625 m
		最高の軒の高さ　4．200 m
		居室の床の高さ　0．600 m

4. 面積

	集落センター		合計
建築面積	374.21 ㎡		374.21 ㎡
延べ面積	318.11 ㎡		318.11 ㎡

法定建蔽率	７０ %	建蔽率	１９．７４ %
法定容積率	２００ %	容積率	１６．７９ %

5. 床面積表

階	集落センター		計
1	318.11 ㎡		318.11 ㎡
合計	318.11 ㎡		318.11 ㎡

6.	付置義務駐車台数	——
7.	その他	——

□ 構造概要

1.	構造種別	木造（在来工法）平屋建て
2.	杭地業	構造図による
3.	基礎	構造図による
4.	その他	

□ 設備概要

□ 別途工事

□ 屋外

■ 外部仕上表

主屋根	構造用合板t=12＋アスファルトルーフィング940＋ガルバリウム鋼板t=0.4横葺き	外壁（１）	透湿防水シート＋胴縁18×45@455＋窯業系サイディングt=16横貼り	ポーチ	モルタル刷毛引き仕上
越屋根	化粧野地板t=12＋押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材t=45+桟木39×90＋構造用合板＋アスファルトルーフィング940＋ガルバリウム鋼板t=0.4横葺き	外壁（２）	透湿防水シート＋胴縁18×45@455＋窯業系サイディングt=16横貼り		
収納上部屋根	構造用合板t=12＋アスファルトルーフィング940＋ガルバリウム鋼板t=0.4横葺き	付梁	スギ 240×30 WP		
軒天	ケイ酸カルシウム板t=6（一部有孔） VP	ベランダ	木造床組み、杉板t=21面取り 目地空き10mm WP		
破風板	スギ 30×180 加工 WP	スロープ	モルタル刷毛引き仕上		

■ 内部仕上表

階	室名	床高	床（下地）	床（仕上）	巾木（下地）	巾木（仕上）	巾木高さ	腰壁・壁（下地）	腰壁・壁（仕上）	廻縁	天井（下地）	天井（仕上）	天井高	室名	室名札	カーテンBOX	備考
1	玄関	FL±0	モルタルt=20	磁器質タイルt=9		木製t=15	H=60			木製	石こうボードt=9.5	ビニルクロス	2,700	玄関			下足入れ、ロッカー、掲示板、ホワイトボード
	事務室	FL±0	構造用合板t=12	複合合板フローリングt=15		木製t=15	H=60	石こうボードt=12.5	ビニルクロス	木製	石こうボードt=9.5	ビニルクロス	2,700	事務室		○	
	会議室	FL±0	構造用合板t=12	複合合板フローリングt=15		木製t=15	H=60	石こうボードt=12.5	ビニルクロス	木製	石こうボードt=9.5	ビニルクロス	2,700	会議室		○	ホワイトボード
	書庫	FL±0	構造用合板t=12	複合合板フローリングt=15		木製t=15	H=60	石こうボードt=12.5	ビニルクロス	木製	石こうボードt=9.5	ビニルクロス	2,400	書庫			
	キッチン	FL±0	構造用合板t=12	複合合板フローリングt=15		木製t=15	H=60	石こうボードt=12.5	ビニルクロス 一部メラミン化粧板t=3	木製	石こうボードt=9.5	ビニルクロス	2,700	キッチン			
	大広間	FL±0	構造用合板t=12	畳t=60		畳寄せ		石こうボードt=12.5	ビニルクロス	木製	石こうボードt=9.5 目透し	ビニルクロス	2,700	大広間		○	
	食品庫	FL±0	構造用合板t=12	複合合板フローリングt=15		木製t=15	H=60	石こうボードt=12.5	ビニルクロス	木製	石こうボードt=9.5	ビニルクロス	2,400	食品庫			
	防災備蓄庫	FL±0	構造用合板t=12	複合合板フローリングt=15		木製t=15	H=60	石こうボードt=12.5	ビニルクロス	木製	石こうボードt=9.5	ビニルクロス	2,400	防災備蓄庫			
	男子トイレ	FL±0	構造用合板t=12 ラワン合板t=5.5	長尺塩ビシートt=2.0		木製t=15	H=60	石こうボードt=12.5	ビニルクロス	木製	石こうボードt=9.5	ビニルクロス	2,400	男子トイレ	○		SK上部棚H=1,600、D=600
	女子トイレ	FL±0	構造用合板t=12 ラワン合板t=5.5	長尺塩ビシートt=2.0		木製t=15	H=60	石こうボードt=12.5	ビニルクロス	木製	石こうボードt=9.5	ビニルクロス	2,400	女子トイレ	○		
	多目的トイレ	FL±0	構造用合板t=12 ラワン合板t=5.5	長尺塩ビシートt=2.0		木製t=15	H=60	石こうボードt=12.5	ビニルクロス	木製	石こうボードt=9.5	ビニルクロス	2,400	多目的トイレ	○		
	収納	FL±0	構造用合板t=12	ラワン合板t=5.5		雑巾摺			化粧石こうボードt=12.5			化粧石こうボードt=9.5	2,400	収納			事務室収納のみ中棚、その他収納は枕棚
	下部収納	FL±0	構造用合板t=12	ラワン合板t=5.5		雑巾摺		石こうボードt=12.5	ビニルクロス			化粧石こうボードt=9.5		下部収納			
	廊下	FL±0	構造用合板t=12	複合合板フローリングt=15		木製t=15	H=60	石こうボードt=12.5	ビニルクロス		石こうボードt=9.5	ビニルクロス 化粧野地板t=12（吹抜け部）	越屋根部垂木現わし	廊下			

■ 凡例

塗装凡例

符号	JIS規格等	塗料の名称	符号	JIS規格等	塗料の名称
AE		アクリル樹脂エナメル塗り	2-UE	JIS K5656	２液形ポリウレタン樹脂エナメル塗り
EP	JIS K5663	合成樹脂エマルション塗り	DP①	JIS K5658	建築用耐候性塗料塗り （コンクリート面 ECP面 下地）
EP-G	JIS K5660	つや有合成樹脂エマルション塗り	DP②	JIS K5659	鋼構造用耐候性塗料塗り（鉄鋼面下地）
EP-T	JIS K5668	合成樹脂エマルション模様塗料塗り	2-FUE		常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗り
SOP	JIS K5516	合成樹脂調合ペイント塗り	2-FUC		常温乾燥形フッ素樹脂ワニス塗り
VE	JIS K5582	塩化ビニール樹脂エナメル塗り	NAD		アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
OS		油性ステイン塗り	WP		木材保護塗料塗り
OSCL		油性ステインクリアラッカー塗り	AEP		アクリル系合成樹脂エマルションペイント
CL	JIS K5531	クリアラッカー塗り	VEP		酢酸ビニル系合成樹脂エマルションペイント
LE		ラッカーエナメル塗り			
1-UC		１液形油変性ウレタン樹脂ワニス塗り			
2-UC		２液形ポリウレタンワニス塗り			

仕上凡例

符号	材料名	認定番号	符号	材料名	認定番号
GB-R	せっこうボード t=12.5	NM-8619	GW-B	グラスウール吸音板（ガラスクロス額縁貼り）	NM-8606
GB-R	せっこうボード t= 9.5	QM-9828	RW-B	ロックウール吸音板（ガラスクロス額縁貼り）	NM-8602
GB-R-H	普通硬質せっこうボード t=9.5, 12.5, 15	NM-9645	0.8(1.0)FK	けい酸カルシウム板タイプ２	NM-1217
GB-L	ラスボード t=7.0（＋せっこうプラスター t=8 以上）	(NM-8617)	有孔0.8(1.0)FK	けい酸カルシウム板タイプ２　貫通板 （ 不燃仕様は貫通板+裏打材 ）	(NM-2988)
GB-NC	不燃積層せっこうボード（化粧） t=9.5	NM-1864	化粧0.8FK	化粧（アクリル樹脂系塗装）けい酸カルシウム板	NM-4227
GB-S	シージングせっこうボード t=12.5	NM-9639	ビニルクロス	塩化ビニル系樹脂壁紙	NM-8409
GB-F	強化せっこうボード t=12.5, 15, 21	NM-8615	無機質系壁紙	無機質系壁紙（骨材）	NM-9951
GB-D	化粧せっこうボード t=9.5	QM-0524	HW	硬質木毛セメント板	QM-9701
GB-D-Hc	吸放湿化粧せっこうボード t=12.5	NM-0530	NW	普通木毛セメント板	QM-9701
GB-D-Hc	吸放湿化粧せっこうボード t= 9.5	QM-0172	HF	硬質木片セメント板	QM-9706
GB-P	吸音用あなあきせっこうボード t= 9.5	NM-8599			
DR	ロックウール化粧吸音板	NM-8572			
結露防止塗料	ケツロナイン（菊水化学工業株式会社）同等品				

続括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
１級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
１級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳

続括

作図者
１級建築士登録番号　第224282号
小林　敏徳

縮尺
A1版　No-scale
A3版　No-scale

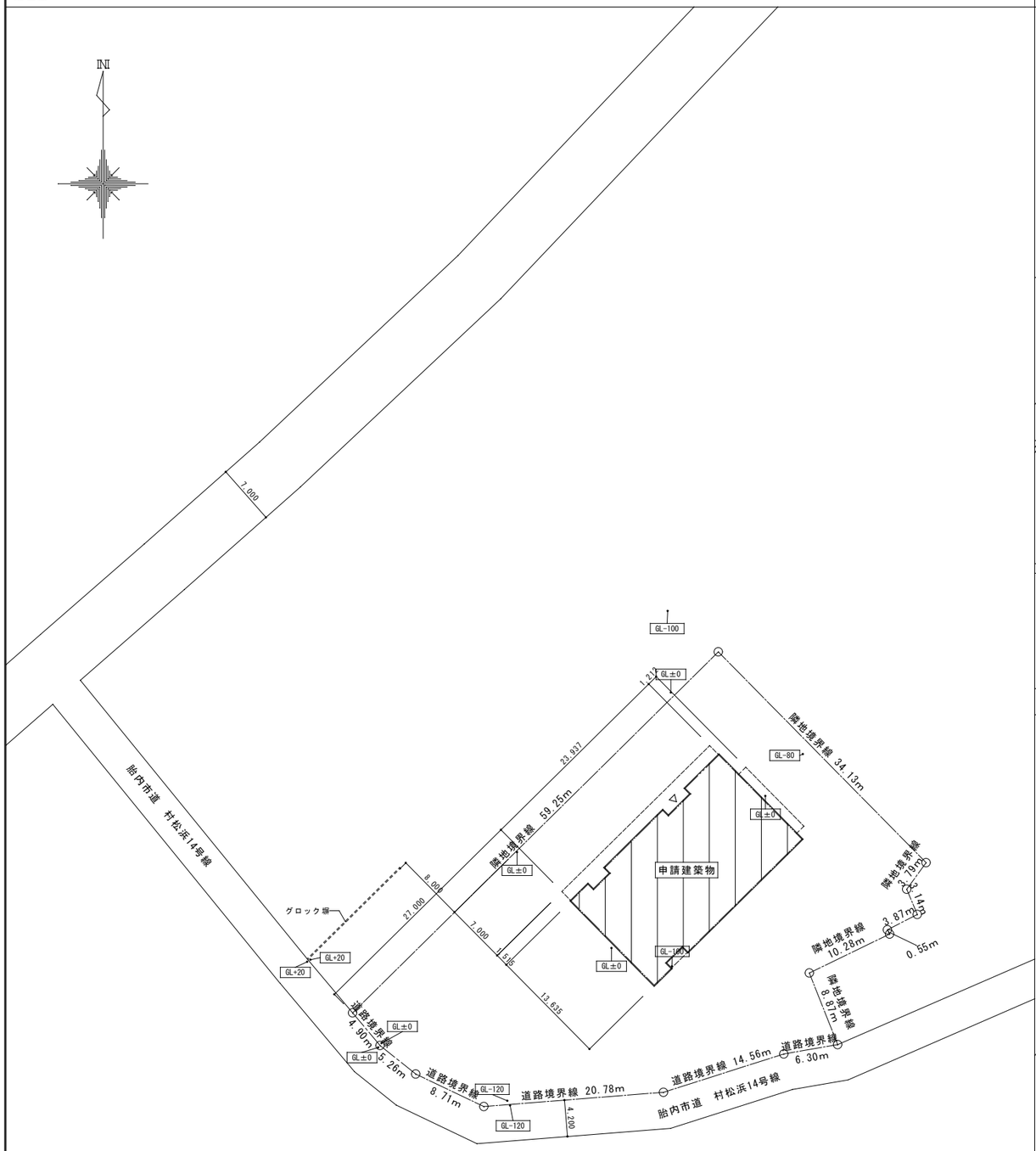
設計年月日
2024.06

工事名称　村松浜集落センター新築工事

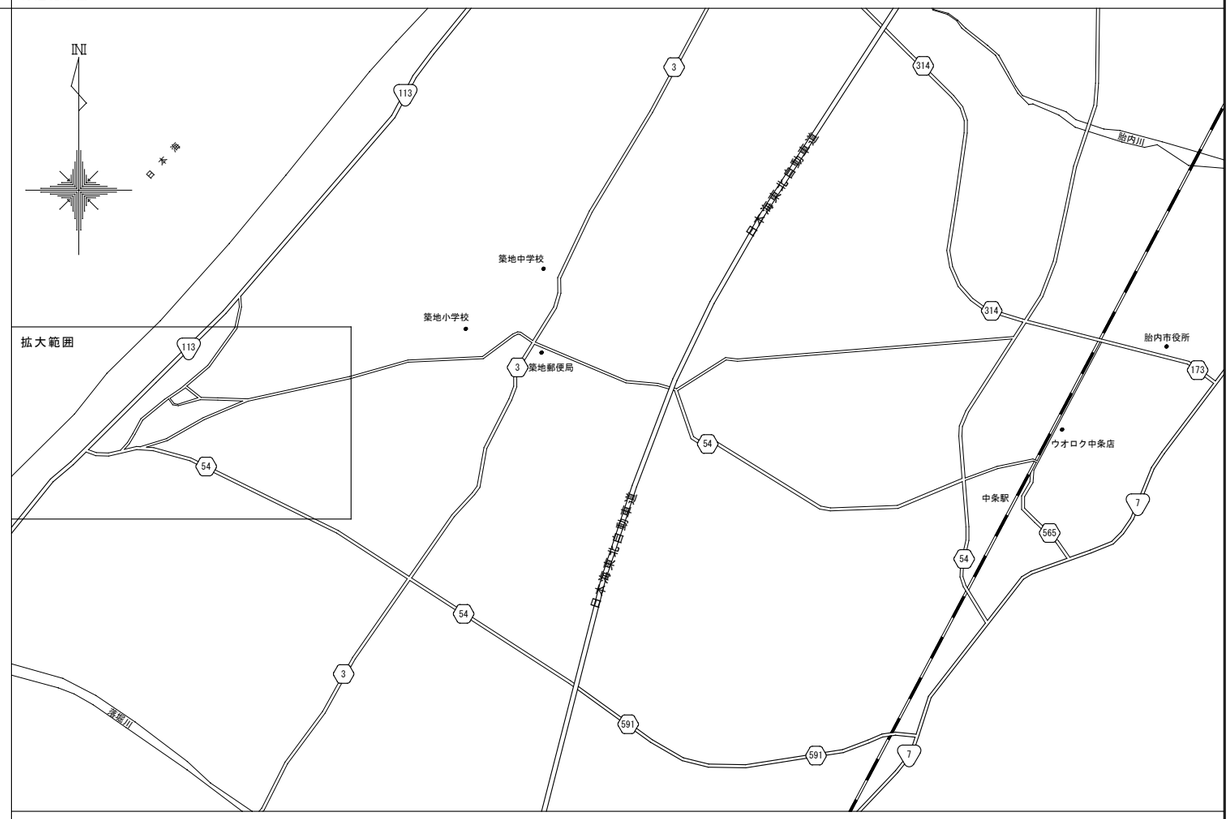
図面名称　仕上表

No.　A－09

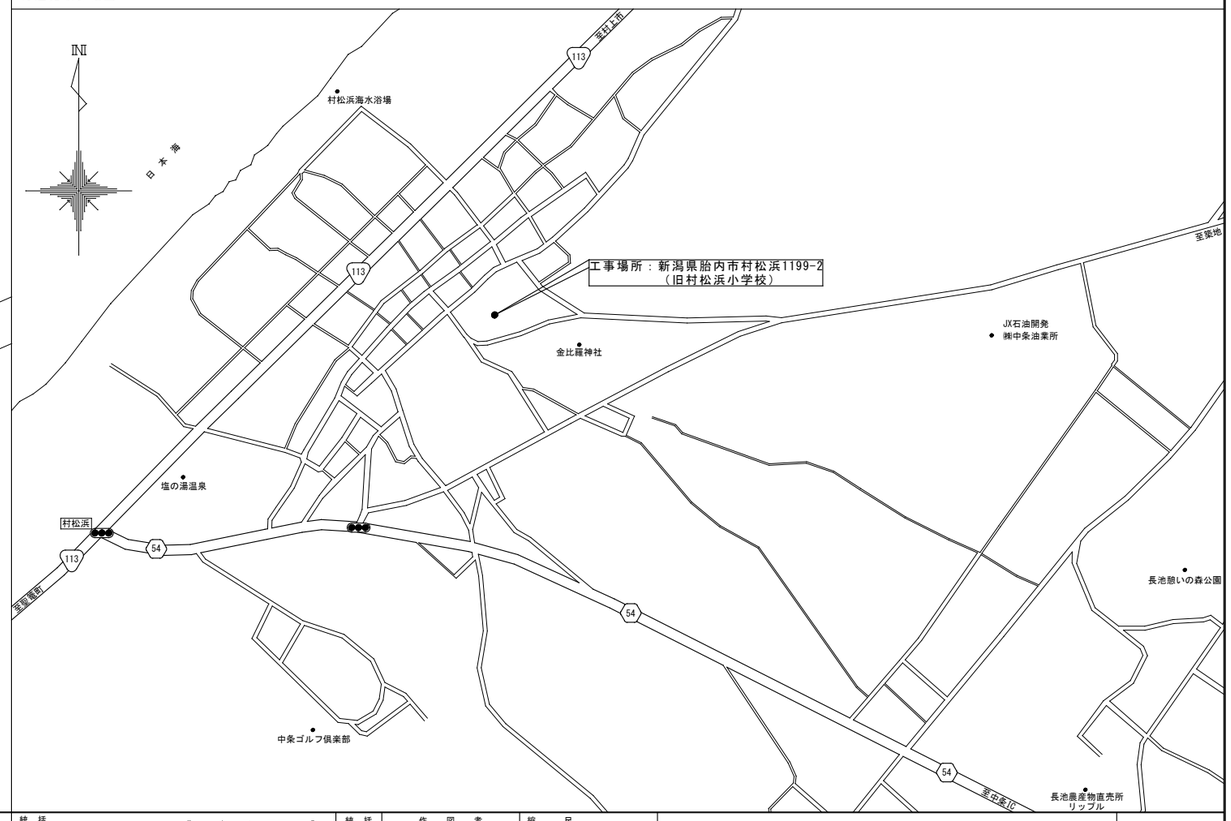
配置図 S=1/300



付近見取図 S=No-scale



付近見取詳細図 S=No-scale



12/24 南東方向に7.0m平行移動（施主から変更の依頼）-修正済

統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号 電話（0254）44-8250番（代表）
1級建築士事務所 新潟県知事登録（チ）第1743号
1級建築士登録番号 第224282号 小林 敏徳

統括
作図者
1級建築士登録番号 第224282号
小林 敏徳

縮尺
A1版 S=1/300・N/S
A3版 S=1/600・N/S
設計年月日
2024.06

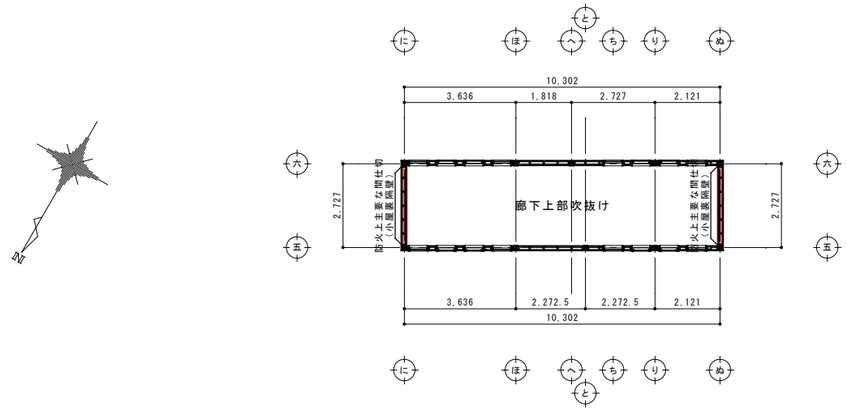
工事名称 村松浜集落センター新築工事

図面名称 配置図・付近見取図

No. A－10

1階上部平面図

S=1/100



1階平面図

S=1/100

防火上主要な間仕切：強化石こうボードt=12.5 両面貼り

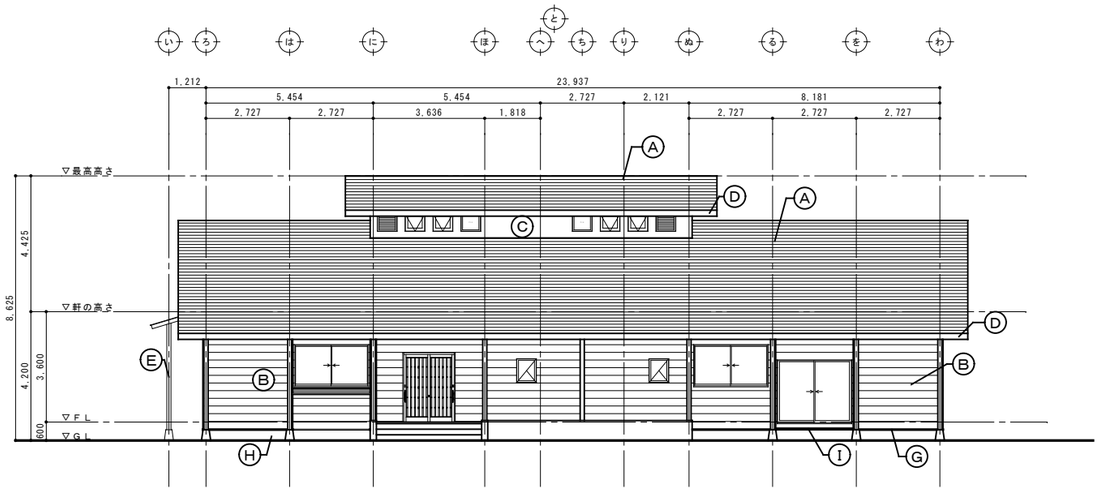
（準耐火認定番号：QF045BP-9075）

統括	株式会社さくら設計 新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表） 1級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号 1級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳	統括	作図者 1級建築士登録番号 第224282号 小林敏徳	縮尺 A1版：S=1/100 A3版：S=1/200 設計年月日 2024.06

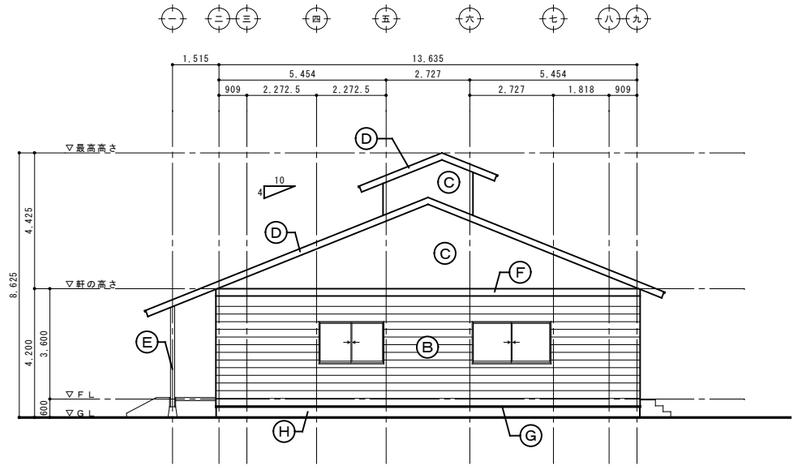
工事名称　村松浜集落センター新築工事

図面名称　平面図

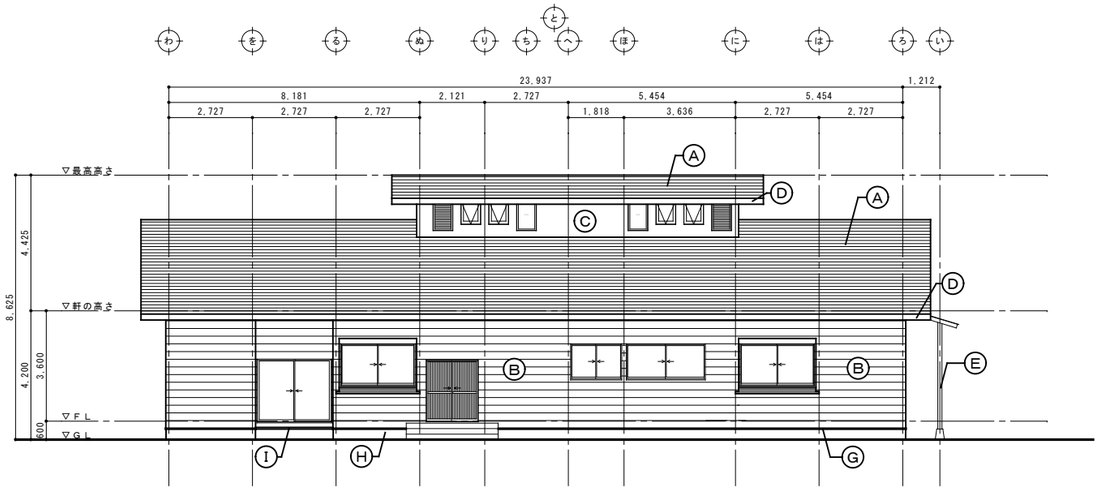
No. A－11



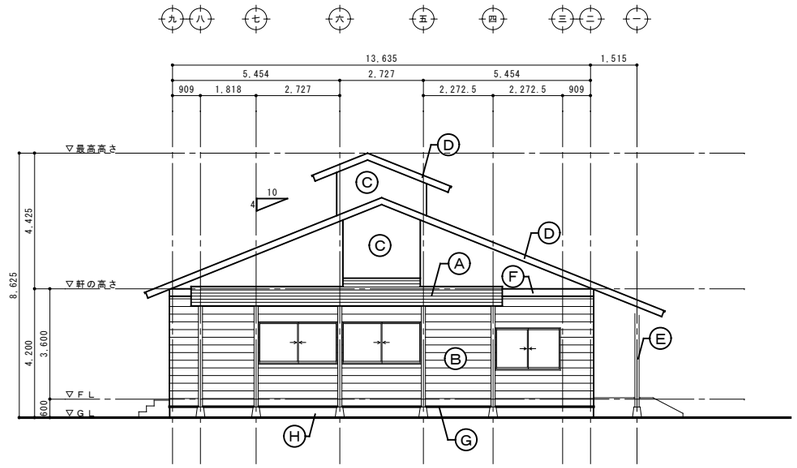
北 面 立 面 図



西 面 立 面 図



南 面 立 面 図



東 面 立 面 図

■ 凡 例

記号	部 位	仕 上	記号	部 位	仕 上	記号	部 位	仕 上
Ⓐ	屋 根	ガルバリウム鋼板t=0.4 横葺き	Ⓕ	付 梁	スギ 240×30 WP			
Ⓑ	外壁①	窯業系サイディングt=16	Ⓖ	水切り	ガルバリウム鋼板t=0.4			
Ⓒ	外壁②	窯業系サイディングt=16	Ⓗ	地 覆	コンクリート打放補修仕上			
Ⓓ	破風・鼻隠し	スギ30×180 WP	Ⓘ	ベランダ	木造床組み、杉板t=21面取り 目地空き10mm WP			
Ⓔ	柱	135×135 WP						

統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号 電話 (0254) 44-8250番（代表）
1級建築士事務所 新潟県知事登録（リ）第1743号
1級建築士登録番号 第224282号 小林 敏徳

統括

作図者
1級建築士登録番号 第224282号
小 林 敏 徳

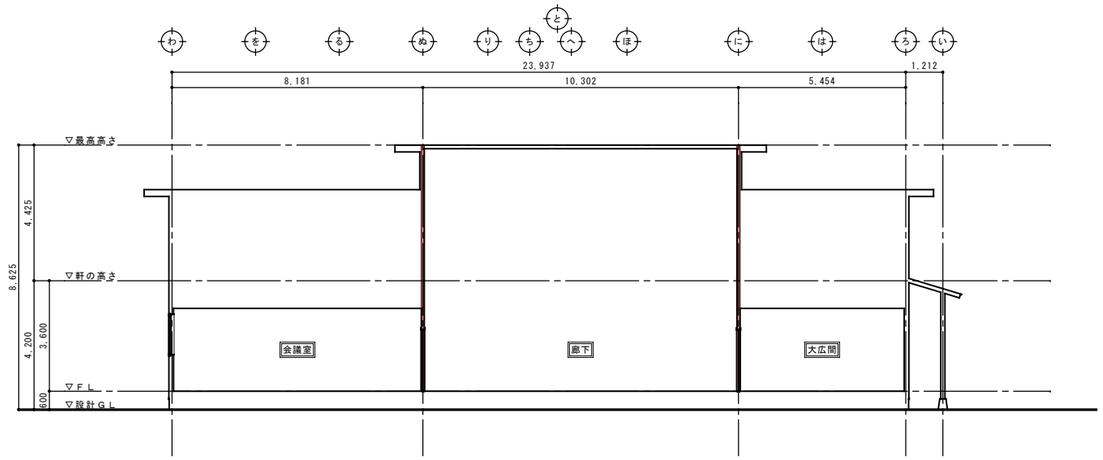
縮尺
A1版：S=1/100
A3版：S=1/200

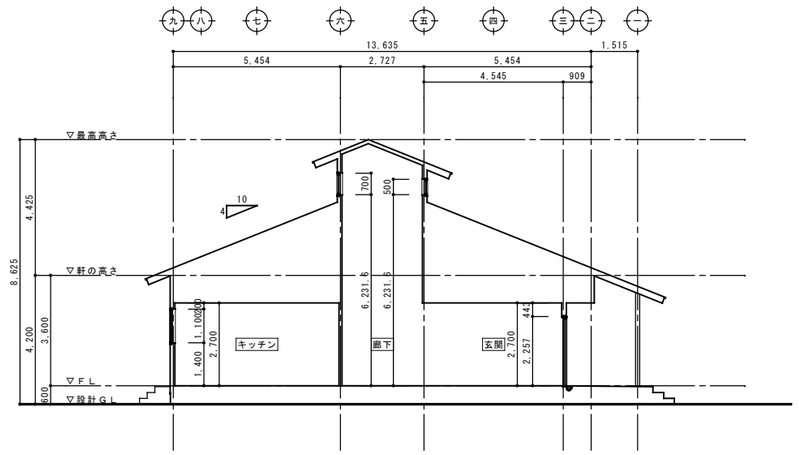
設計年月日
2024.06

工事名称 村松浜集落センター新築工事

図面名称 立面図

No. A－12





：防火上主要な間仕切　強化石こうボードt=12.5　両面貼り（小屋裏まで）
（準耐火認定番号：QF045BP-9071）

統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
1級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
1級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳

統括

作図者
1級建築士登録番号　第224282号
小林　敏徳

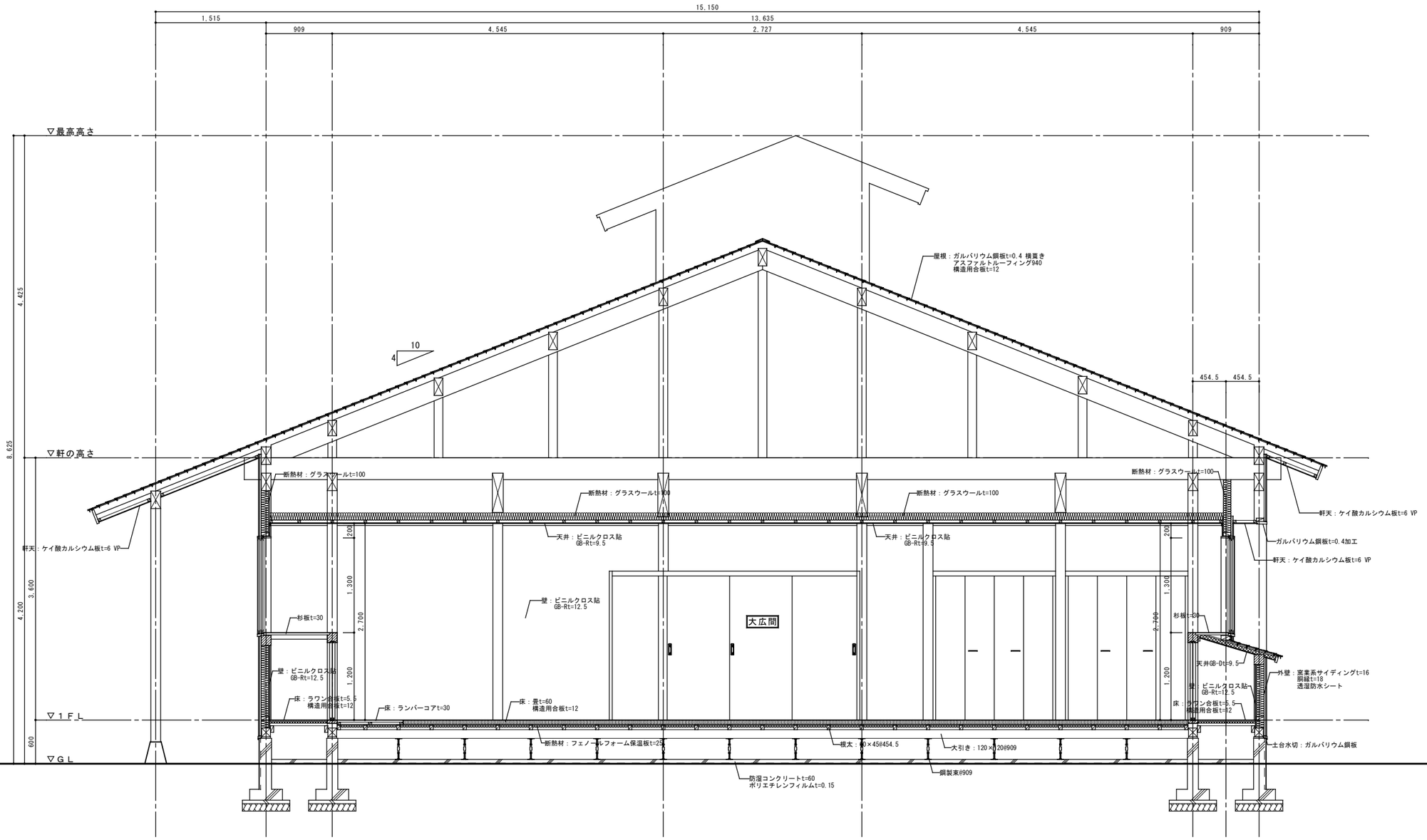
縮尺
A1版：S=1/100
A3版：S=1/200

設計年月日
2024.06

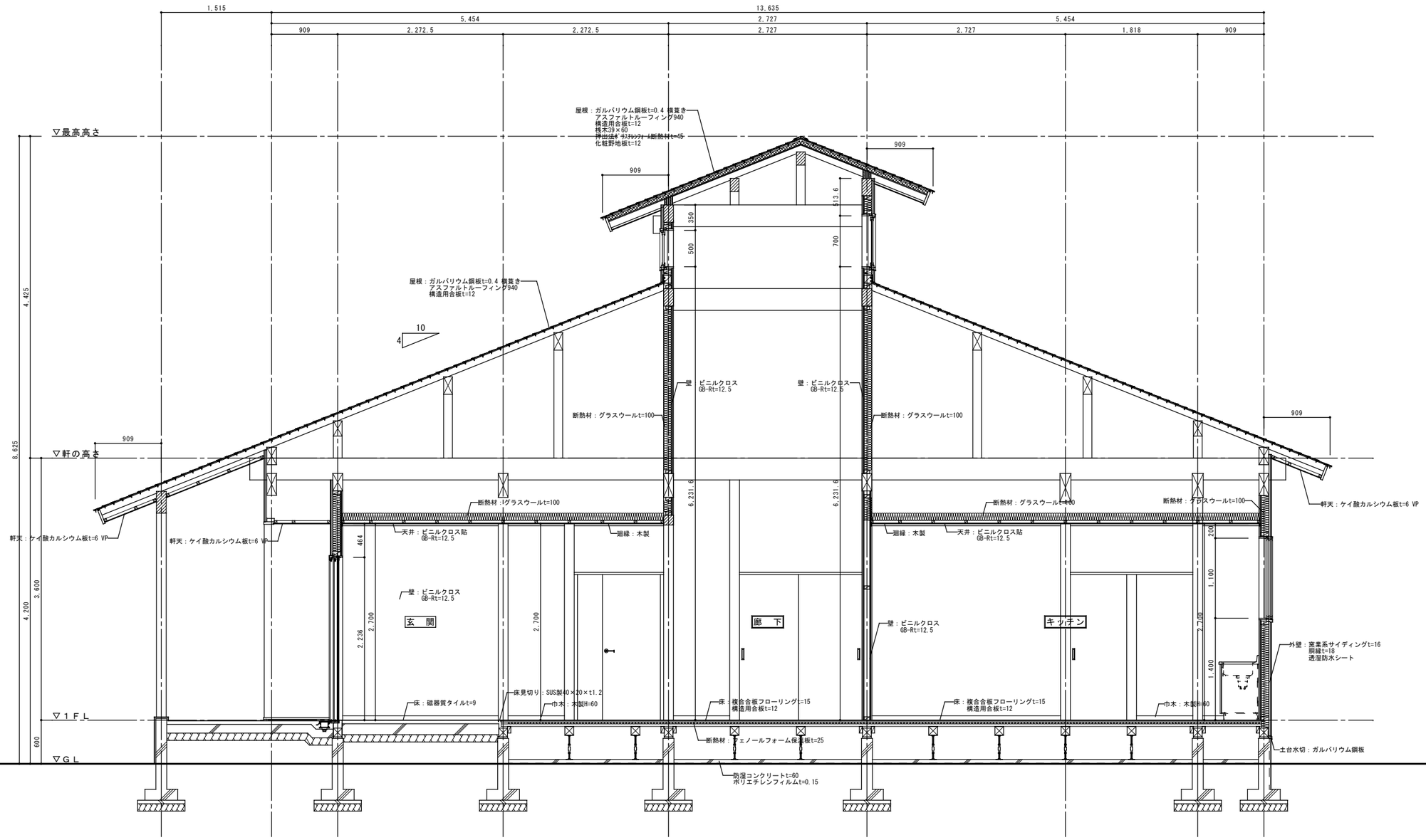
工事名称　村松浜集落センター新築工事

図面名称　断面図

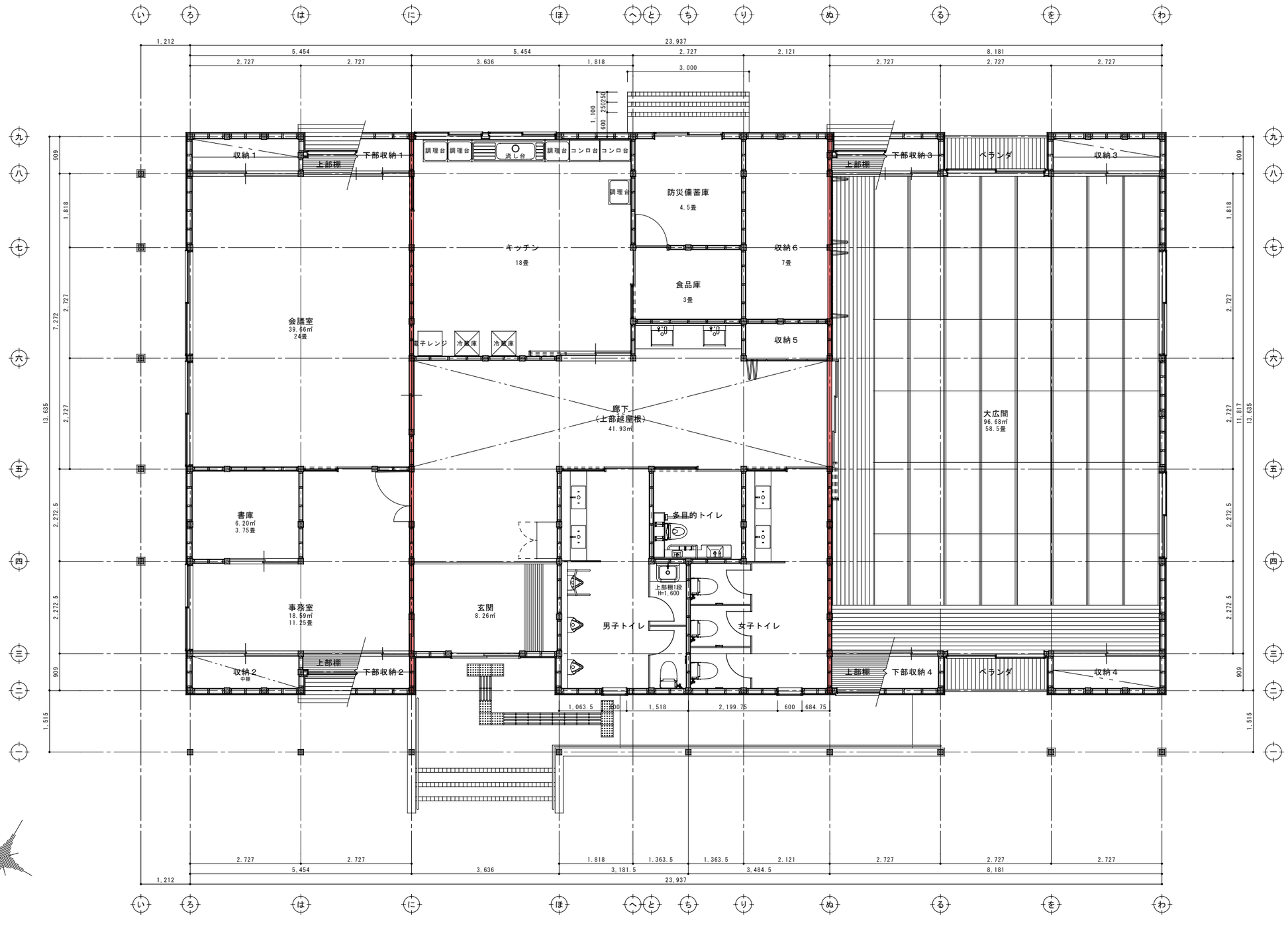
No. A－13



統括	株式会社さくら設計 新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表） １級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号 １級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳	統括	作図者 １級建築士登録番号　第224282号 小林　敏徳	縮尺 A1版：S=1/30 A3版：S=1/60 設計年月日 2024.06	工事名称　村松浜集落センター新築工事 図面名称　矩計図１ No. A－14



統括	株式会社さくら設計 新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表） １級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号 １級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳	統括	作図者 １級建築士登録番号　第224282号 小林　敏徳	縮尺 A1版：S=1/30 A3版：S=1/60 設計年月日 2024.06	工事名称　村松浜集落センター新築工事 図面名称　矩計図２ No. A－15



防火上主要な間仕切：強化石こうボードt=12.5 両面貼り

（準耐火認定番号：QF045BP-9075）

統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
１級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
１級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳

統括

作図者
１級建築士登録番号　第224282号
小林　敏徳

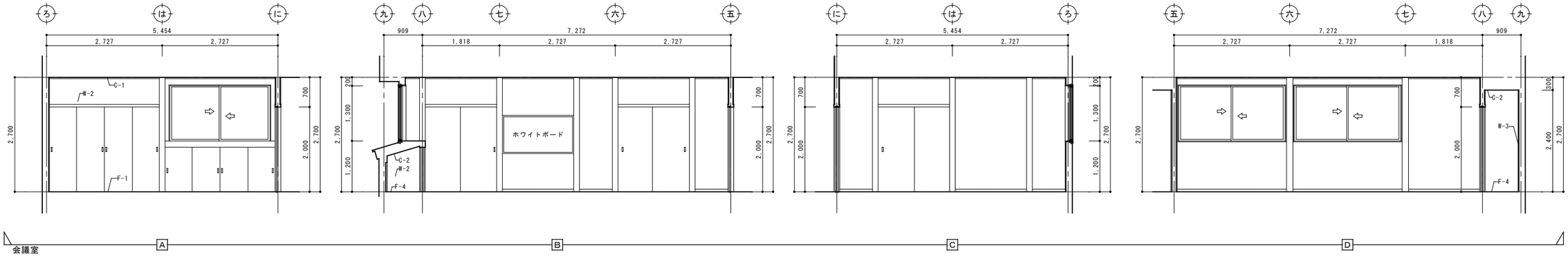
縮尺
A1版：S=1/50
A3版：S=1/100

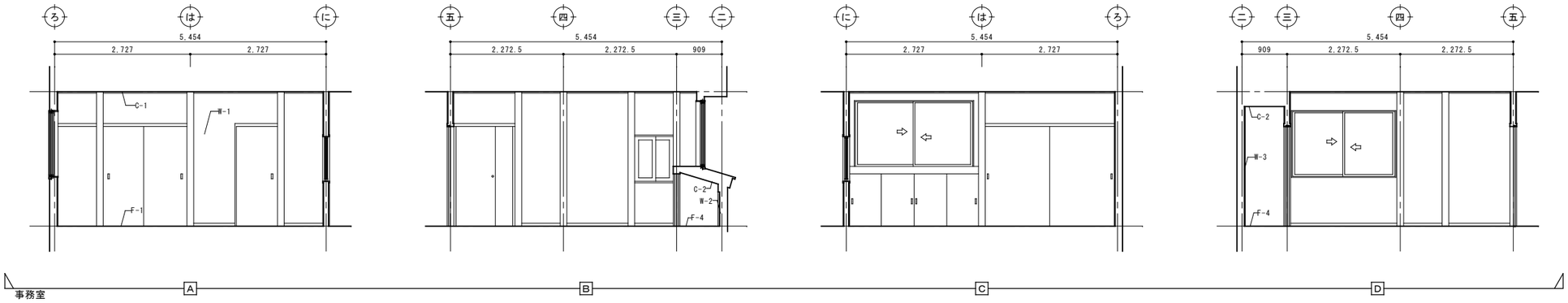
設計年月日
2024.06

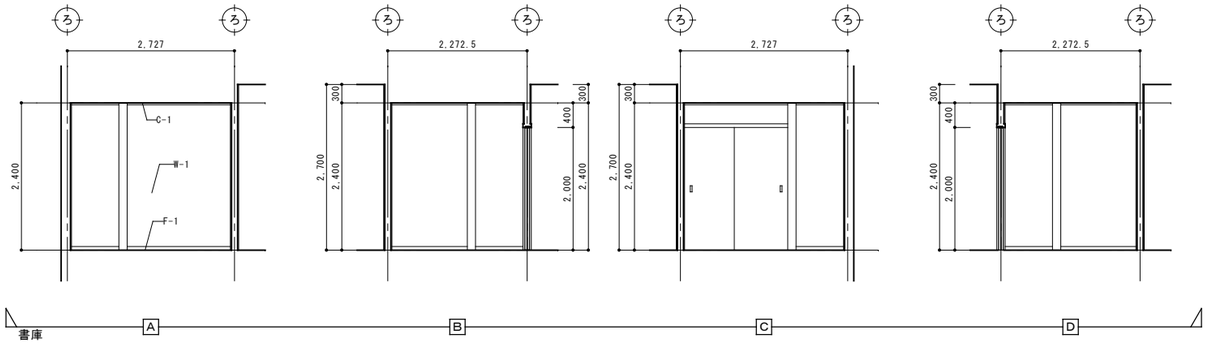
工事名称　村松浜集落センター新築工事

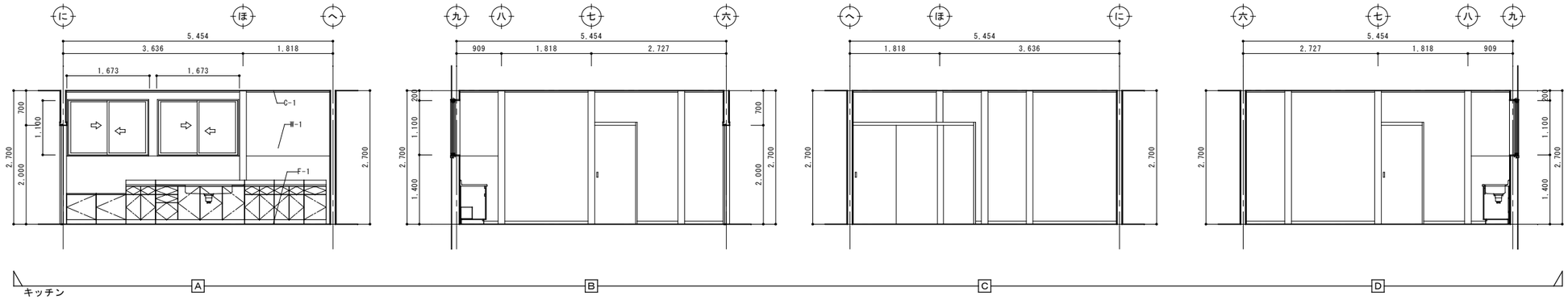
図面名称　平面詳細図

No. A－16









統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
1級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
1級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳

統括

作図者
1級建築士登録番号　第224282号
小林　敏徳

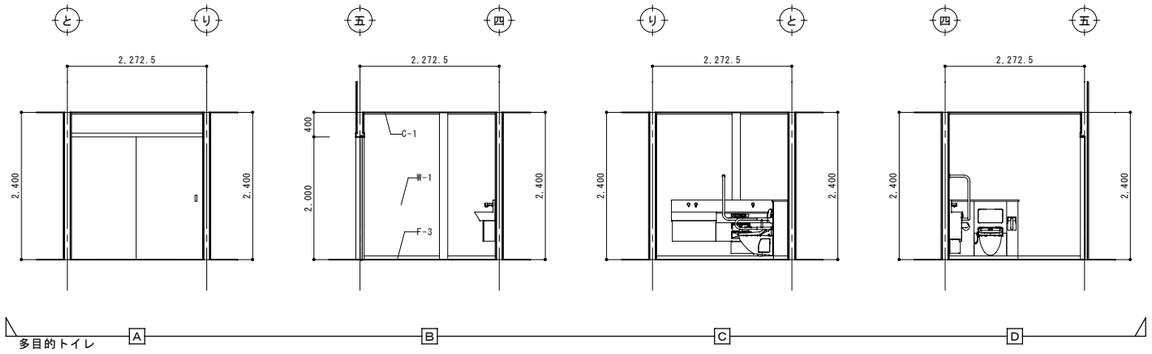
縮尺
A1版：S=1/50
A3版：S=1/100

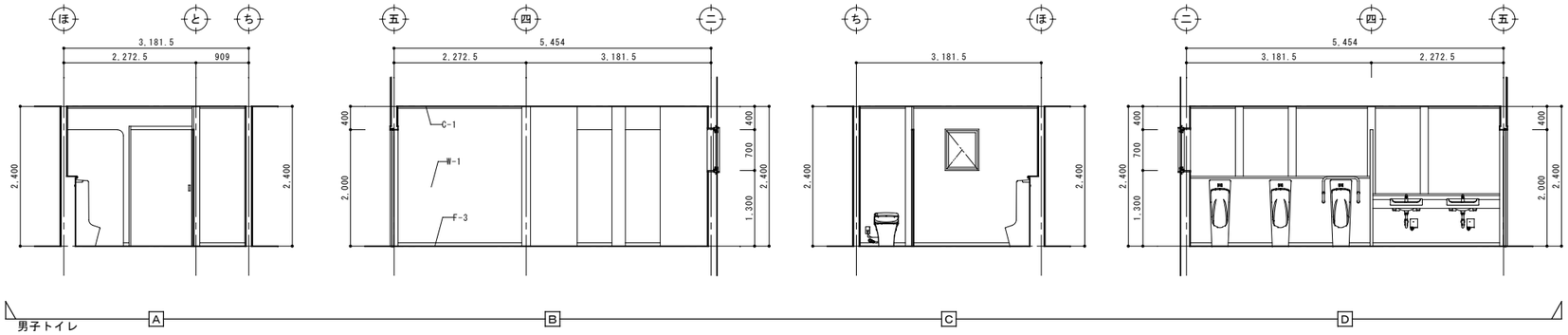
設計年月日
2024.06

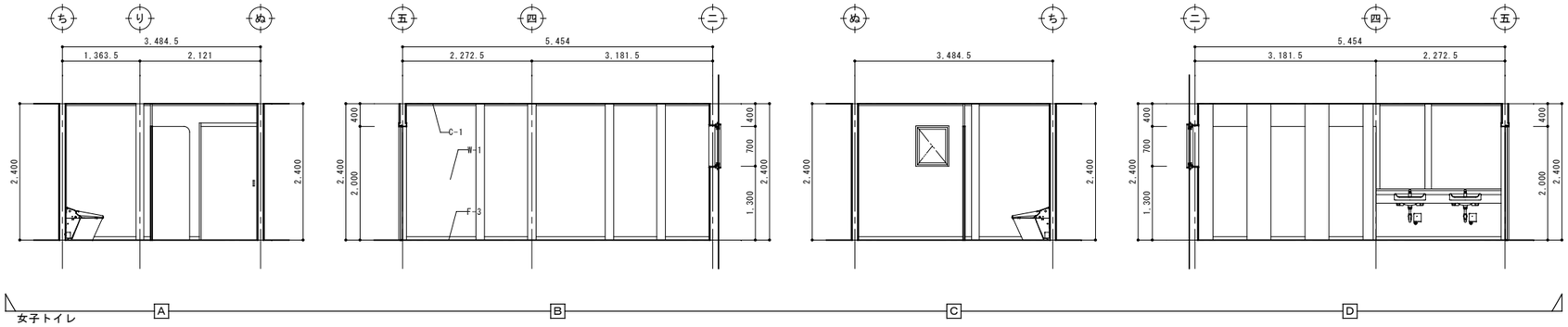
工事名称　村松浜集落センター新築工事

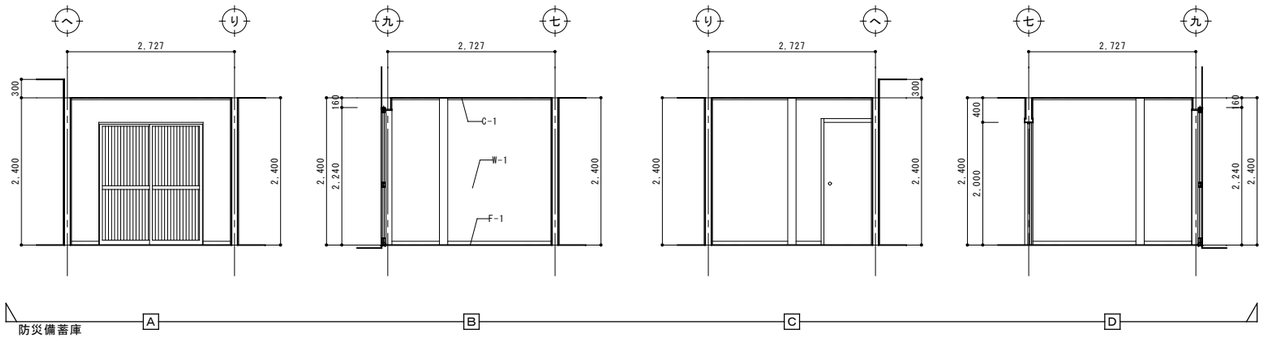
図面名称　展開図１

No. A－17



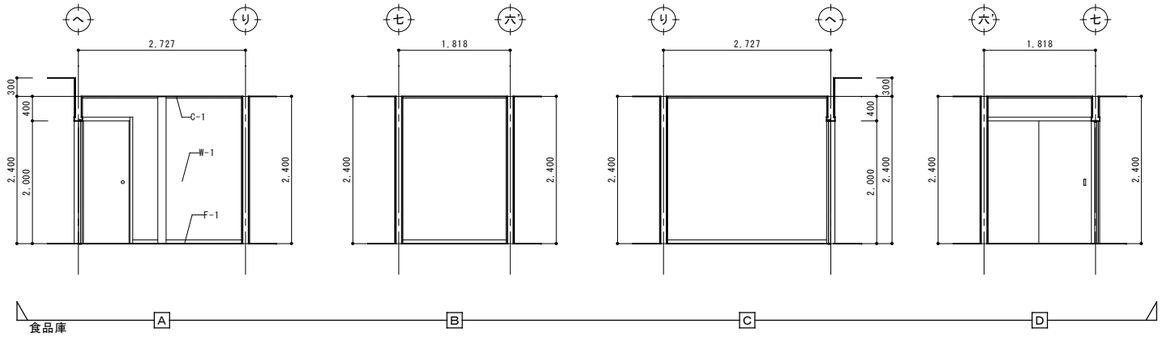


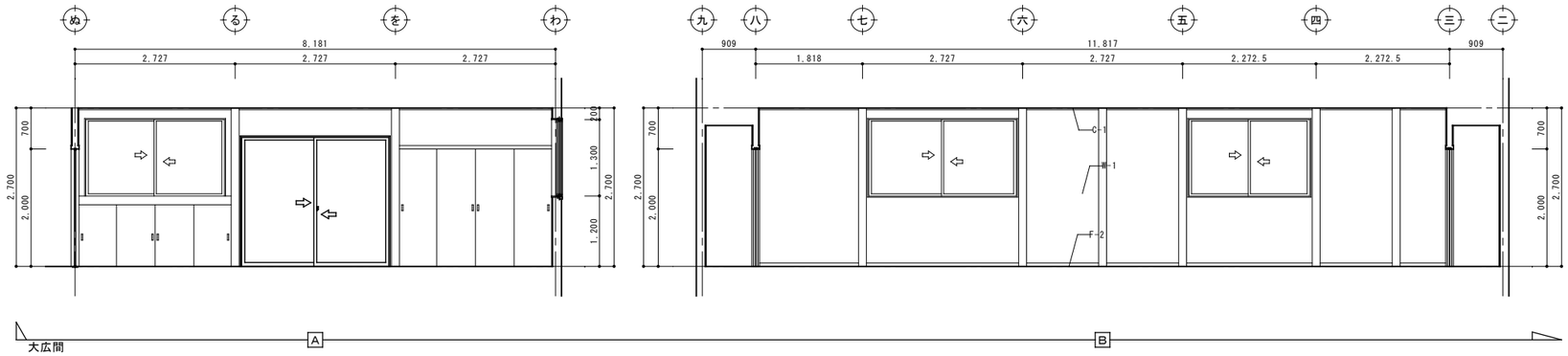


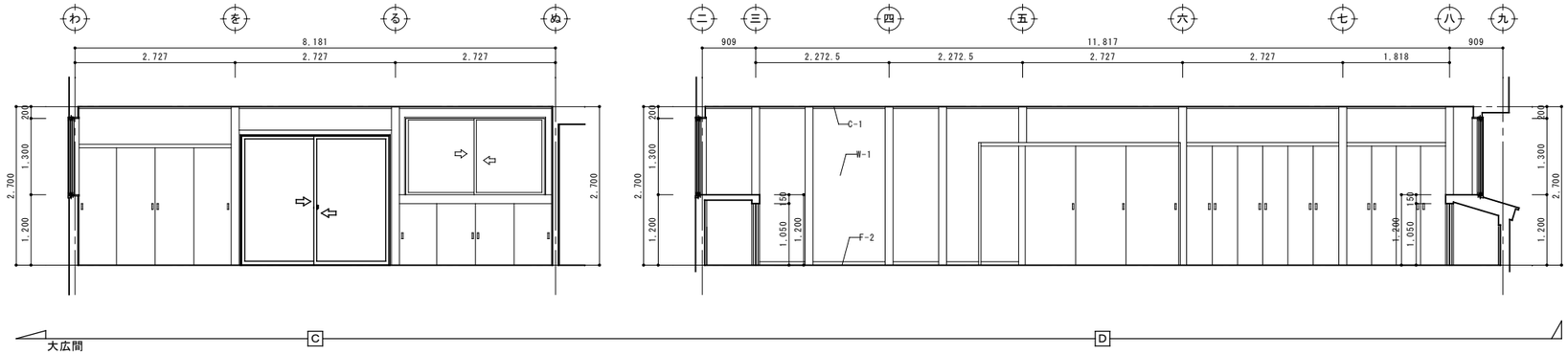


統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
1級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
1級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳

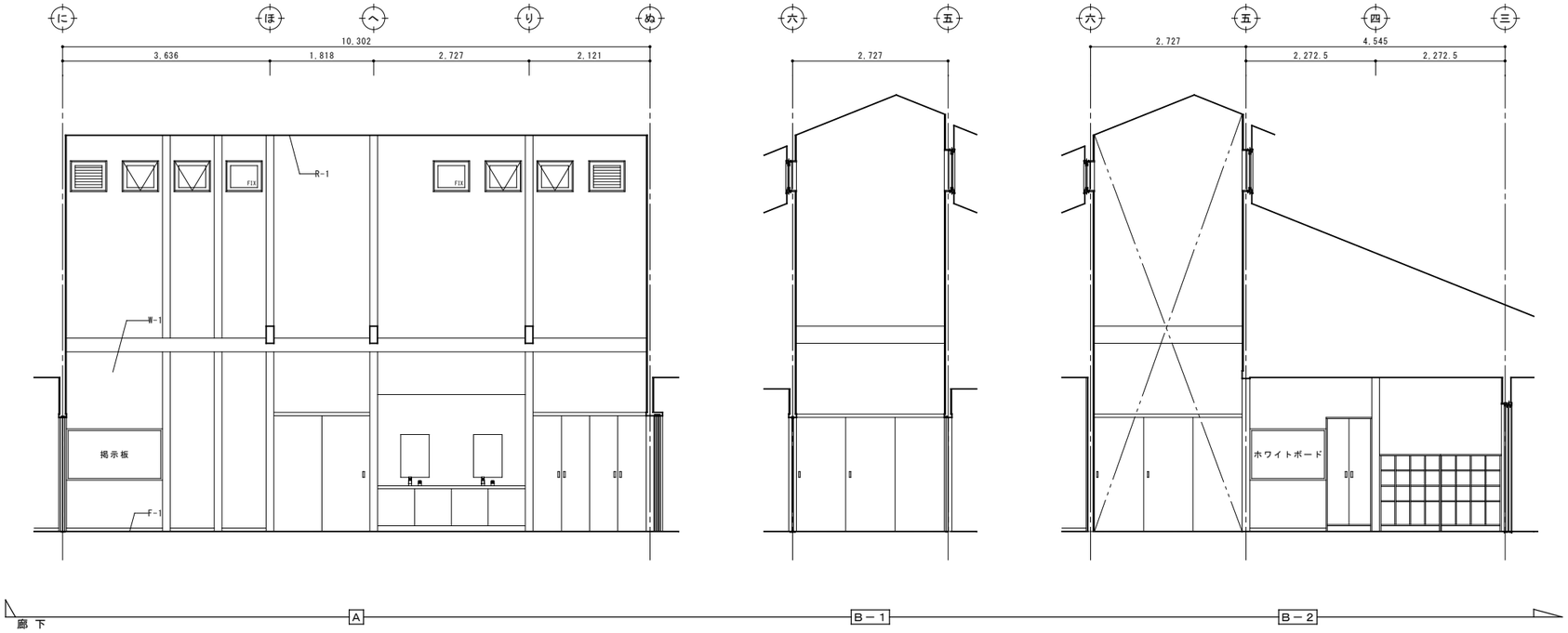
統括	作図者	縮尺	工事名称	
	1級建築士登録番号 第224282号 小林 敏徳	A1版：S=1/50 A3版：S=1/100 設計年月日 2024.06	村松浜集落センター新築工事 図面名称　展開図２	No. A－18

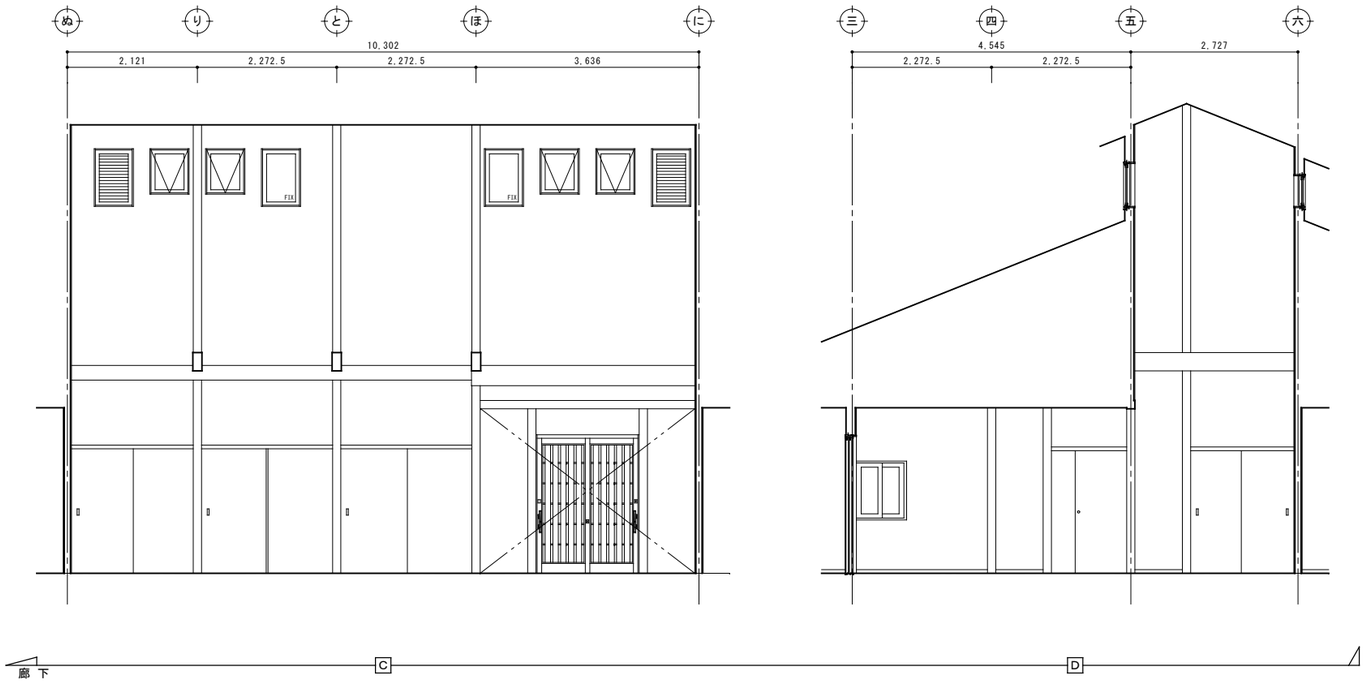






統括 株式会社さくら設計 新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表） 1級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号 1級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳	統括	作図者 1級建築士登録番号 第224282号 小林 敏徳	縮尺 A1版：S=1/50 A3版：S=1/100 設計年月日 2024.06	工事名称　村松浜集落センター新築工事 図面名称　展開図３	No. A－19

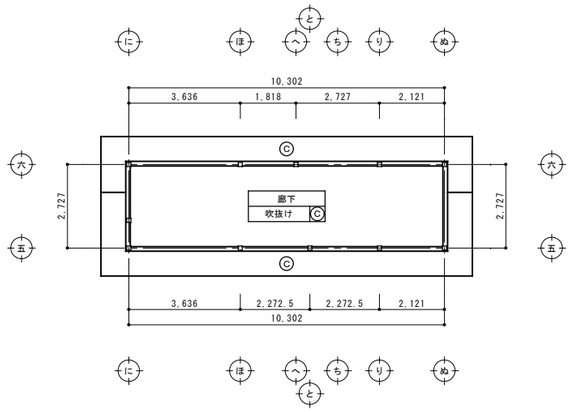




統括 株式会社さくら設計 新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表） 1級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号 1級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳	統括	作図者 1級建築士登録番号　第224282号 小林　敏徳	縮尺 A1版：S=1/50 A3版：S=1/100 設計年月日 2024.06	工事名称　村松浜集落センター新築工事 図面名称　展開図４	No. A－２０

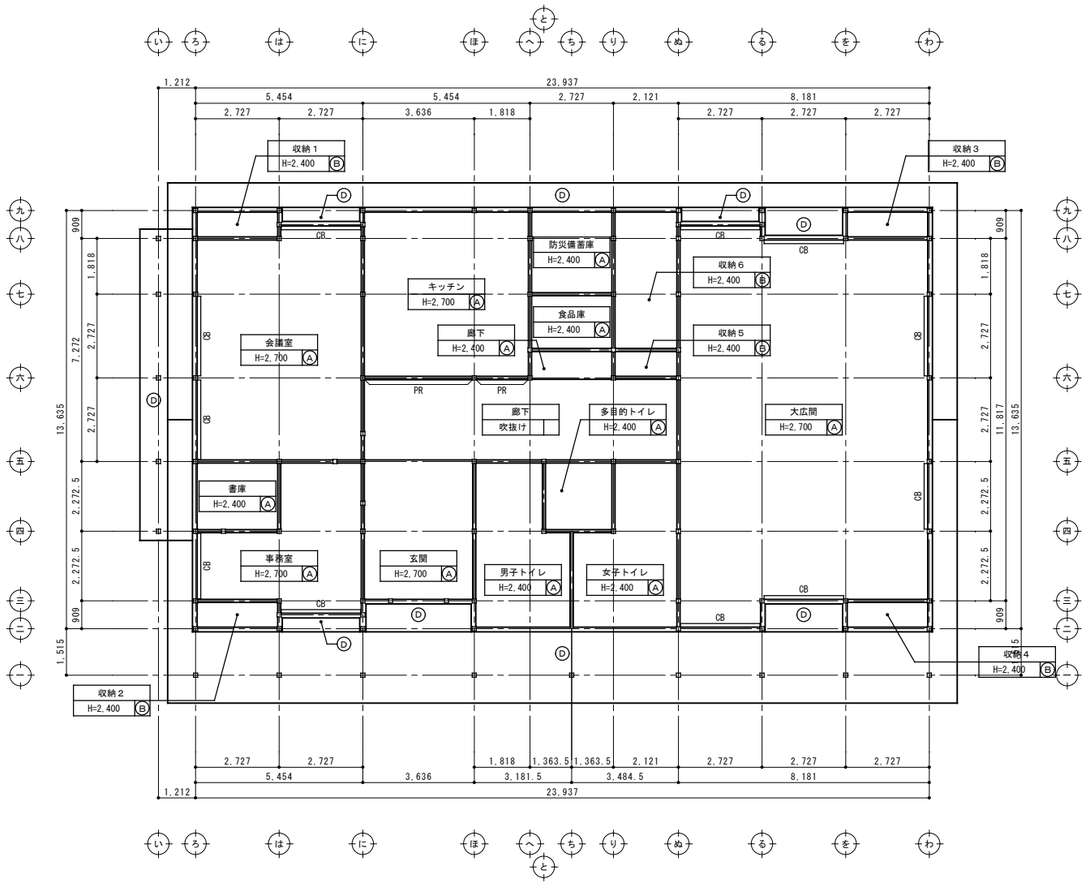
１階上部天井伏図

S=1/100



１階天井伏図

S=1/100



Ⓐ	石こうボードt=9.5＋ビニルクロス貼
Ⓑ	化粧石こうボードt=9.5
Ⓒ	化粧野地板t=12.5
Ⓓ	ケイ酸カルシウム板t=6 VP
PR	ピクチャーレール（既製品）
CB	カーテンボックス120×210（壁付用）

統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
１級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
１級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳

統括

作図者
１級建築士登録番号　第224282号
小林　敏徳

縮尺
A1版：S=1/100
A3版：S=1/200

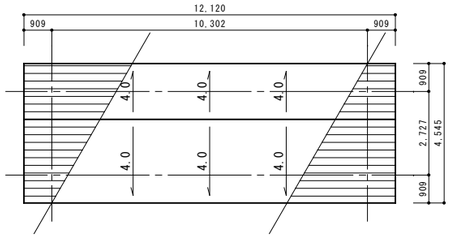
設計年月日
2024.06

工事名称　村松浜集落センター新築工事

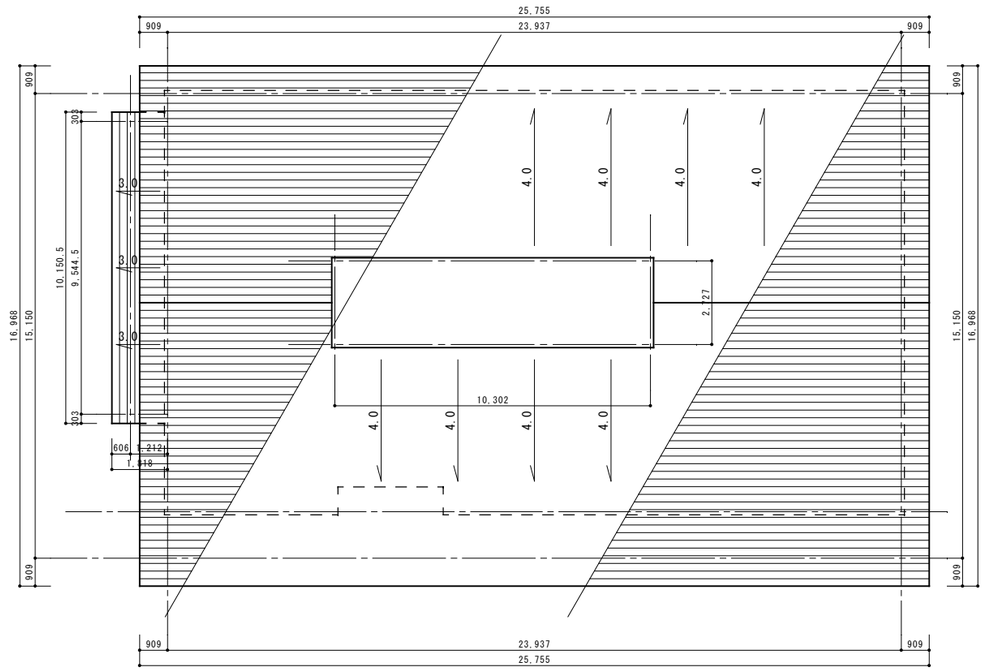
図面名称　天井伏図

No. A－２１

越屋根伏図 S=1/100



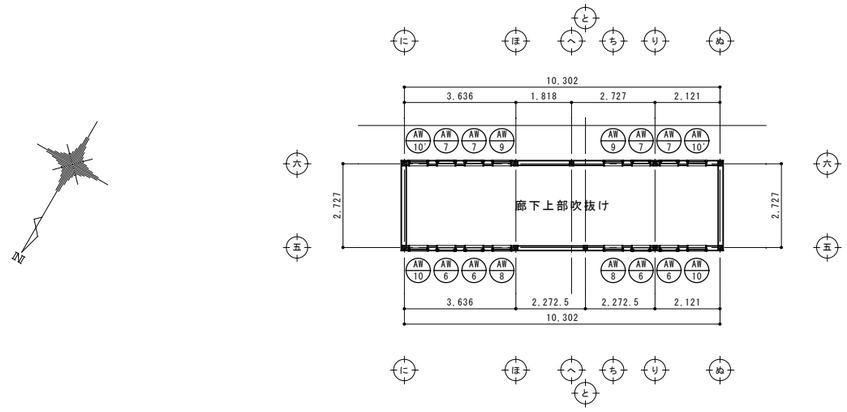
屋根伏図 S=1/100



統括	株式会社さくら設計 新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表） １級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号 １級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳	統括	作図者 １級建築士登録番号 第224282号 小林　敏徳	縮尺 A1版：S=1/100 A3版：S=1/200 設計年月日 2024.06	工事名称　村松浜集落センター新築工事 図面名称　屋根伏図 No. A－22

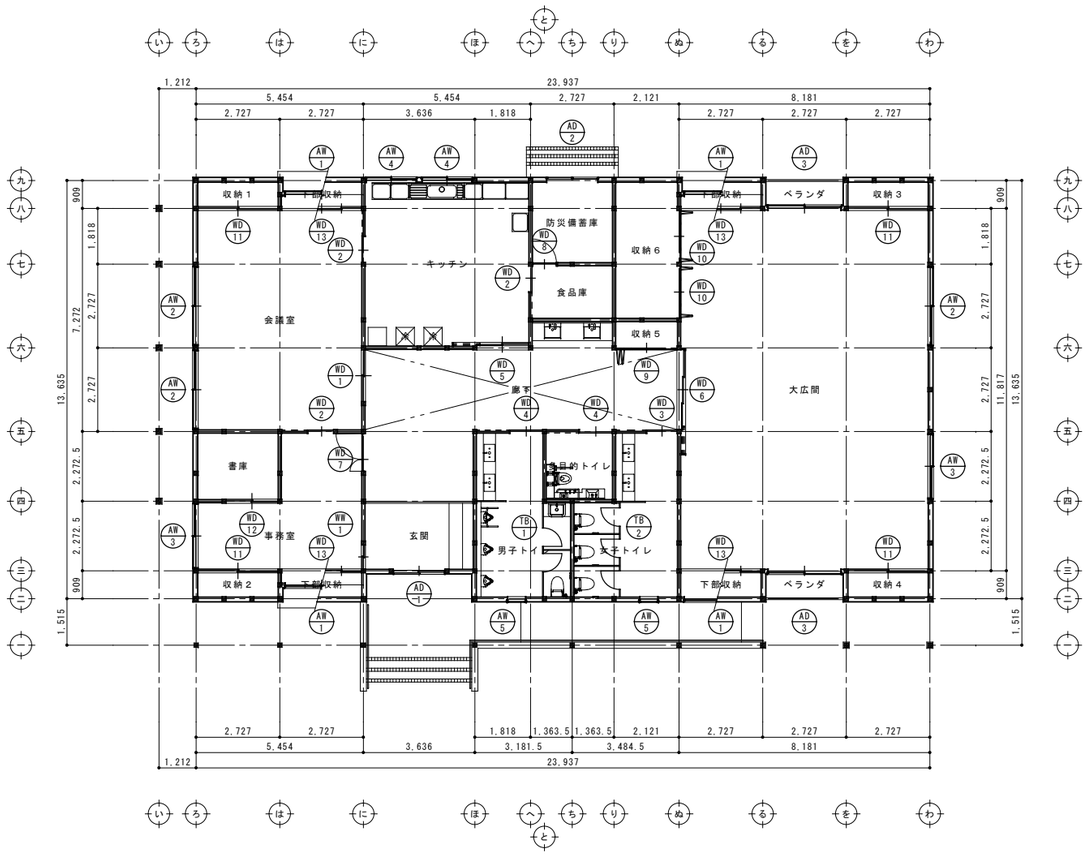
１階上部建具平面図

S=1/100



１階建具平面図

S=1/100



統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
１級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
１級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳

統括

作図者
１級建築士登録番号　第224282号
小林　敏徳

縮尺
A1版：S=1/100
A3版：S=1/200

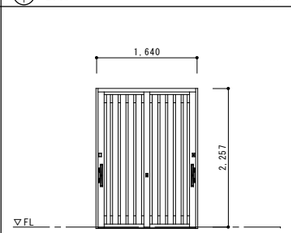
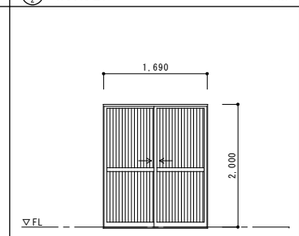
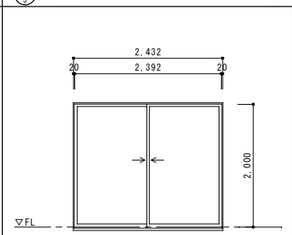
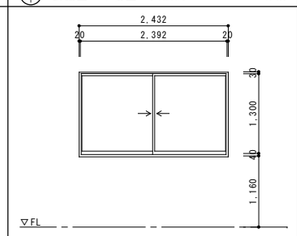
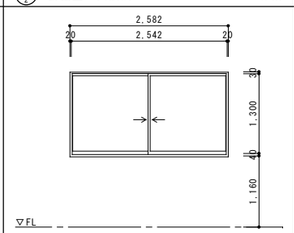
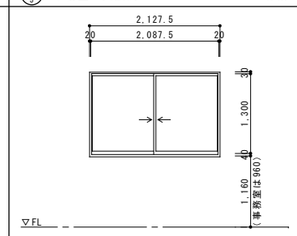
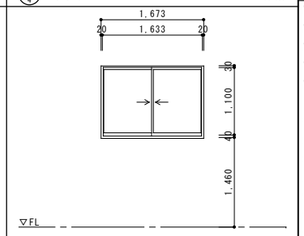
設計年月日
2024.06

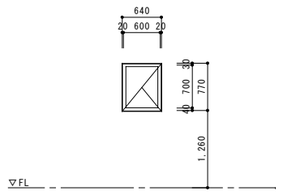
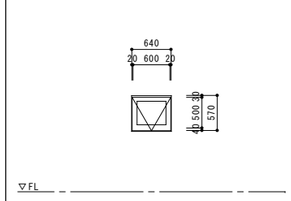
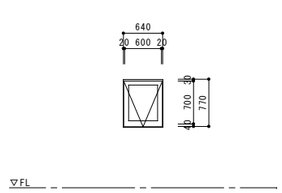
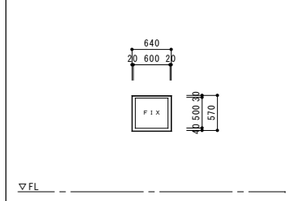
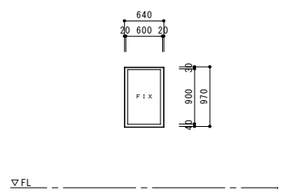
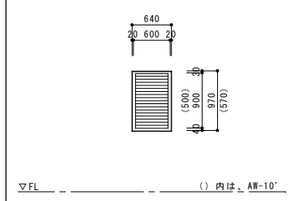
工事名称　村松浜集落センター新築工事

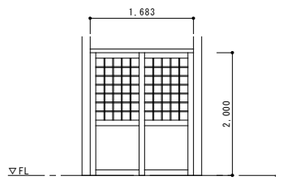
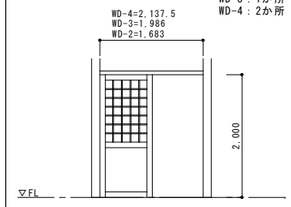
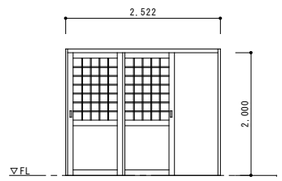
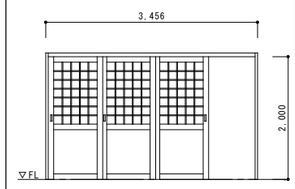
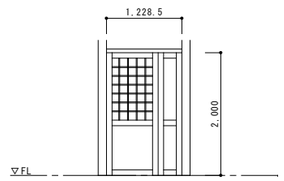
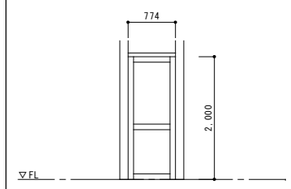
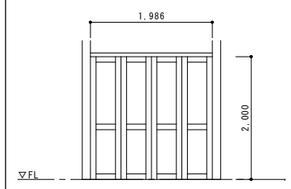
図面名称　建具平面図

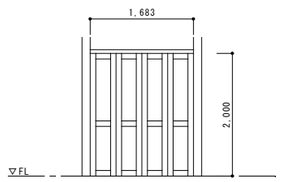
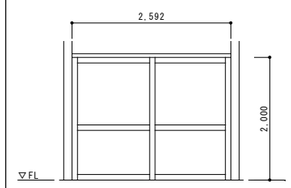
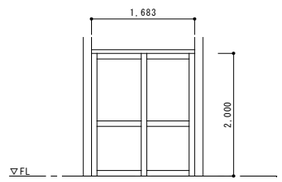
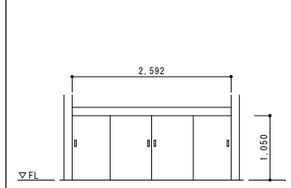
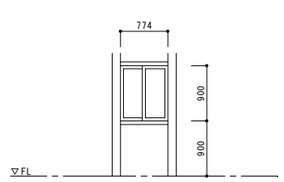
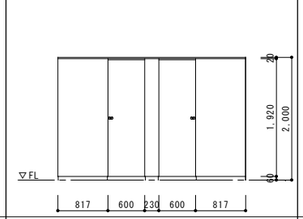
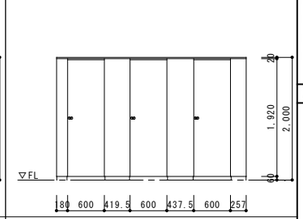
No. A－２３

建具表

符号・場所・数量	AD 1 玄関 1ヵ所	AD 2 防災備蓄庫 1ヵ所	AD 3 大広間 2ヵ所	AW 1 会議室・事務室・大広間 4ヵ所	AW 2 会議室・大広間 3ヵ所	AW 3 事務室・大広間 2ヵ所	AW 4 キッチン 2ヵ所
形状・寸法							
名　称	玄関引戸	勝手口引戸	引き違いテラス戸	引違い窓	引違い窓	引違い窓	引違い窓
見　込	１３０	７５	７０	７０	７０	７０	７０
仕　上	アルミ（Ｂ－２）	アルミ（Ｂ－２）	アルミ（Ｂ－２）	アルミ（Ｂ－２）	アルミ（Ｂ－２）	アルミ（Ｂ－２）	アルミ（Ｂ－２）
硝　子	FL3＋A6＋FL4	アルミパネル	FL3＋A6＋FL4	FL3＋A6＋FL4	FL3＋A6＋FL4	FL3＋A6＋FL4	FL3＋A6＋FL4
金　物	把手、戸車、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ、付属金物一式	引手内外錠、戸車、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式
備　考				網戸	網戸	網戸	網戸

符号・場所・数量	AW 5 男子トイレ・女子トイレ 2ヵ所	AW 6 廊下 4ヵ所	AW 7 廊下 4ヵ所	AW 8 廊下 2ヵ所	AW 9 廊下 2ヵ所	AW 10 廊下 4ヵ所	
						AW-10 ：2ヵ所 AW-10' ：2ヵ所	
形状・寸法							
名　称	縦すべり窓	すべり出し窓	すべり出し窓	FIX窓	FIX窓	アルミガラリ	
見　込	７０	７０	７０	７０	７０	７０	
仕　上	アルミ（Ｂ－２）	アルミ（Ｂ－２）	アルミ（Ｂ－２）	アルミ（Ｂ－２）	アルミ（Ｂ－２）	アルミ（Ｂ－２）	
硝　子	FL3	FL3	FL3	FL3	FL3	―	
金　物	カムラッチハンドル、付属金物一式	排煙用引手、付属金物一式	排煙用引手、付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	
備　考							

符号・場所・数量	WD 1 会議室 1か所	WD 2 WD 3 WD 4 会議室、キッチン、各トイレ	WD 5 キッチン 1か所	WD 6 大広間 1か所	WD 7 事務室 1か所	WD 8 防災備蓄庫 1か所	WD 9 収納５ 1か所
		WD-2：3か所 WD-3：1か所 WD-4：2か所					
形状・寸法							
名　称	引違い框戸	片引き框戸	2枚片引き框戸	3枚片引き框戸	親子框ドア	片開き框ドア	クローゼット折れ戸
見　込	３３	３３	３３	３３	３３	３３	３３
仕　上	米松突板t=3	米松突板t=3	米松突板t=3	米松突板t=3	米松突板t=3	米松突板t=3	米松突板t=3
硝　子	TP4	TP4	TP4	TP4			
金　物	ステンレス引手、引戸錠、レール、戸車	ステンレス引手、鎌錠、レール、戸車	ステンレス引手、鎌錠、レール、戸車	ステンレス引手、鎌錠、レール、戸車	レバーハンドル、本締り錠	レバーハンドル、本締り錠	引手、レール
備　考					アンダーカット	アンダーカット	

符号・場所・数量	WD 10 収納６ 2か所	WD 11 収納１～４ 4か所	WD 12 書庫 1か所	WD 13 下部収納 4か所	御 1 事務室 1か所	TB 1 男子トイレ 1か所	TB 2 女子トイレ 1か所
形状・寸法							
名　称	クローゼット折れ戸	引違い框戸	引違い框戸	4枚引違い戸	引違い窓	トイレブース	トイレブース
見　込	３３	３３	３３	３３	３３	３３	３８
仕　上	米松突板t=3	米松突板t=3	米松突板t=3	米松突板t=3		メラミン化粧板	メラミン化粧板
硝　子					TP4		
金　物	引手、レール	ステンレス引手、引戸錠、レール、戸車	ステンレス引手、引戸錠、レール、戸車	ステンレス引手、レール、戸車		引手、表示錠、付属金物一式	引手、表示錠、付属金物一式
備　考							

凡例

（本表は、本工事に用いる建具を一括して表す。戸棚、カウンターその他これに類する建具は詳細図によるものとし、本表に含まない。）

1 建具の種類と符号

WD	木製戸	AD	アルミ製戸
WW	木製窓	AW	アルミ製窓
WG	木製ガラリ	AG	アルミ製ガラリ
WP	木製スクリーン	ACW	アルミ製カーテンウォール
WF	木製三方枠（一・二・四方）	AP	アルミ製スクリーン
		TD	強化ガラス戸
FU	ふすま	TW	強化ガラス窓
SJ	障子	GW	サスペンションガラス窓
SD	鋼製戸	SS	重量シャッター
LSD	鋼製軽量戸	LS	軽量シャッター
SW	鋼製窓	GS	グリルシャッター
SG	鋼製ガラリ	TS	耐火スクリーン
SCW	鋼製カーテンウォール	SM	防煙垂壁
SP	鋼製スクリーン	OHD	オーバーヘッドドア
SF	鋼製三方枠（一・二・四方）	SLW	スライドウォール
		TB	トイレブース
SSD	ステンレス製戸	SB	シャワーブース
SSW	ステンレス製窓		
SSG	ステンレス製ガラリ		
SSP	ステンレス製スクリーン		

2 程度の種類と符号

SAT　気密性はJIS等級のA-3（８等級線）とする。
AT　気密性はJIS等級のA-4（２等級線）とする。
　　遮音性はJIS等級のT-2（３０等級線）とする。
PAT　ATの性能を上回る建具で、気密性、遮音性、その他仕様は特記による。

3 ガラスの種類と符号

FL	フロートガラス	PWC	網入透明ガラス(乙防)
F	型板ガラス	PWL	線入透明ガラス
HFL	熱線吸収ガラス	FWC	網入型板ガラス(乙防)
CFL	熱線反射ガラス	FWL	線入型板ガラス
HCFL	熱線吸収反射ガラス	AWC	網入熱線吸収ガラス(乙防)
RFL	高性能熱線反射ガラス	AWL	線入熱線吸収ガラス
TP	強化ガラス	FTP	耐熱強化ガラス
HS	倍強度ガラス		(特定防火設備認定品)
L	合せガラス	D	複層ガラス(A:空気層)
Le	Low-Eガラス	PB	ポリカーボネート合成樹脂板
GB	ガラスブロック	AL	アクリル合成樹脂板

4 材質仕上の種類と符号

W	木	SOP	合成樹脂調合ペイント
ST	スチール	VEP	酢酸ビニル系合成樹脂エマルションペイント
SUS	ステンレス	AEP	アクリル系合成樹脂エマルションペイント
AL	アルミ	CL	クリアラッカー
HL	ヘアライン	OS	オイルステイン
		B-AE	アクリル樹脂エナメル焼付
		B-UE	ポリウレタン樹脂エナメル焼付
		B-FUE	フッ素樹脂エナメル焼付

5 金物の種類と符号

DC	ドアクローザー	DML	本締錠付モノロック
FH	フロアヒンジ	CH	ケースハンドル錠
PH	ピボットヒンジ	GL	グレモン締り
LH	ラバトリーヒンジ	EL	非常用錠
HC	ヒンジクローザー		(非常開装置付本締錠)
SP	スプリングヒンジ	E	電気錠
H	丁番	AS	アームストッパー
DL	本締錠		
CL	ケースロック		
ML	モノロック		

6 防火認定番号

EB-9101	アルミニウム合金製はめ殺し窓
EB-9102	アルミニウム合金製引き窓
EB-9103	アルミニウム合金製上げ下げ窓
EB-9104	アルミニウム合金製ルーバー窓
EB-9105	アルミニウム合金製プロジェクト窓
EB-9106	アルミニウム合金製回転窓
EB-9107	アルミニウム合金製開き窓
EB-9108	アルミニウム合金製引き自動ドア

7 建具記号凡例

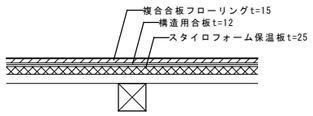
統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
１級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
１級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳

統括
作図者
１級建築士登録番号　第224282号
小林　敏徳

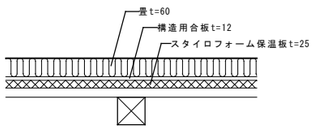
縮尺
A1版：S=1/50
A3版：S=1/100
設計年月日
2024.06

工事名称　村松浜集落センター新築工事
図面名称　建具表

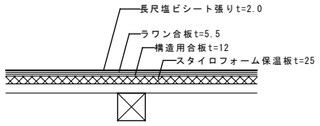
F-1 複合合板フローリング



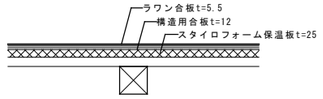
F-2 畳敷



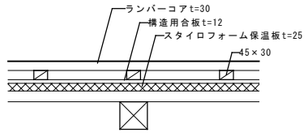
F-3 長尺塩ビシート張り



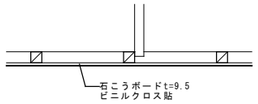
F-4 ラワン合板張り



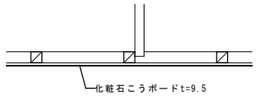
F-5 板畳張



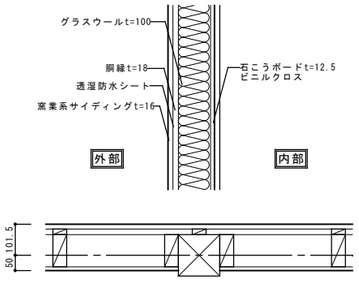
C-1 石こうボード＋ビニルクロス貼



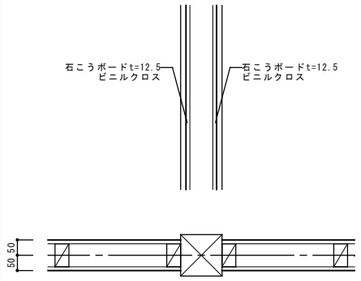
C-2 化粧石こうボード張



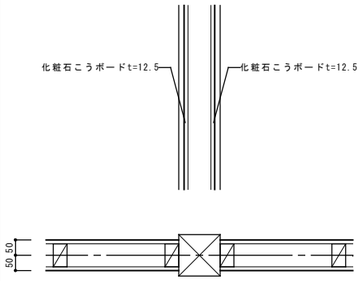
W-1 窯業系サイディング張



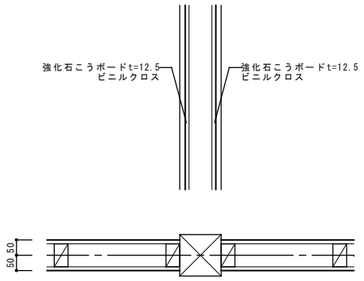
W-2 石こうボード＋ビニルクロス貼



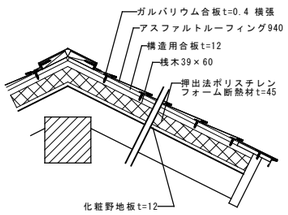
W-3 化粧石こうボード貼



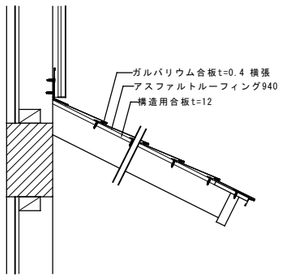
W-4 防火上主要な間仕切壁



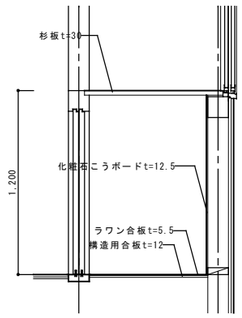
R-1 ガルバリウム鋼板t=0.4横葺き（一般部）



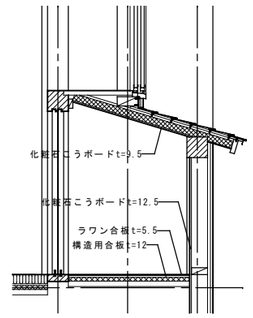
R-2 ガルバリウム鋼板t=0.4横葺き（外壁取り合い）



P-1 下部収納



P-2 下部収納



統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
1級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
1級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳

統括

作図者
1級建築士登録番号　第224282号
小林　敏徳

縮尺
A1版：S=1/10・20
A3版：S=1/20・40

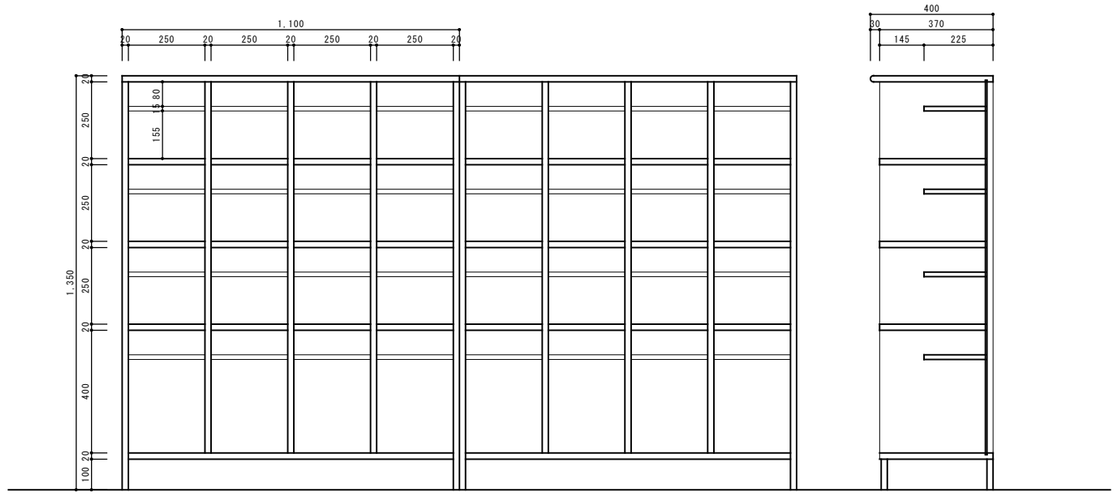
設計年月日
2024.06

工事名称　村松浜集落センター新築工事

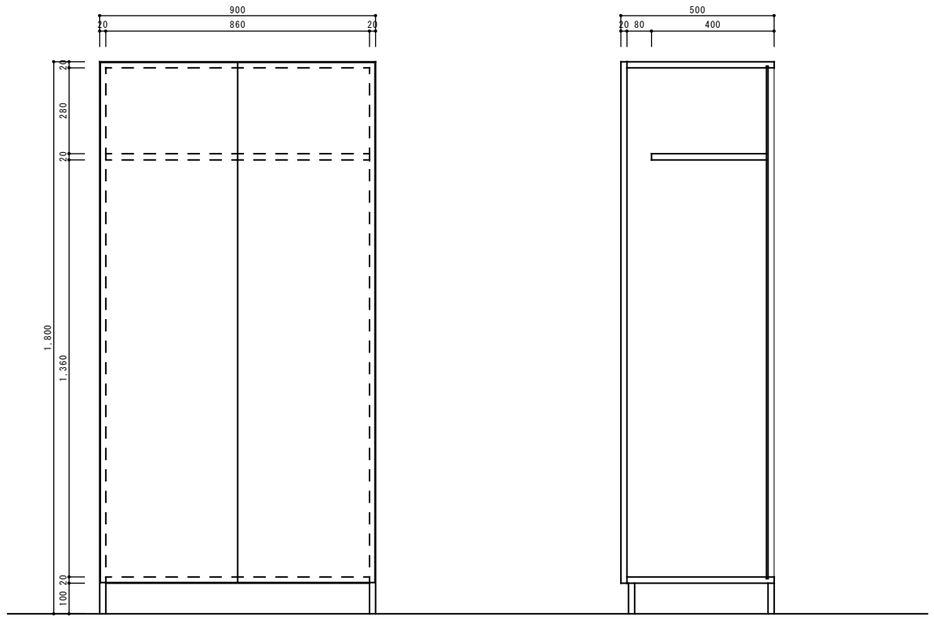
図面名称　部分詳細図

No. A－25

下駄箱詳細図　S=1/10

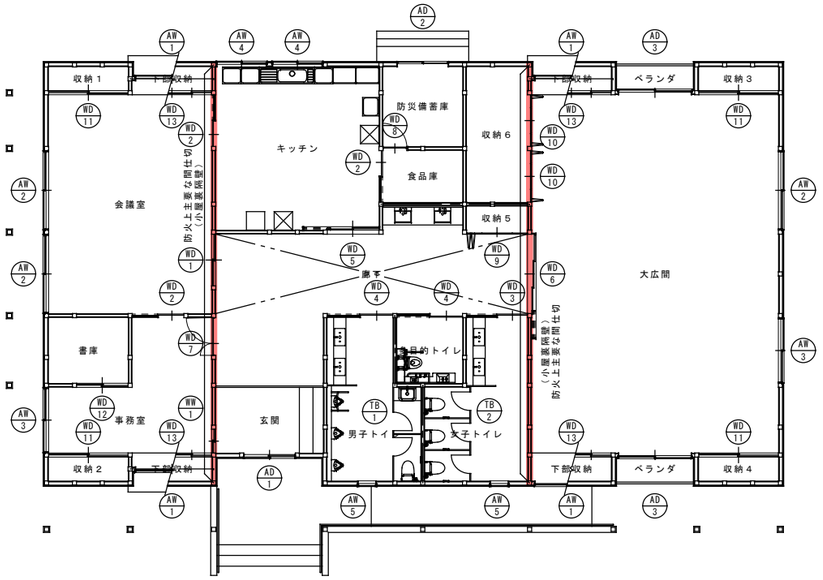


ロッカー詳細図　S=1/10



統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
1級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
1級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳

統括	作図者	縮尺	工事名称	
	1級建築士登録番号 第224282号 小林 敏徳	A1版：S=1/10 A3版：S=1/20 設計年月日 2024.06	村松浜集落センター新築工事	No. A－26
			図面名称　家具詳細図	



室名	大広間	96.67 ㎡
判定項目	計算式	判定
必要換気面積	96.67 × 1/20 = 4.8335	
有効換気面積	2.392 × 1.3 × 1/2 × 2 = 3.1096 2.392 × 2 × 1/2 × 2 = 4.7840 2.542 × 1.3 × 1/2 × 1 = 1.6523 2.0875 × 1.3 × 1/2 × 1 = 1.3569	
	10.9028	OK
必要採光面積	96.67 × 1/20 = 4.8335	
有効採光面積	2.392 × 1.3 × 3 × 2 = 18.6576 2.392 × 2 × 3 × 2 = 28.704 2.542 × 1.3 × 3 × 1 = 9.9138 2.0875 × 1.3 × 3 × 1 = 8.14125	
	65.4167	OK
必要排煙面積	96.67 × 1/50 = 1.9334	
有効排煙面積	2.392 × 0.6 × 1/2 × 2 = 1.4352 2.542 × 0.6 × 1/2 × 1 = 0.7626 2.0875 × 0.6 × 1/2 × 1 = 0.62625	
	2.82405	OK

室名	事務室	18.59 ㎡
判定項目	計算式	判定
必要換気面積	18.59 × 1/20 = 0.9295	
有効換気面積	2.0875 × 1.3 × 1/2 × 1 = 1.35688 2.392 × 1.3 × 1/2 × 1 = 1.5548	
	2.91168	OK
必要採光面積	18.59 × 1/20 = 0.9295	
有効採光面積	2.0875 × 1.3 × 3 × 1 = 8.14125 2.392 × 1.3 × 3 × 1 = 9.3288	
	17.4701	OK
必要排煙面積	18.59 × 1/50 = 0.3718	
有効排煙面積	2.0875 × 0.4 × 0.5 × 1 = 0.4175 2.392 × 0.6 × 0.5 × 1 = 0.7176	
	1.1351	OK

室名	会議室	39.66 ㎡
判定項目	計算式	判定
必要換気面積	39.66 × 1/20 = 1.983	
有効換気面積	2.392 × 1.3 × 1/2 × 1 = 1.5548 2.542 × 1.3 × 1/2 × 2 = 3.3046	
	4.8594	OK
必要採光面積	39.66 × 1/20 = 1.983	
有効採光面積	2.392 × 1.3 × 3 × 1 = 9.3288 2.542 × 1.3 × 3 × 2 = 19.8276	
	29.1564	OK
必要排煙面積	39.66 × 1/50 = 0.7932	
有効排煙面積	2.392 × 0.6 × 1/2 × 1 = 0.7176 2.542 × 0.6 × 1/2 × 2 = 1.5252	
	2.2428	OK

室名	キッチン	29.74 ㎡
判定項目	計算式	判定
必要換気面積	29.74 × 1/20 = 1.487	
有効換気面積	1.633 × 1.1 × 1/2 × 1 = 0.89815 1.633 × 1.1 × 1/2 × 1 = 0.89815	
	1.7963	OK
必要採光面積	29.74 × 1/20 = 1.487	
有効採光面積	1.633 × 1.1 × 3 × 1 = 5.3889 1.633 × 1.1 × 3 × 1 = 5.3889	
	10.7778	OK
必要排煙面積	29.74 × 1/50 = 0.5948	
有効排煙面積	1.633 × 0.6 × 1/2 × 1 = 0.4899 1.633 × 0.6 × 1/2 × 1 = 0.4899	
	0.9798	OK

統括
株式会社さくら設計
新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表）
１級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号
１級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳

統括

作図者
１級建築士登録番号　第224282号
小林　敏徳

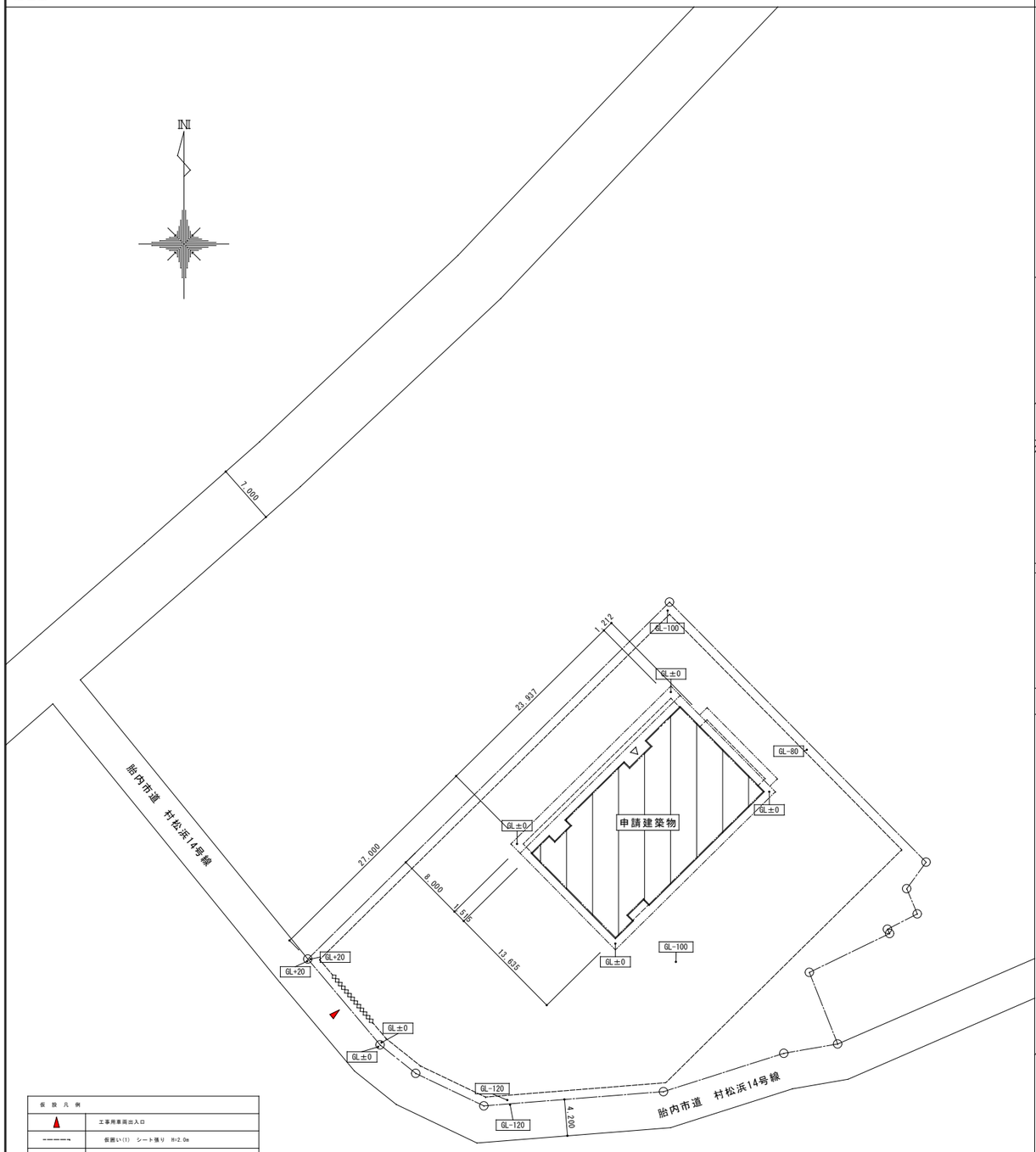
縮尺
A1版：S=1/100
A3版：S=1/200

設計年月日
2024.06

工事名称　村松浜集落センター新築工事

図面名称　法規チェック図

配置図 S=1/300



仮設凡例	
	工事用車両出入口
	仮囲い(1)　シート張り　H=2.0m
	仮囲い(2)　単管支柱H=2000　トラロープ3段
	クロスゲート　W7.2×H2.0m　両開き
	バリケード（カラーコーン・コーンバー）
	外部足場（枠組本足場 手すり先行方式） （防音シート張り）
	交通誘導警備員

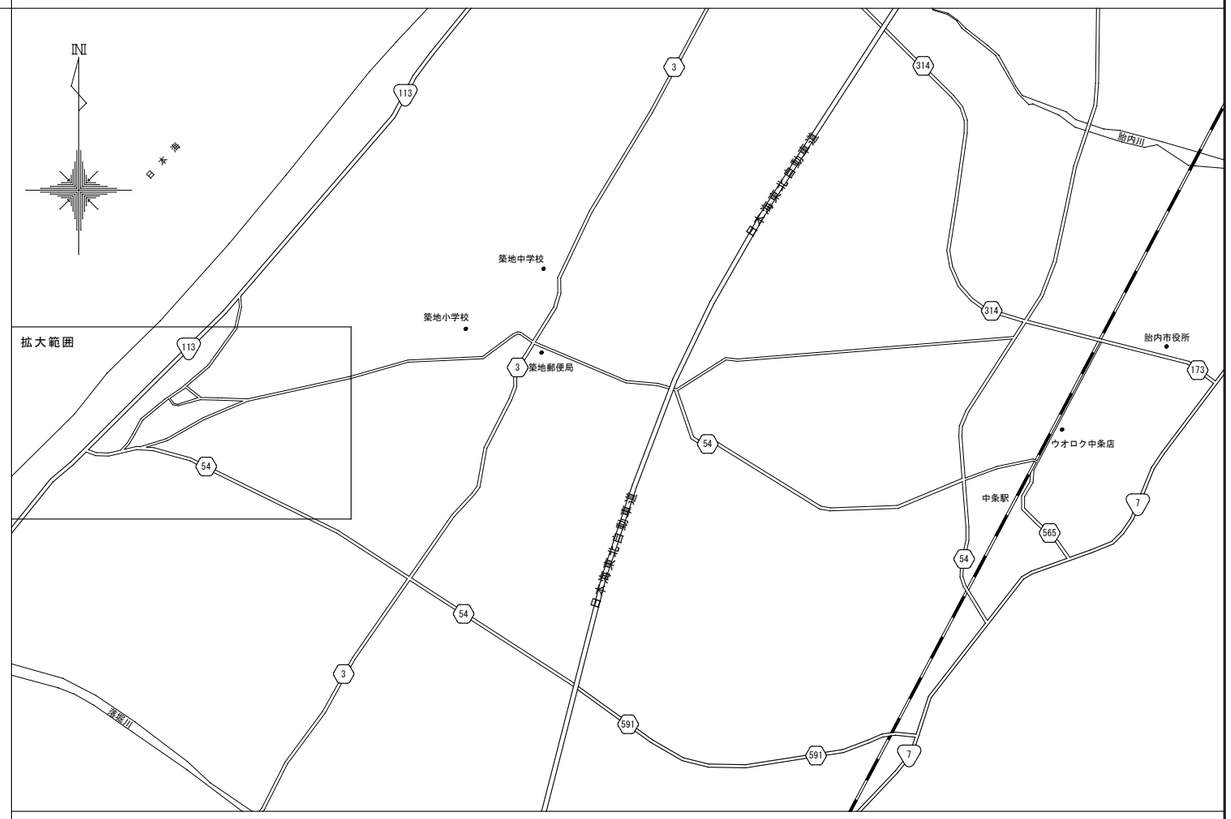
特記事項

・工事中の近隣住民の通行に支障がないように安全通路を確保すること

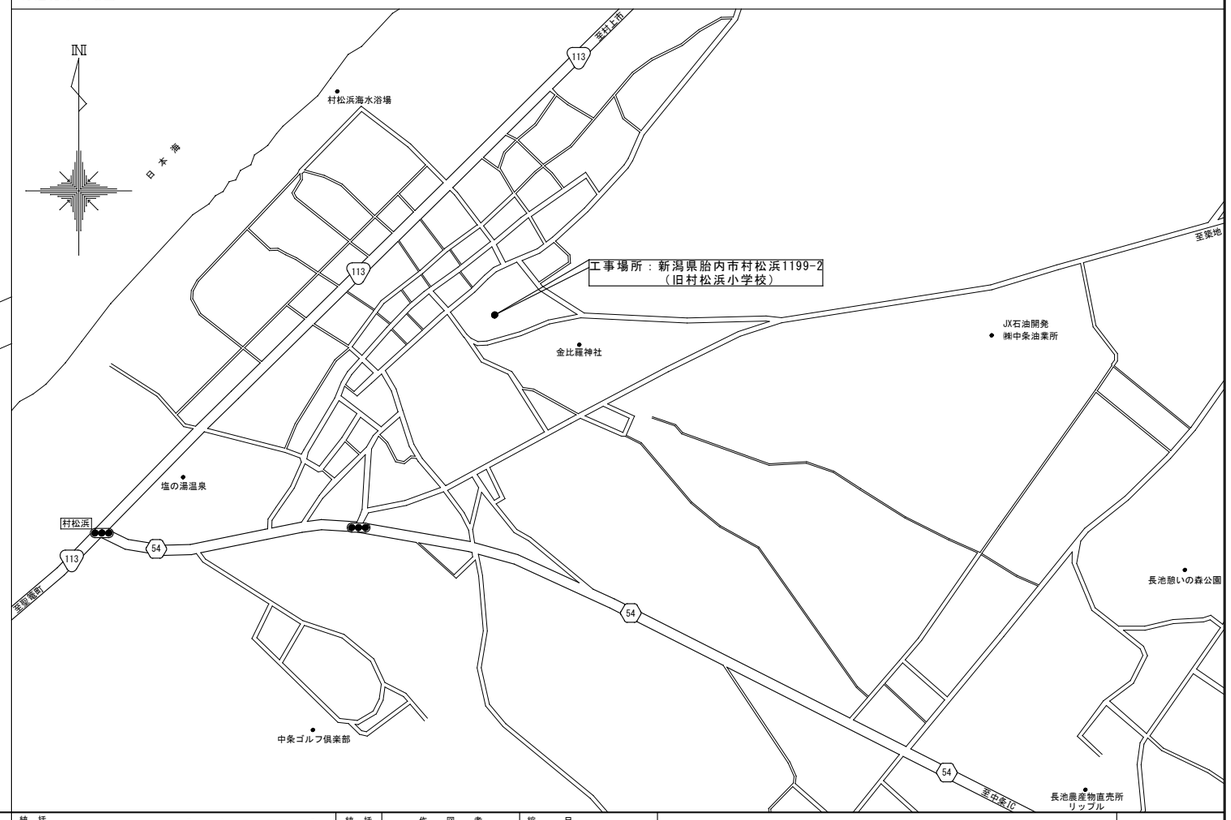
・工事車両は指定出入口のみ通行可とする

・外部足場には安全標識及び侵入防止用養生を設置すること

付近見取図 S=No-scale



付近見取詳細図 S=No-scale



統括	作図者	縮尺	工事名称	村松浜集落センター新築工事
株式会社さくら設計 新潟県胎内市新和町2番4号　電話（0254）44-8250番（代表） 1級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）第1743号 1級建築士登録番号　第224282号　小林　敏徳	1級建築士登録番号　第224282号 小林　敏徳	A1版 S=1/300・N/S A3版 S=1/600・N/S 設計年月日 2024.06	図面名称	仮設計画図

No. A－28